

2026年度

経営学部演習ガイド

明治大学

社会スキルを習得する場としての演習（ゼミナール）

経営学部長 原田 将

2年生のみなさま、進級おめでとうございます。みなさんは、これから、大学生活の2年、あるいは、2年半のあいだ、演習すなわち「ゼミ」を選び、入室試験を受けることになります。この「演習ガイド」やOh-o! Meiji、SNSや先輩方の情報やゼミナビ等のガイダンスなど、さまざまな情報をもとに、悔いのない選択をしてください。

現在、経営学部では、ゼミは必修科目ではありません。しかし、ゼミは、日本の大学教育の特徴であり、みなさんが大きく成長できる機会を提供する場となります。大学時代の大切な2年ないし2年半、同じ指導教員、同じ仲間とともに学ぶということは、非常に貴重な経験です。

ゼミでの経験は、学生生活や将来のキャリアにおいて多くの面で貢献します。ゼミでは、特定のテーマについて深く学びます。専門的な文献の読解やデータ分析、企業訪問や現地フィールドスタディ資格試験の準備などを通じて、講義だけでは得られない高度な知識やスキルを身につけることができます。また、研究テーマを設定し、論理的な思考のもと、データを収集・分析し、結果をまとめるプロセスを経験することで、研究スキルが向上します。これらのスキルは、卒業論文の作成はもちろん、将来の社会に出てから大きな力を発揮します。少人数で行われるゼミでは、他のメンバーと意見を交換し、議論を深める機会が多くあります。これにより、コミュニケーション能力やプレゼンテーションスキルにもつながるでしょう。さらに、ゼミではグループでのプロジェクトやディスカッションが行われることも多く、チームビルディングや対人関係の構築、リーダーシップのスキルを養うことができます。もちろん、ときには他のメンバーとの葛藤や対立などを経験したり、さまざまな失敗をしたりもするでしょうが、それを解決しようとする中で、交渉力やレジリエンスを持つことにもつながります。

このように、ゼミでの経験は、社会に出てから必要とされる基礎力となり、みなさんのキャリア形成における大きな資源となります。ゼミのメンバーや指導教員との関係は、卒業後も続くことが多く、将来にむけての貴重なネットワークを築くことができます。

経営学部では、学部創設の1953年以来、学生の自律的・能動的な行動を促すゼミを学部教育における重要科目として位置付けてきました。一般教育も含め、経営学科、会計学科、公共経営学科といった学科所属にかかわらず、自分が参加したいゼミを選択することが可能なのも経営学部のゼミの特徴です。会計学科に所属しながら、深い教養を身につけるために一般教育系のゼミを選ぶ、公共経営学科に所属しながら会計の知識を学ぶために会計学科系のゼミに参加するなどといった学び方も可能です。

ただし、ゼミには入室試験があります。「自分がこのゼミで何ができるか」「仲間や先輩後輩と一緒に子のゼミをどのようにしていきたいのか」というビジョンを明確に語れる人をどのゼミでも期待しています。そして、この姿勢は、みなさんがキャリアを形成していくうえでも重要なこととなります。どのようなゼミがあるのかについて、しっかりと情報収集し、自分自身がそのゼミに対してどのような貢献ができるのかを考えて、意思決定してください。

ゼミを選び、入室試験を受け、合格したゼミに貢献して、同期や先輩後輩と指導教員とともに、自らゼミの歴史をつくっていくこと、それは、みなさんのキャリア形成の第一歩となることでしょう。

2年生のみなさんへ

経営学部ゼミナール協議会
2025年度委員長 菱田 梨乃

はじめまして。2025年度、経営学部ゼミナール協議会委員長を務めます、宮田ゼミナール所属の菱田梨乃です。ゼミナール協議会は、経営学部には所属する多様なゼミを横断的につなぎ、学部全体の学びをより豊かなものにするために活動している学生組織です。ゼミナール対抗プレゼンテーション大会（ゼミプレ）をはじめとした行事の企画・運営を通して、ゼミでの学びが学生一人ひとりにとって意味のある経験となるよう支えています。

これからみなさんが向き合う「ゼミ選び」は、大学生活における大きな分岐点の一つです。2年生の春学期というタイミングで行われるため、まだ将来の進路や興味関心が明確でない人も多いと思います。「何を基準に選べばよいのか分からない」「周りの動きが気になってしまう」と感じることも自然なことです。むしろ、その迷いは、自分の大学生活を真剣に考えている証だと私は思います。

ゼミは、知識を一方向的に学ぶ場ではありません。少人数での議論や研究を通じて、自分の考えを言葉にし、他者の意見と向き合いながら理解を深めていく場です。答えの決まっていない問いに向き合い、試行錯誤を重ねる経験は、講義とは異なる学びをもたらしてくれます。そして、そのプロセスの中で培われる思考力や対話力は、大学生活だけでなく、その先にもつながっていきます。

私自身、ゼミに所属してから、「学ぶ姿勢」そのものが大きく変わりました。テーマに対して自分なりの問いを立て、仲間と議論し、時には意見がぶつかりながらも考えを深めていく。その積み重ねが、学問としての面白さだけでなく、人と協働することの難しさや楽しさを教えてくれました。ゼミは、何かを“与えられる”場所ではなく、自ら関わることで初めて価値が生まれる場所だと感じています。

経営学部には、研究分野や活動スタイルの異なる多様なゼミが存在し、どのゼミにも、それぞれの特色や大切にしている考え方があります。だからこそ、「人気」や「評判」だけで判断するのではなく、自分がどのような環境で学びたいのか、どのように成長したいのかを考えてみてください。ゼミ選びに正解はありません。大切なのは、自分なりに考え、納得した上で選ぶことです。

ゼミナール協議会では、みなさんがそうした選択を行えるよう、演習ガイドの作成やゼミナビの運営などを行っています。このガイドには、各ゼミの情報だけでなく、ゼミという場に向き合うためのヒントが詰まっています。ぜひ時間をかけて読み、自分自身と向き合う材料として活用してください。

ゼミでの学びは、大学生活の後半を大きく左右します。仲間と共に考え、悩み、挑戦した経験は、きっとみなさんの中に長く残るものになるはずです。このゼミ選びが、みなさんにとって実りある一歩となることを心から願っています。

2026 年度演習一覧

演習の タイプ	コード	演 習 名	研究テーマ
【 2 年 半 タ イ プ 】	01	青木 克生	戦略と組織のマネジメント
	02	一小路 武安	リレーションシップマネジメントの追求
	03	一之瀬 真志	運動に対する生体反応とトレーニングによる身体適応のメカニズム
	04	大槻 晴海	戦略管理会計に関する基礎的研究
	05	小俣 光文	データで企業活動を捉えるスペシャリストに！
	06	折方 のぞみ	グローバリズムと国際化社会：ヨーロッパ的視点からの世界観
	07	笠見 弥生	中国語圏の文学を様々な視点から考察する
	08	加藤 友佳	社会の変化と租税・ディベートによる知識の実践
	09	金子 敦子	ビジネスコミュニケーションの行動デザイン、心理的安全性、組織行動、グローバル人材育成
	10	カンビクトリヤ	起業家精神（アントレプレナーシップ）、スタートアップの成功秘訣、起業家エコシステム
	11	キアナン・パトリック	言語と異文化コミュニケーション
	12	菊地 端夫	行政・自治体を中心とした公的組織・サービスのマネジメントに関する研究
	13	小関 隆志	非営利組織・社会的企業による地域課題への取り組み
	14	佐々木 匠	フランスの文化、芸術、社会
	15	薩摩 秀登	歴史を通して世界を見つめる
	16	鈴井 正敏	ライフスタイル・マネジメント
	17	鷲見 淳	グローバル化と企業の国際経営
	18	田中 充洋	スポーツ組織マネジメント、ボールゲームのコーチング
	19	千葉 貴律	社会と会計（環境会計論、環境マネジメント論）
	20	塚本 一郎	持続可能な経済・金融・社会システム構築のための価値創造経営・価値共創に関する研究
	21	辻 昌宏	ニュースやSNSでは見えない「イタリアの実像」に迫る。映画・新聞・オペラ・宗教から現代イタリアを読み解き、EU諸国や日本と徹底的に比較する
	22	鶴田 靖人	統計学とデータ分析
	23	デュプリス, ジョン A.	セルフ・インプローブメント(自己啓発)と生涯学習/Self-Improvement and Lifelong Learning
	24	鳥居 陽介	日本における株式所有構造の変遷と企業財務に関する研究
	25	畑中 基紀	フィクションの表現を分析し、「リアル」について考える
	26	原田 将	日本企業のマーケティング・マネジメントに関する理論的・実証的研究
	27	古川 裕康	グローバル・マーケティング論、消費者行動論
	28	松野 裕	持続可能な発展のための経済・社会の仕組みに関する研究
	29	三上 真寛	市場と組織の経済学
	30	宮田 憲一	ビジネス・システムの国際比較研究
	31	森田 広大	企業会計の歴史・理論・実務に関する研究
	32	森田 直美	多彩な観点から日本文化を研究する
	33	森光 高大	エビデンスに基づく管理会計研究
	34	山下 充	質的インタビュー調査に基づき変化する社会の中での企業活動を理解し分析する
	35	吉松 梓	社会的な課題と自然体験活動・野外教育

演習のタイプ	コード	演習名	研究テーマ
【 2 年 タ イ プ 】	36	浅野 千鶴	現代会計基準における基礎概念
	37	石津 寿恵	様々な組織（営利組織・非営利組織）の活動に関する会計的考察
	38	石塚 史樹	雇用・労働などに関わる多面的な実証研究の方法の研究
	39	牛丸 元	日本企業の今日的課題点を多面的視点から分析する
	40	枝村 祥平	哲学
	41	岡田 浩一	中小企業・ベンチャービジネスの成長・発展戦略
	42	清水 一之	EUと日本企業の比較研究（新技術の採用とイノベーション、Web3業界の展開；ブロックチェーン技術）
	43	高澤 陽太郎	経営数学、オペレーションズ・リサーチ
	44	野田 寛達	現代中国の社会・文化・ことば
	45	畑 一成	想像力を通じた科学と芸術の融合に関する哲学的研究
	46	早川 佐知子	経営学を使って人間を理解する
	47	平屋 伸洋	バイオサーキュラービジネスの現場調査とデータ駆動型価値評価
	48	真継 左和子	地域研究、応用言語学（英語教育）
	49	山崎 憲	企業活動をめぐる社会・経済システム

【参考データ】

(2025 年度)

2年生総数 774名 (申込受付時点)

1次試験申込者数 659名 (申込率 85.14%)
1次試験合格者数 387名 (合格率 58.73%)
最終(全選考終了時点)入室者数 555名 (入室決定率 71.71%)

(2024 年度)

2年生総数 794名 (申込受付時点)

1次試験申込者数 689名 (申込率 86.78%)
1次試験合格者数 388名 (合格率 56.31%)
最終(全選考終了時点)入室者数 574名 (入室決定率 72.29%)

経営学部の演習制度について

(1) 演習のタイプについて

経営学部で開講される演習は、以下の2種類の演習のタイプがある。

担当教員により募集する演習タイプが異なるので、演習ガイド等で確認すること。

① 2年半タイプ

2年次秋学期から開始し、「演習Ⅰ」、「演習ⅡA」、「演習ⅡB」、「演習ⅢA」、「演習ⅢB」で構成する。

② 2年タイプ

3年次から開始し、「演習ⅡA」、「演習ⅡB」、「演習ⅢA」、「演習ⅢB」で構成する。

(2) 演習科目の卒業に必要な単位への算入について

① 「演習ⅡA」「演習ⅡB」「演習ⅢA」及び「演習ⅢB」は、すべての単位を修得した場合にのみ、自由履修科目として卒業に必要な単位数に算入する。したがって、「演習ⅢB」を単位修得できなかった場合、既に修得している「演習ⅡA」「演習ⅡB」「演習ⅢA」の6単位は、卒業に必要な単位数に算入しない。

② 「演習Ⅰ」の修得単位は、「演習ⅡA」「演習ⅡB」「演習ⅢA」「演習ⅢB」の単位修得にかかわらず、自由履修科目として卒業に必要な単位数に算入する。

(3) 「演習Ⅰ」「演習ⅡA」「演習ⅡB」「演習ⅢA」「演習ⅢB」について

演習では、おおむね以下のようなプロセスで2年半もしくは2年の期間において学習することになる。このプロセスをよく理解した上で、それぞれの演習案内を熟読し、自分の強い関心領域や将来の進路を考えて、演習を選択すること。

① 「演習Ⅰ」

2年次の秋学期に開講し、3年次以降の演習での研究に必要な基礎的な学習を行う。

② 「演習ⅡA」「演習ⅡB」

「演習ⅡA」は3年次春学期、「演習ⅡB」は3年次秋学期に開講し、本格的な演習の研究活動を行う。演習によっては、経営学部の懸賞論文への応募や全国・関東学生経済セミナー大会（通称インター・ゼミナールおよびインナー・ゼミナール大会）、ゼミプレ（学内プレゼン大会）などに参加したりする。それぞれの演習における活動を通して、研究を深める。

③ 「演習ⅢA」「演習ⅢB」

「演習ⅢA」は4年次春学期、「演習ⅢB」は4年次秋学期に開講し、引き続き研究活動を実施する。演習によっては、卒業論文を作成する。自ら設定した研究テーマに基づき、担当教員から指導を受けながら卒業論文を執筆していく。

(4) 所属演習の変更について

所属演習が決定すると、卒業まで他の演習へ変更することはできない。

演習入室試験の受験上の注意

演習の履修を希望する者は、受験にあたっての注意事項をご確認ください。

(1) 1次募集・2次募集・3次募集 共通

- ①各種の申込み、手続きは、定められた日時を厳守すること。
- ②事務室からの入室試験に関する告知、連絡は、0h-o!Meiji ポータルサイトを使用する。
- ③受験申込みは、0h-o!Meiji システム（アンケート機能）から行う。その他、各ゼミから別途、書類等の提出が求められることがある。その場合は、0h-o!Meiji アンケートへの申し込み期限と、ゼミへの書類等の提出期限が異なることがあるので注意すること。
- ④受験申込み後に、受験する演習を変更することはできない。
- ⑤合格が決定した者は、それ以降に実施する試験を受験できない。
- ⑥同一試験期間内に複数の演習を申込み、あるいは受験した者は、それらの申込み、あるいは受験を全て無効とする。
- ⑦基本的に入室試験は、対面形式の面接、非対面形式の面接、書類選考で行われる。入室試験に関する連絡は各ゼミの 0h-o!Meiji グループ内で行われるため、希望するゼミの 0h-o!Meiji グループを確認すること。

(2) 申込方法

受験申込みは、0h-o!Meiji システムのアンケート機能を利用し、入室試験申込み（アンケート回答）期間内に手続きすること。希望者は定められた期間内に必ず手続きすること。システム上、締切時間を過ぎてからの申込みは一切できないので注意すること。

※0h-o!Meiji システムが利用できない場合、締切期間より前に余裕をもって経営学部事務室に連絡すること。

※各ゼミから別途、書類等の提出が求められることがある。その場合は、0h-o!Meiji アンケートへの申し込み期限と、ゼミへの書類等の提出期限が異なることがあるので注意すること。

(3) 2次募集

- ①2次募集入室試験を実施する演習は、1次募集入室試験の合格発表日にお知らせする。
- ②受験申込みが可能な者は、1次募集入室試験終了時点で入室が決定していない者を対象とする。
- ③受験申込み方法は、(2)と同じ。
- ④1次募集入室試験で不合格となった演習が2次募集を行う場合、再度受験申込みできる。

(4) 3次募集

- ①3次募集入室試験を実施する演習は、2次募集入室試験の合格発表日にお知らせする。
- ②受験申込みが可能な者は、2次募集入室試験終了時点で入室が決定していない者を対象とする。
- ③受験申込み方法は、(2)と同じ。
- ④2次募集入室試験で不合格となった演習が3次募集を行う場合、再度受験申込みできる。

重要

2026年度 経営学部「演習」入室試験日程など

- ・ 演習入室試験に関わる事務室からの情報は、Oh-o!Meiji で配信されます。
- ・ 各ゼミの情報は、Oh-o!Meiji 各ゼミグループを確認してください。

1. 演習入室に関わるガイダンス

4月末頃に、経営学部事務室からガイダンス資料を Oh-o!Meiji で配信します。

2. ゼミナビ・合同プレゼンテーション

5月9日（土）13：30～16：30

- ・ 学生の参加は任意です。演習入室希望者は積極的に参加してください。
- ・ 各ゼミについても参加任意としています。参加するゼミのみ対面形式又は Zoom 等を使用して実施します。
- ・ 各ゼミからゼミ紹介資料等がある場合は、各ゼミグループで閲覧できます。（5月7日（木）以降に順次公開）
- ・ 実施方法等の詳細は、4月末頃に Oh-o!Meiji でお知らせします。
- ・ 興味のあるゼミについては、随時、各ゼミグループを確認するようにしてください。

3. 個別ガイダンス

一次募集 5月11日（月）～15日（金）12：40～13：20

二次募集 6月 2日（火）～ 5日（金）12：40～13：20

三次募集 6月16日（火）～17日（水）12：40～13：20

- ・ 学生の参加は任意です。演習入室希望者は積極的に参加してください。
- ・ 各ゼミについても参加任意としています。上記の期間内に、実施するゼミのみ対面形式又は Zoom 等を使用してガイダンスを行います。
- ・ 各ゼミから資料等がある場合は、各グループで閲覧できます。
- ・ 実施方法等の詳細は、前日までに Oh-o!Meiji でお知らせします。
- ・ 興味のあるゼミについては、随時、各ゼミグループを確認するようにしてください。

4. 入室試験

・入室試験は、面接や書類選考で行われます。
・入室試験受験のためには、下記2点の手続きが必要です。募集期毎に、(1)・(2)の期限が異なる場合がありますので注意してください。

- (1) 事務室への Oh-o!Meiji アンケート回答(期限は次項目「事務申込受付」を確認)
- (2) ゼミが求める書類の提出(内容・期限は各ゼミグループを確認)

(1) 一次募集	
書類選考提示	5月10日(日)までに提示 ※提示がない場合は面接試験のみとなります。
事務申込受付	5月12日(火)9:30~5月20日(水)16:00 Oh-o!Meiji アンケート回答(必須)
面接試験実施	5月30日(土)9:00~18:00 ※5月25日(月)~29日(金)の昼休み及び5限以降においても試験を実施するゼミがあります。 該当者には各ゼミから通知されます。
合格発表	6月1日(月)19:00(予定)
発表方法	経営学部事務室から Oh-o!Meiji にてお知らせ
(2) 二次募集(実施するゼミのみ)	
書類選考提示	6月1日(月)までに提示 ※提示がない場合は面接試験のみとなります。
事務申込受付	6月2日(火)9:30~6月10日(水)16:00 Oh-o!Meiji アンケート回答(必須)
面接試験実施	6月13日(土)9:00~18:00
合格発表	6月15日(月)19:00(予定)
発表方法	経営学部事務室から Oh-o!Meiji にてお知らせ
(3) 三次募集(実施するゼミのみ)	
書類選考提示	6月15日(月)までに提示 ※提示がない場合は面接試験のみとなります。
事務申込受付	6月16日(火)9:30~6月17日(水)16:00 Oh-o!Meiji アンケート回答(必須)
面接試験実施	6月20日(土)9:00~18:00
合格発表	6月22日(月)19:00(予定)
発表方法	経営学部事務室から Oh-o!Meiji にてお知らせ

5. 入室決定ゼミ登録

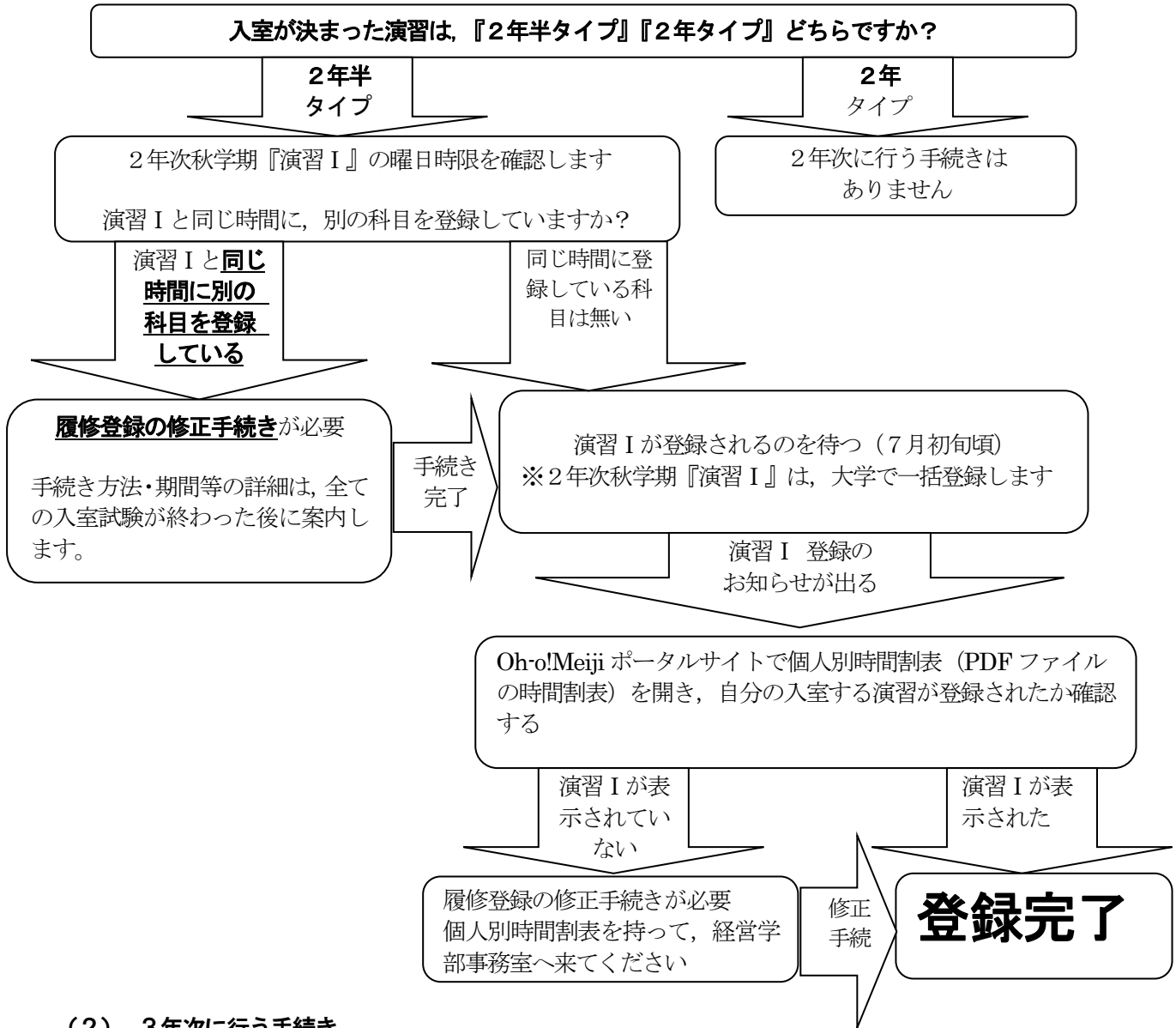
必要な履修手続きの詳細は全ての入室試験が終わった後に対象者に案内します。(7月上旬予定)

以上

入室演習決定後の手続きについて

入室が決定した演習のタイプ（2年半タイプ又は2年タイプ）によって、2年次に行う手続きに違いがあります。3・4年次の手続きは、演習のタイプに関わらず同じです。
注意事項は次のとおりです。

(1) 2年次に行う手続き



(2) 3年次に行う手続き

2年半タイプ演習、2年タイプ演習とも、4月の履修登録時に、各自で『演習ⅡA』『演習ⅡB』の登録を行うこと。登録を行わなかった場合、演習の履修を放棄したと見なします。
※『演習ⅡA』『演習ⅡB』（各2単位）は、年間の履修単位数制限に含むので注意すること。

(3) 4年次に行う手続き

2年半タイプ演習、2年タイプ演習とも、4月の履修登録時に、各自で『演習ⅢA』『演習ⅢB』の登録を行うこと。登録を行わなかった場合、演習の履修を放棄したと見なします。
※『演習ⅢA』『演習ⅢB』（各2単位）は、年間の履修単位数制限に含むので注意すること。

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

研究課題「戦略と組織のマネジメント」

現代企業が激化する競争状況を勝ち抜いていくためにはどのような戦略と組織が必要とされているのか」を大きなテーマとして研究していく。この演習は2つの大きな狙いを持っている。1つは専門書を読むことを通して戦略と組織について深い理解を獲得することである。もう1つは実際に自分たちで体験することを通して戦略と組織のマネジメントについてよりリアルな感覚を持つことである。またゼミナールは専門知識だけではなく人間成長の場としても重要な意味を持つてくる。グループワークやディスカッションなどを通して社会に出てから必要となるコミュニケーション能力の育成なども平行して行っていく予定である。

2 研究内容

まず2年次秋学期においては、戦略と組織の理論について理解するための基礎固めを行う。参考文献に記されている3冊の著書を購入し、お互いに発表し、議論を展開していく。3年次においては、戦略と組織の実践について理解するために、自分たちでビジネスプランの作成を行う。ゼミ生同士でグループを作成し、ビジネスモデルの構築、市場調査、財務分析とビジネスプランの作成に必要な作業全てを自分たちで実践していく。その一方で、他大学や他のゼミナールなどとの公開討論会などにも積極的に取り組んでいく。4年次は卒業論文の作成が中心的な課題となる。各自でテーマを設定し、自らのテーマを報告し、それに対して皆でコメントをしながらゼミ生が相互にブラッシュアップしていく予定である。

3 参考文献

グロービス・マネジメント・インスティテュート編『MBA ビジネスプラン』ダイヤモンド社。
グロービス・マネジメント・インスティテュート編『MBA 経営戦略』ダイヤモンド社。
井口嘉則『マンガでやさしくわかる事業計画書』日本能率協会マネジメントセンター。

4 募集予定人員・選考試験

10名前後。志望動機(ゼミで何を学びたいか?) A4で1枚、面接

5 その他

特になし

青木ゼミ

活動内容

<2年半タイプ>

2年次



輪読

経営戦略やビジネスプランについて、教科書を読み、発表します

3年次



ビジネス プラン作成

学んだことを生かし、実際にビジネスプランを立てていきます

4年次



卒論作成

いよいよ2年間の集大成！各自でテーマ設定します！

唯一ビジネスプランの作成ができる青木ゼミ

3年次のビジネスプラン作成では、ニーズや実現可能性なども検討し、具体的なアイデアを出します。この過程を通し、新しいものを自分達で創造する力を身につけることができます。

「何かをチームで一から創りあげてみたい」という方や、

「経営学部だからこそ、経営戦略について実践的に学んでみたい」

という方にとって最高の環境です!!



青木先生ってどんな人？

組織論を専門とされていて、イギリスで長く研究をされた経験も！ゼミでは、ディスカッションで行き詰った際、瞬時に的確なアドバイスをくださる、やさしい先生です！



イベントも充実！

懇談会、ゼミ合宿、スポーツ大会、就活相談会・・・等々！遊びも勉強も両立できます！★



ゼミ生からみんなに！

青木ゼミは、授業内外を問わず、学生が主体となってゼミ生全員で活動するゼミナールです！発表やディスカッションを中心に行う2年半の活動を通じて、発想力やプレゼンテーション力など、自分自身のさまざまなスキルを高めることができます！ぜひ私たちと一緒に、青木ゼミナールの一員として成長していきましょう！



@K_AOKI_SEMINAR



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

リレーションシップマネジメントの追求

2 研究内容

近年、生成 AI 等の発達により、社会人として単なるコンテンツ構築力による差別化が難しい時代となることが想定される。そのため、以前にも増して人同士の関係性構築力のようなソーシャルスキルがより重要になってきたと言える。本演習では、その課題達成のための、コミュニケーション力や積極性の獲得を目的とした検討を行う。

本演習は基本的に日本語を用いるが、英語によるディスカッションが必要と判断すれば導入するので覚悟のうえで参加すること。

3 参考文献

適宜指定する。

4 募集予定人員・選考試験

募集人数は10名程度とする。

選考方法は書類審査（それまでの成績表の提出）とする。

5 その他

本演習では今の段階で自信がない学生が最低限の素養を身に着けることを目標とするため、選考方法は成績のみとしている。一方で、すでに当該スキルを有する学生の参加も歓迎するが、他の学生に配慮ができることを前提とする。

一小路 武安ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

今年度より開講のため、学生からの原稿はありません。

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

スポーツ科学 - 運動に対する生体反応とトレーニングによる身体適応のメカニズム -

2 研究内容

スポーツに関する話題を耳にしない日はないほど、スポーツは私たちの生活に身近な存在となっています。本ゼミでは、運動中に体の中で何が起きているのかを、心拍数や血圧などを実際に測定しながら、データに基づいて考えることを通して学びます。運動を可能にする身体のしくみや、運動による健康の維持・増進、トレーニングによって身体や運動能力がどのように適応していくのかを、スポーツ科学の視点から探究するゼミです。文系学部のゼミとしては珍しい内容ですが、専門的な知識は基礎から扱うため、理系科目が得意でなくても問題ありません。

身体活動の不足は、生活習慣病（心臓病や糖尿病、がんなど）の発症リスクを高めることが知られています。WHO（世界保健機関）も、身体活動不足を世界的に重要な健康リスク要因の一つとして位置づけています^[1]。日本人を対象とした調査でも、身体活動不足が健康に影響することが報告されています^[2]。一方で、日本では運動を習慣的に行っている人の割合は決して高くなく、特に大学生を含む20歳代ではその割合が低いことが示されています^[3]。高齢化と生活習慣病の増加により国民医療費（年額）は増加傾向にあり、すでに48兆円を超えています^[4]。医療費の増加は、医療・介護を支える社会保障制度の持続可能性とも深く関わるため、身体活動・運動の意義を理解し、社会の中でどのように実践・促進していくかは重要な課題です。本ゼミでは、スポーツ科学の知見に加えて、経営学部で学ぶ知識とも結びつけながら、健康やスポーツを取り巻く課題について考える力を養うことを目指します。

演習Ⅰ（2年次）では、運動と身体機能の関係を扱う研究分野であるスポーツ生理学の基礎を学びます。文献を読み、内容をまとめて発表し、全員で議論する抄読会を中心に進めるとともに、心拍数や血圧、心機能、酸素摂取量などの測定を体験する実習も行います。これらの活動を通して、運動時の身体反応をデータから読み解く力を身につけ、自分自身の関心に基づいた研究テーマを少しずつ形にしていきます。演習Ⅱ（3年次）では、各自が設定した研究テーマについて、先行研究を調べ、具体的な研究方法や実験の進め方を検討します。文献や研究計画についてプレゼンテーションを行い、議論を重ねながら研究の方向性を明確にしていきます。演習Ⅲ（4年次）では、実際に実験や調査を行い、得られた結果を整理・分析し、考察を加えて卒業研究としてまとめます。

ゼミの活動を通して、自分自身の体への理解を深めるとともに、データに基づいて客観的・論理的に考える力を養います。また、測定や実験を自ら行うことで、科学的な知見がどのように得られているのかを実感し、将来どの分野に進む場合でも役立つ基礎的な思考力を身につけることを期待しています。

参考文献

[1] World Health Organization. Global Recommendations on Physical Activity for Health. 2010; [2] Ikeda N, et al. PLoS Medicine. 2012; [3] 厚生労働省. 令和6年「国民健康・栄養調査」; [4] 厚生労働省. 令和5(2023)年度 国民医療費の概況.

3 募集予定人員・選考試験

10名程度・面接による選考を予定します。

4 その他

運動・スポーツをしていなくても大丈夫です。少人数で楽しく勉強・研究しています。

一之瀬ゼミナール

研究内容

**体の事やスポーツに関係していること
で興味のある事を色々と研究できま**



最大酸素摂取量の測定



〈研究内容の例〉

- ・プロ選手のコンディショニング
- ・企業における従業員への体のケア
- ・行政がすべき健康問題への取り組み
- ・睡眠について
- ・トレーニングの効果 など

先生

一之瀬先生は、運動や生理学に関することはもちろん、それ以外にも個人的な相談など何でも答えてくれる、**とても優しい先生**です。

活動内容

授業と研究・測定以外の活動（合宿・サフゼミなど）は特に行っていません！

研究のための測定などは、各自で予定を合わせて行うため、**自分の計画で研究をすることができます。**

興味のあることを専門的に研究できることが、

一之瀬ゼミ最大の特徴です。

ぜひ、活気ある一之瀬ゼミで学びましょう！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

戦略管理会計に関する基礎的研究

2 研究内容

当ゼミでは「戦略管理会計」について研究しています。戦略管理会計は、組織体の経営管理をサポートする管理会計の一分野であり、経営管理者が経営戦略の策定、実行、評価、見直しなどにおいてさまざまな意思決定（判断）を行い、業績を向上させていく上で役立つ情報を提供するための会計領域です。

企業を代表とする現代の組織体は、激変するグローバルな経営環境にうまく適応しながら、厳しい生存競争を生き抜いていかなければなりません。そのために、経営管理者は経営環境を勘案して経営戦略を策定し、組織内の人々が協力しあってこれを実行し実現していきます。このような経営スタイルは「戦略経営」と呼ばれています。

戦略管理会計は、戦略経営において、組織体の業績に影響を及ぼす市場や顧客、競争相手といった組織外部の環境要因に焦点を当て、それらの要因の変化や動向が組織内部の組織要因および業績に及ぼす影響を会計情報という形で経営管理者や従業員たちに示すことによって、組織全体が経営環境の変化に柔軟に適応していくために必要な革新的なアイデアや方策の創出を促進し、経営戦略を実現に導くものです。

現代のようにさまざまな要因が複雑に絡み合い、先行きの見えない状況の中で、組織体の経営における戦略管理会計の重要性はますます増大しています。その一方で、戦略管理会計に関する研究はまだ十分に蓄積されているとはいえません。

そこで当ゼミでは、現代の戦略経営に役立つ会計情報とは何か、そしてそれをいかに作成して提供するか、また経営戦略を実現に導く仕組みをどのように構築するか、といった課題について、戦略管理会計に関する文献と調査に基づきながら研究しています。まず、2年次には、戦略管理会計を研究する上での前提となる基礎的な知識の修得を目指して、管理会計に関するテキストを用いて学習します。3年次には、戦略管理会計に関する文献（著書や論文など）を輪読した後、グループによる共同研究を通じてさまざまな論点を考察し、懸賞論文の作成を目指します。4年次には、これまでの研究を踏まえ、各自でテーマを設定して個人研究を行い、卒業論文の作成を行います。

3 参考文献

ゼミで使用する文献は、ゼミの中で適宜指示します。

4 募集予定人員・選考試験

12名程度。選考は、エントリーシートおよび面接試験にて行います。

5 その他

- (1) ゼミ活動は授業における本ゼミを基本とします。また、希望により週1～2回のサブゼミも行います。これ以外に、年2回（夏休みと春休みに2泊3日）の合宿、スポーツ大会や学内外のプレゼンテーション大会への参加、他大学との合同ゼミ、実務見学、コンパなどを行います。これらの活動はゼミ員主体で企画し行っていきます。
- (2) 本ゼミは、4年次を除いて、基本的に輪読を中心に進めていきます。輪読とは、研究テーマに関する1つの文献を複数人で分担し、各担当者による報告と質疑応答を行いながら読み進めることにより、文献上のさまざまな概念を相互に理解しあい、グループ間で基本的な知識を共有して行く学習法です。そのため、報告者には報告および質疑応答に関する事前の準備（プレゼンテーション資料の作成や関連資料の用意など）を責任をもって行うことが求められます。また、報告者以外の者にも、報告者に質疑するための事前の準備（文献を読んで問題意識をもち、疑問点を明確にしておく姿勢など）が求められます。
- (3) 当ゼミでは、何事も“楽しむ”ことのできるゼミ員を募集しています。会計のゼミですが、管理会計は“マネジメント”に興味・関心のある人なら誰でも学べ、将来必ず役に立ちます。会計学科はもちろん経営学科や公共経営学科の学生も大歓迎です。面白くてためになるゼミを目指して、私と一緒にいろいろなことにチャレンジしましょう！

研鑽

しなきゃ、
ゼミじゃない。

大槻ゼミナール 19期生ビジョン



「楽しむ」がモットー
本気で学ぶ管理会計

会計ゼミですが、経営学科生も多数在籍！学科の垣根を超えて歓迎します。

SUPERVISOR



とにかく優しい大槻先生！！いつもの確なアドバイスをくれます。



仲良く明るい雰囲気
メリハリを持って研究し、遊びも全力！！



- 5月 入室試験
- 7月 キックオフミーティング
- 9月 夏合宿
- 11月 OB・OG会
- 12月 ゼミプレ、アカコン
- 2-3月 冬合宿（スキー・スノボ）インゼミ

ゼミ生一同、
皆さんの挑戦を**楽しみ**にしています！！

FOLLOW US ON INSTAGRAM
[@otsuki.seminar_meiji](https://www.instagram.com/otsuki.seminar_meiji)

05. 小俣演習〔2年半タイプ〕

教授 小俣 光 文

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

データで企業活動を捉えるスペシャリストに！

2 研究内容

小俣ゼミでは、現実の事例の検討によって、日頃培ってきた知識を、実際の事例にどのように適用して判断するのかといった問題解決能力や健全なアカウンティング・マインドを身につけることを目標にしています。そのために、実際の企業の財務諸表や会計に関する資格試験の問題を題材にゼミ生全員で検討することによって、実際に社会に出て実務を行う際に、会計プロフェッションとしての判断が行えるような知識を身につけていきます。

具体的には

2年秋学期は会計の基本書を輪読し、範囲内の会計に関する問題について、資格試験の問題等を題材にしてディスカッションして、理解を深めます。

3年次は、財務諸表にどのようにサステナビリティ情報が開示されるかといった、会計・監査で話題となっているトピックを中心に企業の財務諸表を読み、話題となっているサステナビリティ情報の開示と保証等のトピックを中心に分析し、開示された情報から企業活動のある程度類推できる能力を養います。

4年次は、3年次までに学習した成果をもとに各自興味のあるテーマを選定して、卒業論文を制作します。

3 参考文献

桜井 久勝『財務会計講義』（最新版）中央経済社
桜井 久勝『財務諸表分析』（最新版）中央経済社
大津広一『会計力と戦略思考力』日経ビジネス文庫
有限責任 あずさ監査法人『すらすら図解 IFRS のしくみ』中央経済社 など

4 募集予定人員・選考試験

15名程度

日商簿記検定2級程度の筆記試験と面接を行います。

5 その他

将来会計を武器にして活躍したいという意欲のある諸君の参加を待っています。

最高の仲間と出会い、学べる

創設から今年で17期目を迎え、経営学部屈指の公認会計士試験合格者を輩出してきた小俣ゼミナール。そのヒミツは「最高の仲間が集まる環境」にあります。このゼミには毎年、**公認会計士、税理士、日商簿記検定1級**取得など、**会計プロフェッション**を目指す意欲ある仲間たちが集います。これらの資格勉強は**一人で挑むものではなく、仲間と協力し、助け合い、切磋琢磨**することで初めて合格をつかむことができます。そんな同じ志を持つ**最高の仲間や頼れる先輩**が揃い、「どこよりも」学びの実績と環境が整った、私たち小俣ゼミナールは**会計系ゼミの間違った選択**です。



01

どこよりも、自分の未来が見えるゼミ。

小俣ゼミナール

02

実務がわかる、未来が見える

大学卒業後、その先の未来が、「どこよりも」見えるのが小俣ゼミナール。なぜなら**会計プロフェッションとしての実務を意識した勉強**ができるから。普段の試験勉強と、会計・監査の実際の業務に、異なる点が多いことは容易に想像できるでしょう。しかしここでの学びを通じて、そのギャップを確実に埋めることができます。**小俣光文先生**は、**四大監査法人に勤められたほか、公認会計士試験の試験委員[科目:監査論]を担当**された経験もある**会計・監査のスペシャリスト**。そんな小俣先生(超優しい)から、**近い距離で、最新の会計基準や監査実務について学べる機会が毎週ある**からです。これは小俣ゼミならではの、間違いなく貴重な経験です!



明治大学経営学部教授
公認会計士
小俣 光文 先生



ぜひ見てね!



Instagram
随時更新中!
質問はDMへ
どうぞ!

03

だから、合格できる

会計系のゼミ選びに迷ったらここ!

「どこよりも」な実力で、次は君の番!

■公認会計士試験 現役合格実績

2022年度 3名 (論文式)

2023年度 10名 (論文式)

2024年度 2名 (論文式)

9名 (短答式)



■日商簿記検定1級 保有者

現3,4年生 10名

年間イベント



ゼミでの学び

ゼミ生の裁量権が大きく、ゼミ生自身がテーマを定めて主体的に会計の世界を究めることができます!

[例] 切り拓く! 会計探求の2年半

2年生 企業会計基準の理解

3年生 実在企業のデータ分析

4年生 卒業論文のテーマ決定/作成



お互いを尊重し合える温かい雰囲気こそ、このゼミの魅力!

6月 **歓迎会** (新ゼミ生の皆さんをあたたく歓迎します)

8月 **BBQ** (夏の風物詩!? @山梨県の小俣先生宅)

12月 **OB・OG会** (現役の先輩会計士とコミュニケーションできる貴重なチャンス!)

2月 **追い出しコンパ** (卒業する4年生を送り出します)

他にもスポーツ大会参加、スキー合宿、試験お疲れ様会など

06. 折方演習〔2年半タイプ〕

准教授 折方 のぞみ

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

グローバリズムと国際化社会：ヨーロッパ的視点からの世界観

2 研究内容

教員のフィールドはフランスですが、広くヨーロッパ的な視点から世界を見ることに主眼を置いています。アフリカの台頭でフランス語話者人口は 2050 年に世界一になると予測されるなど、世界は「英語を話せば国際人」といった近視眼的視点の遙か先の未来予想図を提示し、諸外国は敏感に反応・対応し始めています。グローバリズムが生まれ故郷であるイギリスとアメリカで相次いで行き詰まりを見せる中、世界を俯瞰的にみる力と自国を客観的に語る力を育み、真の意味での「国際感覚」を身につけることは喫緊の課題です。

当ゼミでは各自の興味と主体性を尊重しながら幅広い視点と自由な発想力を養い、政治、経済、メディア、社会政策、文化など、多様な観点からインターナショナルな世界を考えます。先輩たちの卒論テーマ例は、「都市空間におけるグリーンインフラの導入」「離島における EV 車の有用性」「日本のキャラクタービジネス」「スポーツを通じた地域振興」「ストーリーミングサービスがもたらす音楽市場の変化」「アメコミにおける女性ヒーロー」「アイドル×出版業界」「ファッションとジェンダー」「日本の教育産業における Edtech」など多岐に渡ります。

ゼミの到達目標は、自ら学ぶ姿勢を養い、学んだ事を的確に伝え、意見を的確に発表する力を身につけることです。また、グループ研究やディベートを取入れることでチームワークや対話力も養います。ゼミ生の希望によって、フィールドワークを実施することもあります。サブゼミは学生のニーズに合わせて行いますが、3年次の春学期には例年定期的に行っています。

- ・ 演習 I では基礎的知識を身につけます。基礎的な文献の輪読発表を通して要点をつかんでまとめる力をブラッシュアップします。また、ディスカッションを通して問題を掘り下げて考え討論する力を養います。欧米諸国の歴史や考え方を理解するための映像資料視聴も取り入れ、討論のための引き出しを増やします。
- ・ 演習 II ではより専門的な文献の輪読発表を行うほか、社会問題を深く考える補助線としてより包括的な内容の映像資料視聴を取り入れ、さらに考察力とディスカッション力を磨きます。また、春学期のサブゼミではテーマを決めてグループ調査研究を行い、リサーチ力とプレゼン力を養います。秋学期はテーマを決めてグループ対抗でディベートを行い、討論力を磨くと同時にエビデンスを持って自説をアピールする力を養います。
- ・ 演習 III では各自関心のあるテーマでの卒業論文の執筆がメインとなります。

3 参考文献

授業内で随時紹介、指示します。

4 募集予定人数・選考試験

12名程度 エントリーシートと面接

5 その他

異文化理解や国際比較に関心のある、意欲ある学生の入室を歓迎します（語学力は問いません）。「よく遊びよく学べ」をモットーに、楽しく充実したゼミ活動を行いたいと思います。ゼミ活動を通して一生の仲間を作った先輩たちも多いです。みなさんとの新たな「出会い」に期待しています！

折方ゼミナール

〈2年半 タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉



【ゼミの特徴】

折方ゼミは、主にヨーロッパ的な視点から国際比較を行う「国際教養ゼミ」です。世界の国々から日本を見つめることで、新たな発見や問題の捉え方を見出し、「真の国際感覚」を身につけることを目標としています。また、折方ゼミの特徴として「自由度の高さ」が挙げられます。2年次のゼミ活動を通して積み上げた知識をもとに、3年次には研究したいテーマごとに分かれてグループワークを行います。2025年度は、ドラマ、フェス、食など、様々なテーマでプレゼンテーションを行いました。チームワークを大事にしながら、興味を持ったテーマについて、しっかり掘り下げることができる点が折方ゼミの魅力です。折方先生から豊富な知識や指導、サポートをいただけるため、全員がしっかりと研究に励むことができます。

【活動内容】

授業では、複数の書籍や映像を通してグローバルズムや各国の社会文化事情について学んでいきます。各自が考察や資料を持ち寄り、チームでディスカッションを行うことで、より考えを深めていきます。授業以外でも様々な課外活動を行っており、2025年度はゼミ合宿やスポーツ大会に参加しました。



ゼミ合宿では書籍に関するディスカッションをはじめ、学年を超えた交流やスポーツなどを行いました。2025年度のスポーツ大会ではサッカー部門バスケット部門に参加しました!!

過去には国内外でフィールドスタディを行ったこともあります。基本的に学生が希望すれば可能なことが多く、自主性が尊重される環境となっています。



【ゼミの雰囲気】

折方ゼミはオンとオフの切り替えがはっきりしています。授業前後にご飯に行ったり、懇親会を開いて先輩・後輩の親睦を深めたりしています。「課題には真剣に取り組み、楽しむ時は楽しむ!」というメリハリのある活動が折方ゼミの特徴です!

1 研究テーマ

中国語圏の文学を様々な視点から考察する

2 研究内容

中国語圏の文学は、単に「中国の文学」という以上に大きな広がりを持っています。

担当者は中国の古典文学を専門としています。中国の古典文学といっても、漢文の教科書に出てくるようないわゆる漢文や漢詩ではなく、明清時代に出版された、口語体で書かれた小説「白話小説」を中心に研究をしてきました。たとえば『西遊記』や『三国志演義』、『水滸伝』等が白話小説の代表的な作品です。皆さんも名前を聞いたことがあるかもしれません。漢文の教科書に載っている作品たちは、中国の古典文学のほんの一部を占めるに過ぎないのです。

その古典文学は、他の文化圏、たとえば日本の文学ともつながっています。日本では古くから中国の古典文学を受容した歴史があり、日本の文学にもその影響がみられます。そのため、日本文学における中国文学の影響を分析する研究も盛んに行われています。

現代文学では、魯迅や老舎の名前を聞いたことがある人が多いかもしれません。最近ではSF小説『三体』やSF アンソロジー『折りたたみ北京』が人気となりました。もちろん、SF以外にも様々な作品がありますし、「台湾文学」や「香港文学」も一つのジャンルを形成しています。

こうした中から一つの作品を選んでじっくり読みこむのも楽しいですが、一つの作品を読んでいくうちに他の作品とのつながりに気づいたり、作品の背景となる歴史や、作品に登場する色々なモノやコトに興味を広がりたりすることもあるでしょう。

本演習では、中国語圏の文学に関心を持って集まってくれた皆さんと一緒に、中国語圏の文学について様々な視点から考察することを目標としています。参加者の興味や関心によって内容を変更しますが、おおまかには次のように考えています。

2年生 (演習Ⅰ)

中国語圏の文学について、概要を学ぶ。関連文献を輪読・発表形式で読む。

3年生 (演習Ⅱ)

中国語圏の文学から具体的な作品を選び、輪読・発表形式で読む。

4年生 (演習Ⅲ)

それぞれの関心によってテーマを決め、構想発表等で考えを深めながら卒業論文を執筆する。

3 参考文献

武田雅哉・加部勇一郎・田村容子編著『中国文学をつまみ食い：『詩経』から『三体』まで』（ミネルヴァ書房、2022）ほか

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。エントリーシートと面接で選考します。

5 その他

中国語圏の文学に興味を持っている人であれば、中国語や漢文を履修していなくても大丈夫です（中国語や漢文の知識があれば、原文の読解に役立ちます）。参加者の関心やレベルに合わせて進めますので、辞書や翻訳等も活用しながら、一緒に勉強していきましょう。

笠見ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

今年度より開講のため、学生からの原稿はありません。

1 研究テーマ

- ◇ 社会の変化と租税
時事問題や税制を中心に課題を発見し、解決のために学修成果を総合的に活用する。
- ◇ ディベートによる知識の実践
講義で学んだことをディベートで実践活用することで、自分の力にする。

2 研究内容

大学の講義では様々な知識を修得します。このゼミでは、講義で学んだ知識を、ディベートを通じてゼミ生自ら主体的に考え、論理的主張としてまとめ、発信することによって、生きた知識として実践しながら研究を行います。グローバル化やデジタル化など、現代社会は価値観の多様化や社会的認識の変化が急速に進み、新たな社会問題や経済取引の複雑化も生じています。

例えば、企業が法人税を払いたくないと思うことは悪いことなのか（租税倫理）、ふるさと納税の返礼品規制は必要か、地方自治体による婚活推進は問題かなど、社会の変化に対応すべき租税の新たな問題は、個人や法人の生活と深く係わっています。こうした社会問題に対して、ゼミ生の研究関心に応じてディベートのテーマ選定を行い、租税、社会保障制度、ジェンダー等のアプローチから、賛成・反対チームに分かれて議論を交わし、ジャッジが勝敗を下します。

【到達目標】

時事問題について、経済的・法的視点から研究し、ゼミ内で議論を重ねることによって理論的思考のトレーニングを行います。ディベートを通じて研究を行うことで、自分たちの主張の正当性だけでなく反対意見も検討する必要があるため、多様な価値観を学び、論理的な説明ができるようになります。

3 参考文献

ゼミ生の関心テーマに応じて、随時紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度 エントリーシートと面接

5 その他

ディベートはチーム戦です。ゼミメンバーで切磋琢磨し、話し合いを進めることが必要なため、積極的かつ協力的にゼミに参加する姿勢が求められます。人前で話すことが苦手でも、トレーニングを重ねることで上達していきまし、論理的思考が得意な頭脳タイプもディベートには必要です。大切なことは、自分で学ぶ意欲を持ち続けることです。楽しいゼミにしましょう。

税理士を目指して大学院進学を考えている人は、ぜひゼミにお越しください。

加藤友佳ゼミ

KATO SEMINAR

【About us & What's kato seminar】

加藤ゼミは租税法を専門とし、実際に起きた事例を基にディベートを行うゼミです。授業では、原告側と被告側の2グループに分かれてテーマについて調査を行い、それぞれ主張や根拠を調べ、予想される反論などを想定した上で討論します。ディベーターだけでなくジャッジとして勝敗を決める役割も経験できます。

教授紹介



加藤先生はとても優しくフレンドリーで、美人な先生です。難しい事案も丁寧に解説し、初歩的な質問にも笑顔で答えてくださるので、安心して相談できます。



Sports Festival

税理士に興味がある方は是非!!

ディベートは一見、堅苦しく見えても、みんなで意見を出し合い、明るく真剣に議論しています!



Check This !



@KATO_ZEM12



どの学科生でもWelcome!
一緒に最高の思い出と経験を築きましょう!

09. 金子演習〔2年半タイプ〕

教授 金子 敦子

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ (Topics)

ビジネスコミュニケーションの行動デザイン、心理的安全性、組織行動、グローバル人材育成 (Behavioral Design in Business Communication, Psychological Safety in Learning and Workplace Settings, Team and Organizational Behavior, Global Talent and Leadership Development)

2 概要 (Seminar Outline)

大学生活でも社会でも、「人と協力して成果をつくる」コミュニケーション力が求められます。金子ゼミでは、①伝わる話し方、②安心して意見を交わせる場づくり、③実証的に“現象を読み解く”リサーチ力の3点を軸に、ビジネスコミュニケーションの構造と行動を学びます。

2・3年次は共同研究と文献購読、4年次は卒業論文制作を通して、論理力・発信力・対話力を段階的に伸ばしていきます。研究方法は基礎から丁寧に扱うため、研究がはじめての学生でも安心です。授業では、研究テーマに関連する文献を読み進めながら、心理的安全性を大切にしたいディスカッションとレビューを行います。意見の違いを尊重し合う温かい雰囲気、参加しやすいゼミです。また、留学生（インバウンド・アウトバウンド）の参加も多く、留学経験や就職活動に関する情報共有・相互支援が活発です。

これまで取り上げられた研究キーワードには、ビジネスコミュニケーション、リーダーシップ、フォロワーシップ、EQ（感情知能）、心理的安全性、信頼、印象、CMC（computer-mediated communication）、生成AI、SNS、非言語コミュニケーション、談話分析、環境と生産性、リモートワーク、ワークエンゲージメント、越境学習などがあります。ゼミ生の自主性を尊重し、それぞれの関心に応じたテーマに取り組みます。研究成果は、明治大学・法政大学・関西大学・関西学院大学の合同ゼミで発表します。

ゼミのコア概念は“Evidence-based Business Communication Design (EBCD)”。ビジネス領域の説得・理解・意思決定をエビデンスに基づいて設計・統合することで、実社会で成果につながるコミュニケーション能力を育てます。

3 教員略歴 (Faculty)

株式調査部アナリスト（UBS証券会社）、コンサルタント（アクセンチュア）等を経て現職。MBA（University of London）、文学士（東京大学）。

4 参考文献 (Books)

Cardon, P. (2023). *Business Communication: Developing Leaders for a Networked World* (5th ed.). McGraw-Hill.

5 募集予定人員・選考試験 (Enrollment)

12名前後を募集予定。選考は英語と日本語による書類および面接。Around twelve students will be enrolled.

6 その他 (Notes)

授業内言語は日本語と英語とする。Strategic Business Communicationを履修済みであることが望ましい。Classroom languages: Japanese and English.

Kaneko Seminar -Exceed Your Limits-

-Research Topic-

- ・グローバル経営人材
- ・組織行動
- ・マネジメント・コミュニケーション
- ・Evidence-based Communication Design

Schedule

5月・6月 ゼミ入室試験

7月 新歓コンパ

8 or 9月 夏合宿

10月 スポーツ大会

英語プレゼン大会

11月 合同ゼミ

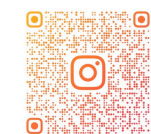
2月 冬合宿

コンサルタント、株式会社調査部アナリストを経て現職
MBA(University of Lodon)
文学士(東京大学)

Prof. Atsuko Kaneko



興味関心のあるテーマ
についてグループで
研究、ディスカッション、
プレゼンテーションをします！



@MEIJI_KANEKO_SEMINAR_2025

Instagramアカウント名：

@MEIJI_KANEKO_SEMINAR_2026

10期生として金子ゼミを作り上げたいと思います！
留学予定者・留学生も大歓迎！



10. ビクトリヤ演習〔2年半タイプ〕

准教授 カン・ビクトリヤ

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

起業家精神（アントレプレナーシップ）、スタートアップの成功秘訣、起業家エコシステム

2 研究内容

Apple、Google、OpenAI、Tesla、ソフトバンクに代表されるように、ゼロから事業を生み出し、急成長を遂げるスタートアップ企業やベンチャー企業、ユニコーン企業は、失敗を恐れず新しいことに挑戦する「ハイリスク・ハイリターン」型の企業として、世界経済の成長と活性化を牽引しています。その原動力となっているのが、創業者の起業家精神（アントレプレナーシップ）です。急成長イノベーションスタートアップは、「創造的破壊」の担い手として、次世代の日本経済を支える存在として期待されています。

本ゼミでは、起業家（アントレプレナー）の活動に焦点を当て、アントレプレナーシップの本質を理論と実践の両面から探究します。あわせて、現代の経済社会において起業家が果たす役割や直面する課題を理解し、起業家社会による経済活性化について学びます。

2年次秋学期は、起業家精神およびスタートアップの基礎知識を身につけることを目的に、輪読を中心に進めます。事業創造における意思決定のメカニズム、起業家の資質やリーダーシップ、事業機会の発見などを考察し、アントレプレナーシップの本質に迫ります。また、アイデア創出力を高めるためのトレーニングも行います。

3・4年次では、日本国内外のオープンデータ分析や事例研究を通じて、スタートアップの実態、立ち上げやビジネスモデル構築、新規事業の成長戦略などを実践的に学びます。新規事業創出のプロセスを段階的に理解し、多様なケーススタディをもとに成功要因を多角的に検討することで、ベンチャーマインドの養成を目指します。

さらに、文献調査や二次データ分析に加え、チームで関心のある起業家やスタートアップ企業を選び、聞き取り調査などによる一次データ収集も行います。業界構造や競争環境を分析し、企業の現状と課題について議論します。理論や戦略分析ツールを用いて仮説を立て、その検証に主体的に取り組むことで、問題発見力と問題解決力を養います。

3 参考文献

各学年の皆さんと相談のうえ決定しますが、以下に何冊かの参考文献をお示しします。

加藤雅俊著 (2022) 『スタートアップの経済学—新しい企業の誕生と成長プロセスを学ぶ』有斐閣

Ilya Strebulaev (2025) 『The Venture Mindset: How to Make Smarter Bets and Achieve Extraordinary Growth』John Murray Business 社

4 募集予定人員・選考試験

12名前後。選考は、エントリーシートおよび面接試験にて行います。

5 その他

本ゼミでは、起業や新技術・新商品の開発に関心を持つ学生の入室を歓迎します。チーム研究では、将来就職を希望する、または関心のあるスタートアップ・ベンチャー企業や業界を自由に選べます。研究開始にあたっては、各自の「研究目的」「問題意識」「仮説」を明確にし、情報収集・分析力、批判的思考力、コミュカ、プレゼン能力を総合的に鍛えましょう。

また、他大学との交流会やインゼミ、スポーツ大会、学内外のプレゼン大会に加え、ゼミ合宿や懇親会も予定しています。これらの活動は、ゼミ生主体で企画・運営します。何よりも大切なことは、チームワークを仲良く楽しくさせ、一生の財産になるような仲間を作ることです。

カン・ビクトリヤ ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

今年度より開講のため、学生からの原稿はありません。

11. キアナン演習〔2年半タイプ〕

教授 キアナン・パトリック

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

言語と異文化コミュニケーション

2 研究内容

この演習では、英語を通して、言語学と異文化コミュニケーション研究し、言語や文化について、さまざまなことを学んでいく。将来、海外や国際的な企業で働くためには、まず世界的な共通である英語習得が不可欠となる。しかし、文法などの言葉の理解のほかにも、効果的なコミュニケーションには、文化的な理解が欠かせない。文的違いを意識して、それを乗り越えるコミュニケーション力が必要である。世界的なビジネスの場においても、上手くいくはずの計画が失敗になった数多くの例が、異文化コミュニケーションに対する認識不足のためともいえる。そこでこの演習は、英語を通して異文化理解を勉強するものであり、その中でも、特に重要となる言語を取り入れた「言語と異文化コミュニケーション」に注目する。さらに、言語と異文化コミュニケーションを調べながら、英語のディスカッションで、発言のしかた、効果的なプレゼンテーションの作り方、英文の書き方などを学ぶ。またインターネットから英語のビデオ、記事なども用いて、英文読解力と聴解力を強くする。教員は理論などを紹介し、学生自身は、興味のある分野をさらに研究して、授業中の発表やディスカッションで紹介、また英語のレポートを書く。1学期（2年秋学期）は、異文化コミュニケーションを紹介して、ディスカッション、討論、発表の仕方について勉強する。第2・3学期（3年春学期・秋学期）には言語、文化とビジネスという幅広いテーマから最近の例を考えながら便要する。また、学生はブランディングについて、勉強して、グループでビジネスプランを作成して発表をする。夏休みの初めまたは、最後に合宿行い。合宿は、ゼミ生の交流と共に英語プレゼン大会を準備する。3年後期では、その英語ライティングコンテストを参加して、そして英語ライティングコンテスト及び学生向き教育学会も参加できる。最後に12月頃 iMeeting というイベントを経過してから開催する。第4・5学期（4年春学期・秋学期）は、英語により卒論を書きます。テーマの選び方から文書の修正まで丁寧指導しますので、ご安心ください。

3 参考文献

参考資料は、授業に案内するし、Oh-o!Meijiによるリンクまたは、添付する。

4 募集予定人員・選考試験

20名程度

5 その他

この演習は、基本的に英語で行う。効率をあげるために、毎回予習・復習をし、授業に活発に発言しましょう。これにより英語を上達し、重要な文化的事情を学びながら、同じ演習を受ける学生との交流もはかれる。

キアナンゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

Kiernan Zemi 2026

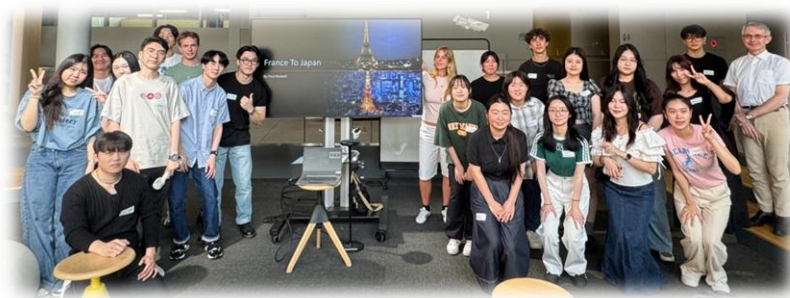
現代では英語が話せて当たり前とされています。社会に出て何不自由なく外国人とコミュニケーションがとれて、グローバルな社会人になるためには、大学生の期間に『日本』という限られた価値観の中で勉強していくには限界があります。しかし、留学や英会話学校に通うというのは、お金や時間の制限があるためなかなか難しい……。だっ



☆ここが特徴！☆

- ◆ 経営学部唯一、英国人先生によるゼミ！
- ◆ 日本人だけでなく、留学生もゼミ生！
- ◆ 英語コミュニケーションだけでなく異文化やグローバルイシューについて勉強が出来る！
- ◆ 英語プレゼンテーションコンテストに参加出来る！
- ◆ ゼミ合宿やパーティもある！

If you love English, why not join us?



12. 菊地演習〔2年半タイプ〕

教授 菊 地 端 夫

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

行政・自治体を中心とした公的組織・サービスのマネジメントに関する研究

2 研究内容

本演習は、行政組織を中心とした様々な公的組に関わるサービスやマネジメントについて探求を行うことを目的としています。

かつて、行政組織を中心とした公的組織のマネジメントは、民間企業とは異なる原理で行われるべきとされてきました。しかし、20世紀後半から企業の経営手法に学ぼうという改革が行われるようになり、一方で民間企業ではCSRなど広範な社会的責任に応える経営が重視されるようになりました。行政組織と民間組織のマネジメントの差異は相対化しつつあります。

これまで本ゼミでは、上記の大枠に基づき、次のような幅広いテーマで学生による研究が行われてきています。「世代間の利害調整手法としての“フューチャー・デザイン”の可能性」、「道の駅」における農産物直売所が販売農家のモチベーションに与える影響に関する研究」、「空き家再生・利活用を目的とした不動産業者の関わりに関する研究」、「ローカル線が持つ多面的価値による持続可能性に関する研究」、「農業の持続可能性を高める一手法としてのグリーンツーリズムの可能性に関する研究」、「自治体クラウドファンディングの成功要因についての実証研究」、「自治体の子育て支援策が出生率に及ぼす影響力の検証ー近居推進事業の政策的効果に注目をして」、「自治体による地域猫政策の有効性に関する実証研究ー補助金支援の効果検証を中心に」、「観光レンタサイクルの効果分析についての試みー現地調査とアンケート調査を用いた回遊性向上の検証」他。

また本ゼミでは、夏季休暇中の合宿に加えて、これまでゼミプレや外部の研究発表への参加、英語プレゼン大会への参加なども行ってきています。ゼミ生の卒業後の進路は公務員も一定数いますが、大半が民間企業への就職です。ゼミでの経験を活かして、行政経営コンサルタントとして活躍している卒業生もいます。国立・私立の大学院への進学や、アメリカ、カナダ、イギリス、オランダ、シンガポールなどへ留学し、海外で働いている卒業生もおります。

そのため将来の進路として公務員を考えている学生のみならず、ひろく企業での働きや自らの事業での活動を通じた公共的な価値形成とそのマネジメント一般に関心のある学生にも入室をお勧めします。近年は英語による研究の発信にも力を入れています。ゼミでの活動で様々な挑戦をしてみたい学生の応募を期待しています。

3 参考文献

ゼミで使用する文献は学生と相談しながら決めますが、これまで、研究の方法に関する文献（伊藤公一朗（2017）『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』光文社、伊藤修一郎（2022）『政策リサーチ入門』東京大学出版会他）と、研究の対象に関する文献（枝廣淳子（2018）『地元経済を創りなおすー分析・診断・対策』岩波、大月敏雄（2017）『町を住みこなすー超高齢社会の居場所づくり』岩波、曾我謙悟（2019）『日本の地方政府』中公新書、川端基夫（2017）『消費大陸アジア：巨大市場を読みとく』筑摩書房、他）を数多く読み進めています。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。入室試験は身上書と事前レポートの提出に加え、面接を行う予定です。2026年度の活動や選考の詳細はゼミナビ（個別説明会）で発表しますので、履修希望の学生は必ず参加してください。

5 その他

同じ志をもった仲間とともに切磋琢磨しあい、卒業後も長きにわたってつきあいの続く一生ものの仲間に、ゼミで出会いませんか。最低限の礼節を備え、時に苦しいけれども学ぶこと全般を楽しめる学生（No Joy, No Gain!）の参加を大いに期待しています。

菊地ゼミ

菊地ゼミってどんなゼミ？

No joy, No gain

菊地先生について

菊地先生の研究分野は、行政学・地方自治論・公共政策論です。海外でもご活躍されており、その豊富な知識と親しみやすいお人柄に惹かれて志望したゼミ生も多くいます！研究の場では的確なアドバイスをくださるため自分の研究を深めることができます。

実績



英プレ
|
特別賞



ゼミ生からひと言

菊地ゼミは遊びと学びどちらも全力！
そして素敵な仲間とも出会えます！
ぜひ、菊地ゼミと一緒に学びましょう



学んでいる内容

行政組織を中心とした様々な
公的組織・サービスのマネジメント
に関する実証研究

授業内容

2年 3分間スピーチ,英プレ,文献輪読
3年 グループ研究,ゼミプレ
4年 卒業研究

魅力

①縦のつながりが強い

菊地ゼミは15年の歴史があり、先輩方の卒業後の進路も多様で、交流の機会通じて将来について幅広く考えられます！

②協力して学ぶ機会の多さ

毎授業行う3分間スピーチでの意見交換や、英語プレゼンテーション、グループ研究など、ゼミ内で協力して取り組む活動が多くあります。個人で考える力と、チームワークの両方を高められます！

③公共経営学科

ゼミ生には、経営学科や会計学科の人も多く、研究テーマは自由に決めることができるため、学科に関係なく、それぞれの関心に沿った研究に取り組めます！



@KIKUCHI.SEMINAR.MEJI

年間スケジュール

5月 7月 10月初旬 10月下旬 11月 12月・1月 3月

2年生歓迎会 夏合宿 スポーツ大会 英プレ ゼミプレクリスマス会 追いコン
(OBOG会) or 新年会

1 研究課題・テーマ

非営利組織・社会的企業による地域課題解決、地域振興の取り組み

2 研究内容

(1) 研究テーマ：このゼミでは、非営利組織（NPO/NGO）や社会的企業による地域課題への取り組みを研究テーマとしています。非営利組織や社会的企業は、教育、医療、福祉、まちづくり、スポーツ、途上国支援など幅広い分野で活躍しており、私たちの生活と密接なかかわりがあります。

地域社会には、実に様々な社会問題や環境問題があり、解決を迫られています。そのためには国や自治体はもちろん、非営利組織や社会的企業、営利企業、住民団体などが連携することが重要です。非営利組織や社会的企業は、「こんなまちにしたい！」という一人一人の願いに始まり、多くの共感を得て、比較的自由的な立場で意見を出し、事業を創出できるのが強みです。

(2) 2年生（演習Ⅰ）：二つの活動の軸を設けています。一つは、自分の好きなテーマを各自が一つ選び、報告するというもので、何をどう調べてまとめればよいのかというスキルを身につけることができます。もう一つは、非営利組織、協同組合、観光、金融、産業振興など多様な分野で、地域活性化の活動をしている方を招いて話をお聞きします。秋から冬にかけて合宿を行います。

(3) 3年生（演習Ⅱ）：数名でグループを作り、地域課題に関する研究テーマを決めて調査研究を行います。過去にどのような研究テーマがあったかは、小関ゼミのサイトを参照してください（「小関ゼミ」で検索すると出てきます）。

本や記事・論文などを幅広く集めて基礎知識を得るとともに、関係の団体や企業、自治体などを訪問して話を聞いたり、施設を見学したりします。訪問先は、各自で探してアポイントを取り、事前に質問を書いて送るなどの準備作業を行いますので、訪問インタビューの経験を積むことで自信がつかます。

夏季休暇中の合宿は、各グループが研究テーマに沿って訪問先を決め、合宿先の地域で訪問調査を行います。合宿先の地域の選定からレクリエーションまで全て、ゼミ生が話し合っ

て決めます。過去の合宿の記録も、小関ゼミのサイトにあります。

他大学・他学部のゼミとの交流もあります。12月に合同の成果報告会を開き、プレゼンテーションを行います。翌年1月には、研究成果の報告書を冊子にまとめ、配布します。

(4) 4年生（演習Ⅲ）：各自がそれぞれテーマを自由に決め、卒業論文を執筆します。論文のテーマ⇒構成案⇒文献収集・現地調査⇒各章の執筆⇒加筆修正と、段階を追って書き進めます。メンバーが互いに助言しあい、励まし合います。教員による個別指導のサポート体制もあります。過去の卒論は小関ゼミのサイトに掲載されています。

3 参考文献

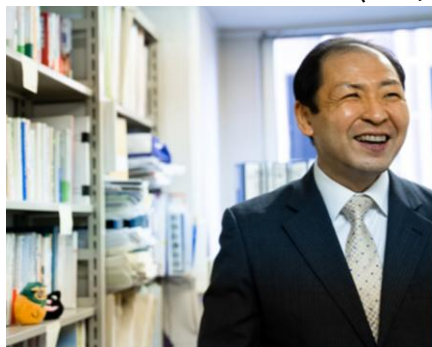
小関隆志編著『生活困窮と金融排除——生活相談・貸付事業と家計改善の可能性』明石書店、2020年

佐藤順子編著『フードバンク——世界と日本の困窮者支援と食品ロス対策』明石書店、2018年

4 募集予定人員・選考試験

12名程度。エントリーシートを提出してもらいます。

入室試験は、面接を行う予定です。



小関ゼミナール

#地域活性化

#主体性

小関ゼミでは、非営利組織(NPO)や社会的企業、地域活性化などの

身近な生活に深く関わる内容を、2年半かけて学んでいきます！！

2年生

- 個人発表
- インタビュー
- スポーツ大会
- 学年合宿



3年生

- グループ研究
- 合宿
- スポーツ大会
- 合同ゼミ
- 調査報告



4年生

- 卒業論文

小関ゼミで一緒に学びましょう！！



千葉県でのゼミ合宿にて

ホームページ

<http://kosekizemi.net>

インスタグラム

koseki_seminer_2025



4年生 13名 (経営 6名、公共経営 7名)

3年生:11人 (経営 5名、公共経営 6名)

14. 佐々木 匠 演習〔2年半タイプ〕

専任講師 佐々木 匠

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

フランスの文化、芸術、社会

2 研究内容

このゼミではフランスの文化、芸術、社会について学びます。とはいえ、「文化、芸術、社会」という言葉から連想される事柄はあまりに広く、漠然としています。ある方は小説や思想、美術、バンドデシネ、演劇、写真、映画の具体的な芸術家や作品を思い浮かべるかもしれませんが、ある方はファッションや、ワイン、チーズ、カフェ、シャンソンなどを想起するかもしれません。あるいは、ストライキやデモ、テロや移民といったニュースでたまに目にする社会問題により強い関心を持っている方もいるかもしれません。このゼミでは、そうした多岐にわたる文化、芸術、社会のなかから、各自の関心に合わせてテーマを自由に設定し、理解を深め、自らの考えを相手に伝える力を養うことを目指します。

テーマが自由ということは、その分、参加者の自主性や主体性が求められるということでもあります。教員の専門がフランスの比較的新しい文学なので、軸をフランスに固定しますが、一つのテーマのもと、フランスについてとことん研究してもいいですし、フランスとほかの地域（日本、英語圏、フランス以外のヨーロッパ、フランスの旧植民地など）を比較するのももちろんとても有効な研究方法です。楽しみながらじっくり学んでいきましょう。

以下は目安です。参加者の人数や希望に応じて臨機応変にやっていきたいと考えています。

- ・ **演習 I**：参加者の関心のあるテーマをもとに文献や映像資料を持ち寄り、全員での輪読・観賞とディスカッションを通じて、理解を深めていきます。自分の考えをまとめ、言葉で伝えることはもちろんですが、自分が得意とするテーマ以外のことでも、相手の考えに耳を傾け、自らの意見を言えるかどうかは非常に大切な能力です。授業を通して身につけます。
- ・ **演習 II**：いくつか大きなテーマを決め、グループや個人による発表、全員でのディスカッションを行っていきます。この作業を通じて、多様な価値観に触れ、視野を広げます。また、並行して、各自の卒論のための準備や資料集めもしていきます。
- ・ **演習 III**：各自の関心に合わせたテーマで卒業論文を執筆します。

3 参考文献

授業内で適宜指示します。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。エントリーシートと面接で選考します。

5 その他

フランスに関することがテーマですが、必ずしもフランス語ができる必要はありません。学ぶ意欲があるということの方がずっと大切です。ゼミでも積極性を評価します。


文化、芸術、社会は、いずれも人が人について考える場です。言葉を換えるならば、それは、人生に、自分自身に、他者に、人間同士の関係性に向き合うことでもあります。よく言われているように、それらを学んだからといってすぐに何かの役に立つわけではないかもしれませんが、でも、「効率」という言葉から少し離れたときに、心を豊かにしてくれるものや見えてくるものもきっとたくさんあるはずですよ。

ちなみに私は学生時代、文化、芸術、社会について学ぶことの最終的な目標・目的は「人に優しくなること」だと教わりました。素敵な言葉ですが、いったいどういうことなのでしょうね。私もまだまだ考え中です。関心のある方はぜひ。

Bienvenue !!

こんにちは 佐々木匠ゼミです♪


～ゼミの3つの特徴～

① フレッシュさ 

2025年にできたばかりの新しいゼミです！ このゼミ紹介のページも今はまだ簡素ですが、これから参加するみなさんが豊かにしてくれるのを楽しみにしています。

② 全員参加型の双方向授業 

1学年は10人くらいです。ディスカッションや、個人・グループでの発表をとおして、自分の考えを積極的に発信して、意見交換ができる環境が魅力です！

③ 自分の興味関心にとことん向き合える 

所属するゼミ生は教養分野を中心に多様な関心を持っています。「実用性」だけによらず、自分のペースで学びたいことを追究できる雰囲気です。（学期末にはお楽しみ会があることも？）

一緒にゼミを作っていきましょう！



スポーツ大会にて

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

歴史を通して世界を見つめる。

2 研究内容

このゼミは経営学部では唯一、歴史を中心として研究していくゼミです。しかしゼミの活動は、教科書に載っているような狭い意味での「歴史」に限定されるわけではなく、現代世界に関する数多くの問題も積極的にとりあげていきます。

「歴史を学ぶ」というよりも、「歴史を通して、私たちの住む社会や世界について考える」のがこのゼミのねらいです。次の3つを基本方針として進めます。

- ① 各自の関心を尊重した、自由なテーマによる研究が基本です。研究対象は、地域や時代を問いません。日本史や世界史の中からさまざまな事例をとりあげて研究することもできるし、私たちが生きている現代の社会問題や文化などをテーマにしてもかまいません。研究発表をもとにして皆で討論を重ね、理解を深めていきます。4年次に卒業論文を作成します。
- ② 文献や資料を読み進めることが基本になりますが、歴史について考える素材はほかにもたくさんあります。街並みや建築、文化財などの歴史遺産、芸術作品、人々が日常的に用いてきた生活用具、さらには自然景観なども、人間や歴史について豊富な情報を提供してくれます。なるべく生きた歴史に触れるため、実際に各地の史跡や博物館などを訪れ、歴史が展開した「場」を体験することを重視します。近年のゼミ合宿では、京都、大阪、名古屋、仙台、広島などで主に史跡に関する調査を行ってきました。
- ③ 史跡は、貴重な文化遺産であるとともに、観光資源としても有用です。各地の史跡をいかに役立てていくか、なるべく多くの事例にもとづいて考えていきます。

3 参考文献

共通の参考文献は特に決めていません。各ゼミ生の関心にもとづいて、参考となる図書や資料を指定します。

4 募集予定人員・選考試験

12名。面接により選考します。

どのようなテーマに関心があるのか、なぜそれが重要なのか、自分の考えをまとめて選考試験に臨んでください。

5 その他

- ① 歴史を手がかりとして幅広く考えるのが目的のゼミです。研究対象は広く設定できますので、大学受験で日本史や世界史を選択科目としなかったという人でも問題ありません。
- ② 3年次にゼミプレに参加して研究成果を発表します。
- ③ 夏休みに史跡見学などを中心とした合宿を行います。2年次の夏にはまだゼミは始まっていませんが、意欲的な参加を期待します。



薩摩ゼミナール

過去を語らずに今は語れない！！

薩摩ゼミとは??

経営学部で唯一、歴史を中心に研究を進めるゼミです。

最大の特徴は、自分自身で研究テーマを設定できることです！興味を持った分野を自由に選び、各自が研究を深め、発表や意見交換を通して理解を広げていきます。歴史に限らず、経営学・スポーツ・文化など、幅広いテーマの研究に取り組むことができる点も魅力のひとつです。

また、ゼミ生同士の発表を聴くことで知識が広がるだけでなく、プレゼンテーション能力も自然と身につきます。さらに、西洋史でおなじみの薩摩先生が丁寧にサポートして下さるため、安心して研究を進めることができます。

スケジュール

- 6月 ゼミ試・新歓コンパ
- 夏休み ゼミ合宿
- 9月 演習Ⅰ授業スタート！
- 10月 スポーツ大会
- 11月 演習Ⅱゼミプレ
- 1月 新年会
- 3月 追いコン



@satsuma_seminar34

詳しくは
Instagramを
チェック！

研究テーマ

〈研究テーマ例〉

- ・日本企業におけるブランドイメージ危機対応の変遷
- ・スポーツと政治・経済の関係
- ・魔女狩りからみたジェンダー論
- ・80年代以降の電子機器の技術変遷
- ・「推し活」の歴史
- ・国際大会におけるドーピングの歴史と意識の変遷



興味のある分野を、歴史的な視点から深く研究します。自分の好きなテーマを選んで研究できるため、研究テーマを自由に決めたい方や、幅広い視点で学びを深めたい方に特におすすめです！！

合宿

合宿では主に史跡や文化遺産などのある場所を訪問し、現在それがどのように生かされているのかを調査します。合宿での調査結果に基づきゼミプレで成果発表を行います

〈これまでの行先例〉

- ・京都府京都市
- ・広島県広島市、竹原市
- ・北海道札幌市、小樽市

少しでも興味を持った方はぜひガイダンスにお越しください！！

ゼミ生一同心よりお待ちしております♪

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

ライフスタイル・マネジメント

2 研究内容

グローバル化にともなって、自己責任、自己管理が個人に強く求められるようになっていきます。ゼミでは新しい健康の考え方であるウェルネスの観点から、ライフスタイル・マネジメントについて勉強していきます。ライフスタイルを構成する要素である運動、栄養、休養、ストレス・マネジメント、悪習慣（たばこ、アルコール、ドラッグ）マネジメントなどから、自分の興味に基づいたテーマを決めて、研究を進めます。さらに、ウェルネスやウェルビーイングの観点でライフスタイルからライフステージ、また、個人から家族、地域、自然環境、企業へ発展させて考えてみたいと思っています。自分自身について今何をやっていいか、10年後、20年後、30年後のライフスタイルをどのように設計するのか、考えてみる機会になればいいでしょう。演習Ⅰ（2年）では、まず自分自身についての理解を深めます。自分のライフスタイルを運動、栄養、休養の観点から、エネルギー代謝測定（カロリー消費能力）、行動調査、栄養調査（カロリー摂取量と摂取栄養素比率）を実際に行い、検討していきます。調査結果はコンピュータ（主にエクセル）を使って処理し、さらにパワーポイントを使いながらまとめ方やプレゼンテーションの仕方を勉強します。演習Ⅱ（3年）では、ライフスタイル・マネジメントの要素から、自分のテーマを決めます。文献や資料を収集し、内容をパワーポイントでプレゼンテーションします。発表と議論を重ねるに連れて、自分の興味の方向性を定めていくこととなります。また、その過程から4年次に行う実験やアンケート調査の方法を調べます。演習Ⅲ（4年）では、卒業論文の作成が活動の中心となります。3年次の活動を基礎に、実験や調査を行い、自分自身のオリジナルなデータを収集し、卒業論文を作成します。

3 参考文献

特に指定しません。

4 募集予定人員・選考試験

約10名。面接を中心に行います。

5 その他

ゼミ合宿、年2回、2泊程度、2～4年生合同で行います。スキーやスノーボード、キャンプなど、スポーツ活動を中心に行います。また、その他に特別な企画を立てて希望者による合宿やイベントを行うこともあります。

ゼミを選ぶにあたって健康に興味のある人、身体について興味のある人、ストレスについて興味のある人、フィットネスを増進させたい人、スポーツが好きな人、自然が好きな人を歓迎します。

ゼミ活動に積極的に参加できる人、ディスカッションで発言できる人材を求めます。健康に関係するゼミなので活動中はすべて禁煙です。

鈴井ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

《研究内容》 私たちのゼミでは、ライフスタイル・マネジメントをテーマに実験や論文読解と運動、飲酒、睡眠など、自分の深めたい内容に関する研究に取り組んでいます。自分の興味に基づいたテーマで研究を進められるため、人生を通して自分自身が今何をやるべきかゼミ活動を通して一緒に考えながら活動することができます。

3年生の研究テーマ（例）

- ・スマホと睡眠の関係
- ・競技に対するストレスがレースに及ぼす影響
- ・運動が睡眠に及ぼす影響
- ・アレルギー対応へのストレス



《活動》 鈴井ゼミでは、週一回のゼミ活動に加えて、夏はキャンプ、秋はゼミ対抗スポーツ大会、冬はスキー・スノボ合宿と座学以外のイベントも実施・参加しています。サブゼミ等はなく、体育会所属メンバーも複数名在籍しており、アルバイトやインターンとの両立も可能です。

健康や体を動かすことに興味がある人、自分の将来について真剣に考えたい人はぜひ鈴井ゼミへ来てください！卒業論文のテーマも健康に関することなら自由なので、幅広く研究したい人、何をしたいか決まっていなくても入ってから考える時間があるのでお待ちしております！学生生活を充実させるために鈴井ゼミへ来てください！



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

グローバル化と企業の国際経営

2 研究内容

本演習は、グローバル化のなかで、急速に変化しつつある企業の国際経営について学び研究することを目的とします。経営学分野の学問的素養を高め、企業の国際経営一国境をまたいだ経営活動—について考察することに重点を置くのはもちろんですが、ゼミの活動では、企業を実際に訪問し、その企業について調査・研究することを特色とします。調査対象とする企業組織については、日本の大企業ばかりでなく、中小企業、外国企業や日本の外資系企業も視野に含め、製造業のみならず、ホテルや旅館などの観光・サービス産業、さらに商社も考察の視野に入れていきます。具体的には、日本企業の日本本社と海外現地子会社をターゲットにして、学生の方から、積極的に企業にコンタクトをとることからゼミの実際の活動は始まりますが、外国企業の日本子会社の訪問や、可能ならば、海外本社や生産・販売拠点の訪問もスコープに入れて活動していきます。

演習1では、国際経営の概要の理解と、基本的な論点であるグローカリゼーション（企業の国境をまたいだ経営において、「グローバル」と「ローカル」な要因に、どう対応するかという問題）の理解を到達目標とします。これは私によるレクチャーを中心に行いますが、これに平行して、訪問企業の決定と企業にコンタクトをとる活動が中心になります。

本演習のもう一つの特色は、英語の積極的な活用です。外国書の講読を通じて英語の読解力を向上させるとともに、時には、英語によるプレゼンテーションやディスカッションなどの機会を設けていきます。意欲のある学生には、英語による卒業論文の作成も奨励します。また、英語による学習を通して、異文化間コミュニケーションに関連する問題も実践的に学習していきます。このようなゼミの学習環境の中で、英語をツールとして研究し、将来、日本語のみならず英語により職業生活を送ることのできるような人材を育成することもゼミの目標の一つです。海外大学院進学を目指す学生や留学生、外資系企業への就職を考えている学生にも有用なゼミにしたいと考えています。

3 参考文献

中川功一（他）著『はじめての国際経営』2018 有斐閣ストゥディア。
吉原英樹『国際経営』（第5版）2021 有斐閣アルマ。

その他、必要に応じて随時紹介していきます。

4 募集予定人員・選考試験

10～15名前後。面接試験（主に日本語でおこないますが、最後に英語による質問を加えます。これには英語での対応が必要です。）

5 その他

講義や学生の個人プレゼンテーションには、日本語のみならず英語による時間も積極的に設けていきます。また、ゼミ全体で読む文献や討論のトピックにも、英語論文の書き方や英語によるプレゼンテーションの仕方に関する内容も取り上げていく予定です。

Sumi Seminar

鷺見ゼミナール



～ゼミ生に聞いてみた！～

Q. ゼミの魅力は？

-A. 温かい雰囲気とメリハリ/やりたいことができる

Q. 決め手は？

-A. 座学だけで終わらない/学生主体である

【ABOUT US & WHAT'S SUMI SEMINAR?】

鷺見ゼミでは、国際経営をテーマに専門的な学びを深めています。授業内外で主体的にグループワークに取り組み、企業訪問を通して理論と実務を結びつけながら、国際的な視点から研究を行っています。また、海外での調査を通じて国際ビジネスの現状を直接学ぶ機会もあり、その準備として英語力の向上にも力を入れています。

本ゼミは、鷺見先生の海外研究を経て11期から活動を再開し、現在は11期・12期が中心となって運営しています。学生の意見が活動に反映されやすく、自分たちでゼミをつくり上げていく実感を得られる点が大きな魅力です。国際経営に関心のある方は、ぜひ一緒に学びましょう！

【SCHEDULE】

- 8月 ゼミ合宿
- 9月 本ゼミSTART
- 10月 ゼミプレ (4年連続ブロック内優勝)
- 11月 経営学部英語プレゼン大会 (3年連続優勝)
- 3月 企業訪問※11期はインドネシア
- 過去の企業訪問
キリン (日本、シンガポール、ミャンマー)、
Microsoft (日本)、明治製菓 (日本、シンガポール)、
みずほ銀行 (ミャンマー)、ホンダ技研

“Think globally, act local.”



【PROF. SUMI】

慶応義塾大学経済学部卒業後、渡米。ニューメキシコ大学で人類学博士号取得。その後サザンメソジスト大学・テンプル大学日本校などで10年以上教鞭を執り、2010年明治大学経営学部に着任。研究テーマはグローバル化と国際経営。



<https://sumiseminar8th.wixsite.com/homepage> (QR 左)

[sumi_seminar11](#) (QR 右)

[@sumiseminar](#)

18. 田中演習〔2年半タイプ〕

教授 田 中 充 洋

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

スポーツ組織マネジメント，ボールゲームのコーチング

2 研究内容

なぜ，スポーツには魅力があるのでしょうか!? 勝負の厳しさ，技の巧みさ，ファッション性，健康や医療としての役割，それともビジネスやコミュニケーションソフトとして利用できるからでしょうか？

当ゼミでは，こうしたスポーツの多義的な要因を様々な角度から研究していきます。

授業の主な流れは，2年次（スポーツ実習と理論），3年次（フィールド調査と発表），4年次（卒業論文の作成）です。

各自が関心あるスポーツを選び，既存のコーチング理論や施策から，今後のスポーツのあり方について考えて欲しいと思います。

3 参考文献

スポーツ・マネジメントやコーチングに関する書籍・文献を授業内で適宜紹介していきます。

4 募集予定人数・選考試験

15名 面接で選考

5 その他

当ゼミは，アスリート・コーチ・運営スタッフを目指す学生をサポートするゼミです。私の研究対象はラグビーですが，他競技の体育会所属学生やスポーツを探究したい学生が多く集まってきます。

学内での講義・実習に加え，ゼミ合宿やスポーツ観戦／視察なども予定しています。

単にスポーツ好きだけではなく，ゼミの運営に積極的かつ献身的に関わっていける学生を望んでいます。



田中ゼミでは、スポーツのコーチングからビジネスに至るまで、スポーツ界を取り巻く様々な問題について研究しています。昨年は、オリンピック・パラリンピックや W 杯などビッグスポーツに関する一連の問題や、J リーグやプロ野球をはじめとする国内プロスポーツ、そしてわが明治大学体育会などアマチュアスポーツの運営に至るまで幅広く議論しました。体育会ゼミだと思われがちですが、ゼミ生の構成はプロを目指すものからサークルや地域スポーツクラブでスポーツを楽しむ人まで様々で、とにかくスポーツが大好きな人たちが集まったゼミです。

授業では、各々が携わる競技について裏話も飛び出したりして毎回新しい発見も多く、比較することで異なった視点を持ち自分達の競技力を高める良い刺激にもなっています。

3・4年生は、キャンパスにスポーツ施設がなく全員一緒に運動する機会は少ないのですが、ゼミ合宿やボウリング大会・アウトドアスポーツイベントを通して親睦の場を作れればと考えています。

先生自身が、本学体育会ラグビー部の元監督であることもあり、シーズンが近くなるとラグビーの話題も多くなるので、明大生だなあ・・・という実感も湧いてきます。



(スポーツ大会 & 親睦活動)

1 研究テーマ

社会と会計（環境会計論、環境マネジメント論）

2 研究内容

地球環境問題への取り組みを中心に、環境マネジメントや統合報告といった視点から、多面的かつ幅広く研究したいと思います。

これまでの環境問題への取り組みは、一人ひとりが環境意識をもって省エネ・省資源活動にはげみ、日々の経済活動や生活態度を見直すことから始まるとされてきました。そのため、環境意識を高めるようなマインドセット（mind-set）への転換が叫ばれてきたわけです。

そして今日、社会全体のカーボンニュートラル（Carbon Neutral）の達成や、循環型経済（circular economy）の構築を目指して、AI や IoT、ブロックチェーン、ビッグデータを活用する「デジタル革新（DX: digital transformation）」を通じた社会システムの変革を実現しようとする議論が進められています。実際の街づくりにおいても、スマートタウン（smart-town）やスーパーシティ（supercity）などの構想は、実証段階から実用段階へ入り、すでに国内外の多くの都市・地区などで、規模や範囲の差はありますが、実現され始めています。

加えて、気候変動枠組条約締約国会議（COP）でもたびたび議論されるように、近年頻発する豪雨や大規模自然災害、不測事故等による「損失や被害（loss and damage）」は看過できず、経営者には、非常／緊急時においても最低限の事業活動を継続できるようにするための「事業継続計画（BCP: Business Continuity Plan）」の策定も要請されています。気候変動を「緩和」するだけでなく、気候変動に「適応」する術を考える時代となりました。

また、新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のために多くの企業等が導入したりリモートワークは、オンラインを用いた業務展開を急速に拡大させ、それによって人々の働き方も大きく変わり、「新しい日常」への模索も始まっています。就職活動で「入社勤務の回数」を気にする就活生も出てきましたし、生成 AI の利活用に至っては、学生諸氏の日常生活の中に、すでに入り込んできていることでしょう。

こうした環境変化を総体的に把握するために、演習の中では、最初に日本経済団体連合会（経団連）の提言『Society5.0 -ともに創造する未来-』（2018. 11. 13）を使って、日本の経済界がどのような未来構想を描いているのかを参照することから始めています。そこから派生する諸課題について、演習参加者が自身の関心に応じて研究を進めてもらえれば良いと思っています。すでに実現している施策もありますが、幅広い視野と多様な観点、旺盛な好奇心を持って議論ができれば幸いです。

3 参考文献

日本経済団体連合会（2018）『Society5.0 -ともに創造する未来』

その他、関連する報告書やニュース資料等を参照しながら理解を深めていきたいと思っています。

4 募集予定人員・選考試験

12名程度

選考方法 ①書類審査：エントリーシート（様式あり）

②面接審査

5 その他

なし

研究の基礎となるアカデミック・スキルを磨き応用力を高めます

* 千葉ゼミナールでは、「環境」に関する様々な活動や動向を多面的にとらえて研究対象としています。

* 2024-25 年度は懸賞論文の作成や、ゼミプレなどのイベントを開催しました。ゼミプレではゼミ生全員がグループを組み、発表を行いました。

それ以外でも各学年がそれぞれに課題に取り組みました。

その結果、ゼミプレではFブロックで第3位になりました！

～2025年度の活動状況～

2年生… 経団連（2018）『Society5.0』にもとづく発表と考察

3年生… 懸賞論文作成（10月）、ゼミプレ発表（11月）

4年生… 卒業論文作成

* 千葉ゼミナールでは、学生が主体となって行事を企画し運営していきます。

もちろん、わからないことや迷ったときには先生にアドバイスを求めますが、やりたいことや挑戦してみたいことには躊躇することなく取り組んでいます。



「仲間と一緒にひとつひとつ創りあげる」というかけがえのない経験を通じて
社会に出てからも役立つ【企画運営力】や【課題克服力】を磨きませんか？
「知的な好奇心」「自由な発想」「目的意識」を持った諸君をお待ちしています！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

持続可能な経済・金融・社会システム構築のための価値創造経営・価値共創に関する研究

2 研究内容

本演習では、営利と非営利、財務と非財務という二項対立図式を超えて、多様な主体の協働による価値創造あるいは価値共創の観点から、持続可能な経済・金融・社会システムの構築に貢献しうる、新たなタイプの人材の育成をめざしている。また、単に英語で流暢にコミュニケーションできるという、狭い意味でのグローバル人材ではなく、人種・民族・文化・価値観・政治経済システムの多様性について偏見なく分析し、独自の視点や価値観から国内外に存在する多様性をめぐる課題を認識し、身近にも存在する多様性を楽しみ、多様性への理解や付き合い方を職業・生活に活かすことのできる人材の育成をめざしている。

演習担当教員の塚本は従来、営利・非営利組織双方の特徴を併せ持つ、ハイブリッド型企业である社会的企業 (social enterprise) に関する研究を専門領域としてきたが、近年、研究対象を CSR, CSV, そして社会課題解決を目的とした社会的インパクト投資 (social impact investment)、特にソーシャル・インパクト・ボンド (SIB) に広げている。近年、多くの株式会社、「営利」と「非営利」の境界を越えて社会課題解決のための社会貢献活動に積極的に関与したり、社会貢献のレベルを超えて、サプライチェーンやバリューチェーンを含む事業活動全体の環境・社会への負の影響 (外部不経済) を削減する取組みを行ったり、従来の財務情報に加え積極的にサステナビリティ関連情報を開示するなど、企業の経営活動は、単に経済価値だけではなく、社会価値も同時に追求する方向に変化している。一方で、社会課題の解決を本業として、株式会社や非営利法人の形態で事業活動を行う社会的企業という組織も世界的に台頭しており、社会性と収益性を両立させながら、就労支援、学習支援、地域再生、環境保全、フェアトレード等、様々な分野で事業展開している。また社会課題解決に金融の仕組みを活用するインパクト投資も世界的に台頭しており、グリーンボンド、ソーシャル・インパクト・ボンド等、社会貢献型債券の発行も進んでいる。

演習では、ゼミ生と相談しながら、主に以上の分野を対象に研究活動を行う予定である。本演習の研究方法の特徴は、文献研究のみならず、フィールドワーク (現地調査) を重視する点にある。これまでゴールドマン・サックス、損保ジャパン、味の素、リクルート等の CSR 先進企業、デロイト・トーマツ、地方自治体等にインタビュー調査 (半構造化インタビュー) を実施してきた。まず2年次においては、企業の社会的責任や価値創造経営、価値共創に関する基礎的文献を輪読し、各自、その内容の要約・感想等を発表し議論を行う。3年次においては、グループに別れ、グループごとに研究テーマを設定して研究に取り組む、その最終成果を他大学との合同ゼミプレで発表する。4年次は、各自関心のあるテーマで卒業論文を作成してもらう。

3 参考文献

塚本一郎他編著『インパクト評価と価値創造経営』第一法規。

塚本一郎他編著『ソーシャル・インパクト・ボンドとは何か』ミネルヴァ書房。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。エントリーシートや面接等を中心に行う。

5 その他

無断欠席・遅刻は厳禁とする。

塚本一郎ゼミナール

研究内容

NPO やコミュニティビジネス, NPO マネジメント, 社会的企業, NPO と企業・行政の協働や企業の社会的責任(CSR)など

塚本ゼミの特徴

- ① 公共経営系のゼミですが, NPO や行政だけでなく企業視点からの研究も行います。
(経営学科, 会計学科の学生も多数在籍)
- ② フィールドワーク重視! 座学だけではなく, 実際に自分たちの目で見て学んでいきます。

〈今までの調査先〉

損保ジャパン, マイクロソフト, アサヒビール, リクルートなど

主な活動 (過去の例)

- 9月: ゼミ合宿, スポーツ大会
- 12月: フィールドワーク(静岡), 忘年会
- 2月: フィールドワーク(仙台, 石巻)
- 3月: 研究発表, 卒業パーティー
- 8月: フィールドワーク(石巻, 女川), バーベキュー など



9月 スポーツ大



2月 フィールドワーク



9月 ゼミ合宿(清里)

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

ニュースやSNSでは見えない「イタリアの実像」に迫る。映画・新聞・オペラ・宗教から現代イタリアを読み解き、EU諸国や日本と徹底的に比較する。

2 研究内容

このゼミでは、「なんとなくお洒落な国」ではなく、《現代イタリアという社会》の素顔を探ります。

- (1) イタリア映画に映し出される家族・労働・移民・政治
- (2) 毎日発行されるイタリアの新聞記事から読む、リアルな論争と世論
- (3) イタリア・オペラに描かれたヨーロッパ社会の価値観・恋愛観・権力観
- (4) イタリア社会に今も影響を及ぼすカトリック教会の存在

映画を「面白かった」で終わらせず、新聞を「難しそう」で閉じず
オペラを「高級そう」と敬遠しないで、材料としてどんどん使っていきます。

イタリア語の新聞記事については、教員が背景や語彙も含めてていねいに解説しますので、
イタリア語を学びながら、同時に「社会を見る目」も鍛えられます。

こうした作業を重ねることで、イタリアの独自性、ヨーロッパ諸国との共通点、
そして日本社会との違いと共通性が、はっきりと見えてくるはずです。

3 参考文献

北村暁夫著『イタリア史 10 講』(岩波新書)
土肥秀行・山手昌樹編著『教養のイタリア近現代史』(ミネルヴァ書房)
伊藤武著『イタリア現代史』(中公新書)
村上信一郎著『ベルルスコーニの時代』(岩波新書)
水谷彰良著『新イタリア・オペラ史』(音楽之友社)

4 募集予定人員・選考試験

募集人員は10名程度。簡単な筆記試験を行います。
イタリア語・歴史・映画・オペラのうち、どれか一つでも「面白そう」と思った人は
ぜひチャレンジしてください。

5 その他

専門的な予備知識は不要ですが、自分でAIやネットを使って調べ、さらに本や新聞記事
を読み、考えたことを言葉にしてみたい人を歓迎します。

授業では、各自が選んだテーマについて発表し、ゼミ員同士でとことん質疑応答を行
います。

「楽しんで単位だけ欲しい人」には向きませんが、イタリアという一つの国を入りに
世界と日本をじっくり考えたい人にはぴったりのゼミです。

辻ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

辻ゼミとは！

辻ゼミはイタリアを中心とするヨーロッパ文化をオペラや映画を通して学ぶ教養力を養成するゼミです！
しかしそれらに限らず、サッカー、料理、歴史など、自分が興味を持った分野を自由に 学ぶことができます。



普段は学生の発表プラス雑談形式で授業が進み、教養豊かな 辻先生のお話 からはイタリアだけでなく 幅広い知識 が得られるでしょう。

イタリアへの興味の対象は、みなさんそれぞれ異なり、本当に 多種多様 です。

そのため、自分が知ることなかった世界を見ることができますし、お互いに刺激しあえる だけでなく、あなたの新しい将来の道が開けるかもしれませんよ♪

辻ゼミの雰囲気は？

笑顔の素敵な辻先生と作る、和やかでゆったりした雰囲気です。
自分のペースで活動できる上、気軽に意見交換ができます！

行事・活動

年によっては、合宿をしたり、オペラや映画を観に行ったりします。

「こんなことをやってみたい！」というアイデアが

あれば ゼミ生から企画提案オスアレホデキマオ

辻ゼミに向いている人

イタリアやイタリア語に興味がある人はもちろん、
まだ何も知らないけれどイタリアの文化や政治、歴史などを学んでみたい人、辻先生が好きの人など、大

歓迎ーナ！

辻ゼミ Q&A

- Q. 英語とか喋れないんだけど…
A. 大丈夫です。特別なスキルは必要ありません！
- Q. プレゼンが苦手です…(＞＜)
A. 気楽に発表できる雰囲気なので安心してください。少しずつ慣れていけます。
- Q. 他にも質問したいことが！
A. ぜひ各種ガイダンスにお越し下さい！
直接質問してもらってもかまいません。



辻ゼミで楽しく
学びましょう！

1 研究テーマ

統計学とデータ分析

2 研究内容

現代のビジネスにおいて、データに基づいた意思決定は重要になっています。また、経営学を始めとしたさまざまな学問分野でもデータ分析は盛んに行われています。統計ソフトやAIが普及したおかげで高度な統計手法も簡単に実行できるようになりました。しかし、データ分析から適切な知見を得るためには、統計手法の長所や短所を理解し適切な手法を選択することが重要です。そのためには、統計手法はどのような性質を満たすべきか考えることが必要です。そのような観点からデータ分析を理論的に研究しているのが統計学です。統計学は一般的な理論による抽象的な議論だけでなく、実務家との意見交換を通してデータ分析における様々な問題の解決に貢献してきた実学としての側面もあります。

本演習では「統計学」の勉強と「データ分析を実践する演習」を共に扱うことで、「実際のデータ分析に役立つ統計学」の知識と「統計学の知識を活用してデータ分析から適切な知見」を得る能力を獲得することを目指しています。これらの力を身に着けることでマーケティングや経営企画などの場面でデータ分析を活用することはもちろん、経営の現場とデータサイエンティストなどの専門家との橋渡し役となる人材となることを期待しています。

演習Ⅰ（2年）ではデータ分析のソフトウェア（主に「R」）を用いた様々な統計分析手法を紹介する教科書を輪講形式で学習します。演習Ⅱ（3年）では輪講とグループ学習を並行して行います。輪講では、データ分析手法の特徴に関する様々な疑問への理論的回答を得ることを目指し、統計理論に関する教科書を学びます。また、グループ学習では、現実の社会問題の解決を目指した実証分析を行います。その成果をデータ分析のコンペティションなどで発表することを目指します。ゼミ生と相談のうえでスポーツデータ、マーケティングデータ、地方創生などのコンペティションから選択する予定です。演習Ⅲ（3年）は、各自関心のあるテーマで卒業論文を作成します。卒業研究のテーマは「経営学などの社会科学に関する実証研究」、「統計手法（または機械学習）の推定精度の比較などの統計学に関する研究」を想定しています。

3 参考文献

山田・杉澤・村井（2008）『Rによるやさしい統計学』、オーム社
有賀・大橋（2021）『RとPythonで学ぶ実践的データサイエンス&機械学習「第2版」』、技術評論社
久保川（2023）『データ解析のための数理統計入門』、共立出版
久保川・国友（2020）『統計学』東京大学出版会

4 募集予定人員・選考試験

募集予定人数は10名程度です。選考試験の方法はエントリーシートと面接になります。

5 その他

- 統計学を学ぶために統計学A・Bや数学A・Bの履修を推奨します。
- 演習Ⅰでは、統計学に必要な数学（微積分と線形代数の基礎）も勉強します（課題あり）。数学が苦手な人でも統計学に関心のある方は歓迎します。数学が苦手な学生にも配慮し、教材やサポートを提供します。数学の学び方についても授業内で適切に指導します。
- 演習Ⅱでは、教科書の章末の問題から課題を課すことがあります。演習Ⅱで用いる教科書は統計検定2級から準1級（数理統計学の範囲）の難易度を予定しています。最終的にはゼミ生の統計学・数学の知識に応じて教科書を選択します。
- グループ学習の成果をまとめる時間が不足する場合、任意参加のサブゼミを行います。

・鶴田ゼミとは

鶴田ゼミでは、統計理論を学んだ文系学生として、データサイエンスを理解できる人材になることを目標に活動しています。数学が得意な方はもちろん、「数学が苦手だけどデータ分析に興味がある」という方も大歓迎です。本ゼミは、去年開講したばかりのゼミで、現在は男子5名・女子2名の計7名で活動しています。学科は経営学科6名・会計学科1名となっていますが、どこの学科でも本ゼミの内容に興味がある人は大歓迎です。スポーツ大会では人数がぎりぎりだったため、メンバーの交代ができず苦戦しましたが、少人数ならではの距離の近さが魅力です。今はゼミ終わりにご飯に行く程度ですが、今年からは人数も増える予定なので合宿などのイベントを積極的に行っていきたいと考えています！！

・活動内容

2年次では、データ分析に必要な数学の基礎（ベクトルや行列）と、統計ソフト「R」を用いた実践的なデータ分析を学びます。数学の授業では、鶴田先生が数学の苦手な学生にもわかりやすい授業をしてくれるので安心です。「R」を用いた授業では、生徒一人ひとりが交代で発表・解説を行う輪講形式で進めていきます。準備は少し大変ですが、分からないことはその場ですぐ質問でき、先生のサポートも手厚いためしっかり準備をすれば問題ありません！また教える立場になることでとても理解が深まり、力が身に付きます！！

・ゼミの雰囲気

授業内容は少し難しいですが、いつでも質問できる雰囲気があり、誰一人置いて行かれることなく成長できる環境です。実際に手を動かしながら学ぶため実践的な力が身につく、他の文系学生と差をつけられる、やりがいのあるゼミです！

・スケジュール(予定)

- 4月 春学期ゼミ開始
- 6月 顔合わせ
- 9月 秋学期ゼミ開始
- 10月 スポーツ大会
- 11月 データ分析コンペティション(三年次)
- 12月 忘年会
- 3月 春合宿



23. デュプリス演習〔2年半タイプ〕 准教授 デュプリス, ジョン

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

セルフ・インプルーブメント（自己啓発）と生涯学習/Self-Improvement and Lifelong Learning

2 研究内容

この演習は、GREATプログラムの学生を対象に、すべて英語で実施されます。主な目的は、学生が autonomous learning（自律した学習者）として成長し、大学卒業後も生涯学習を続けていくための基盤を築くことです。授業では、自己啓発に関する書籍や学術文献を読み、それらをもとに英語でディスカッションを行います。本ゼミの特徴は、単なる知識の習得にとどまらず、ポートフォリオの作成を重視する点です。ポートフォリオには、読書を通じ自分自身の心や行動、考え方を深く見つめ直し、客観的に振り返って分析する内省的ライティング（Reflective Writing）を蓄積し、自身の成長プロセスを可視化します。

主な活動

- 2・3年次：自己啓発や学習理論に関する文献講読、ポートフォリオ作成、グループディスカッション。
- 4年次：自身の関心に基づく卒業論文（Graduate Thesis）の執筆。

Key Activities

- Years 2 and 3: Reading and reflecting on self-improvement literature, portfolio development, and group discussions. Year three will also include research for a graduate thesis.
- Year 4: Completion of a graduate thesis project based on individual research interests related to the theme of the seminar. Students will write up their research findings in a formal graduate thesis.

3 参考文献

文献はゼミ内で適宜指示しますが、以下のような分野を扱います。

Specific readings will be assigned in class, covering topics such as:

- Atomic Habits by James Clear, Digital Minimalism by Cal Newport, Essentialism by Greg McKeown (or similar texts). Literature on Growth Mindset and Reflective Practice.

4 募集予定人員・選考試験

10～12名前後を募集予定。

選考は、英語による志望理由書（エッセイ）および面接を行います。

5 その他

本ゼミは、英語でのコミュニケーションやプレゼンテーションに抵抗がなく、英語で読み、考え、議論することに挑戦したい意欲的な学生を求めています。

- 授業内言語は英語のみとします（Classroom language: English）。
- 自己を深く見つめ直し、成長し続けたいという強い意志を持つ学生の参加を期待しています。

Students should be comfortable communicating and presenting in English and be willing to challenge themselves in reading, reflecting, and discussing complex topics in English to achieve personal growth.

デュプリスゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

今年度より開講のため、学生からの原稿はありません。

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

日本における株式所有構造の変遷と企業財務に関する研究
サステナブルファイナンスの推進に向けた諸課題の検討
中小・ベンチャー企業の資金調達のあるり方

2 研究内容

企業の資金調達と運用を意味する「財務管理」ですが、本演習では、財務管理に関連する内容についての研究・実践を行い、以下のような能力を身につけることを目指します。

(1) 株価の動きを通じて、個別企業の評価や今後の経済動向等を推察する力を身につける

財務諸表や株価動向等から、投資対象としてふさわしい銘柄選定の体験を行います。個別企業の経営分析・財務分析を実際に行うことで、企業を見る力を養っていくとともに、「株価」という視点からも見ることで、株価の変動に影響を与える金利動向や日本経済・世界経済の今後の方向性にも興味を持てるようになって考えています。この学習が、就職活動に向けた経済・経営の知識を積極的につけていく契機となるうえに、これからの自身の資産運用にも役立つと思われます（新 NISA も始まりましたので、個人的には実際に投資の体験もしてもらいたいと考えていますが、大学・ゼミとして株式投資を推奨しているわけではありません）。

これら座学で身につけた知識を実務でも活かせるように、近年では企業訪問や取引所訪問（ヒアリング・インタビュー調査）も実施しています。昨年度は、大阪の内藤証券、広田証券に訪問し、会長・社長からお話を伺いました。

(2) 論文作成を通じて、論理的思考能力を身につける

3年次には、学内討論会であるゼミプレや、全国の財務・証券系を学ぶ学生が集う証券ゼミナール大会に参加します。論文作成を通じて、「相手に伝わる文章を書く」方法を理解するとともに、各討論会・大会では、限られた時間内で発表を行いますので、その練習を通じてプレゼンテーション能力を高めることも目的としています。パワーポイントを使いながら、どうすれば「論理的な」説明になるのかを練習します。

3 参考文献

鳥居陽介編著『テキスト財務管理論（第6版）』、中央経済社、2022年。

坂本恒夫・鳥居陽介編著『企業財務と証券市場の研究』、中央経済社、2018年。

4 募集予定人員・選考試験

募集予定人員：最大15名程度

選考試験：面接を実施します

5 その他

学内討論会である「ゼミプレ」、全国の証券系のゼミが集まり討論する「証券ゼミナール大会」に参加します。これらプレゼン大会や年2回実施予定の合宿等、ゼミのイベントには必ず参加してください。加えて、プレゼン大会の準備等のため、サブゼミを実施します。こちらの参加も必須です。教員から提供される知識を身につけるだけでなく、自ら主体的に勉強することができる学生を求めます。

*2027年度は担当教員が在外研究のため、代講（他の先生の指導）となります。ゼミ活動は継続して行われますが、この点を考慮して入室をご検討ください。

鳥居ゼミとは

坂本恒夫先生の意思を受け継いだ鳥居先生による明治大学唯一の証券を研究テーマとしたゼミナールです。ゼミプレ、証券ゼミナール大会など自分たちの知識の引き出しを増やす貴重な機会が多くあります。

財務管理論や現代コーポレート・ファイナンス論など、人気の高い講義を担当する鳥居先生の下で二年半学んでみませんか？

鳥居ゼミの内容

昨年度は、ゼミプレおよび証券ゼミナール大会の二つに出場し、「日本におけるベンチャーファイナンスのあり方」「国内株式市場の活性化」「株主にとって望ましい株主還元政策」をテーマに研究を行いました。春合宿では大阪を訪れ、大阪証券取引所や証券会社を訪問し、実務の現場で働く方々から直接お話を伺う貴重な機会を得ました。この経験を活かし、ゼミプレと証券ゼミナール大会に向けて、グループで研究を進めました。また夏合宿では全学年のゼミ生が集まり、それぞれが研究内容について発表を行い、活発な意見交換を行いました。特に証券ゼミナール大会は全国規模の大会であるため、他大学の研究発表を聞くことができ、大きな刺激を受けました。このように、合宿や大会を通じて他大学との交流が盛んである点も、鳥居ゼミの大きな特徴です。



今年の春合宿は大阪に行きました！

ゼミプレでは二つの班が三位入賞を果たし、証券ゼミナール大会では一つの班が敢闘賞を受賞するという結果となりました！



詳細は Instagram のアカウントをご覧ください！
(@meiji_torii_seminar_2026)

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

フィクションの表現を分析し、「リアル」について考える

2 研究内容

映画や文学から、音楽や広告、あるいはモードまで、できるだけ柔軟な発想で広くジャンルを横断しながら、さまざまな対象をテキストとして分析することによって、フィクションの本質を探究します。

たとえば歴史の教科書の記述を思い出し、また、新聞やテレビのニュースの言説を考えてみても、私たちが私たちの生きている世界を知ろうとするときには、混沌とした現実の出来事にコトバを与え、因果関係をあてはめたりすることによって物語化せずにはいられないかのようです。その意味では、人は数え切れぬほど多くの物語に取り囲まれて生きているのです。そして、そのうえさらに想像力を駆使して、擬似的な世界を飽きずに産み出し、意味づけることを繰り返し続けているのが、映画や文学をはじめとするフィクションであるということもできます。いずれにしても、「リアル」かどうかというのは、実のところ、世界がどのように物語られているか、の問題でもあり、したがって、フィクションを研究するというのは、世界を表現せずにはいられない人間とは何かを考えていくことでもあるのです。

このゼミでは、具体的な対象の分析を通じて、最終的にはそうした本質的な問題の考察にまで到達することを目標に、各自が選んだテーマについて調査、分析をし、考えをまとめて報告すること、そして、それをもとに全員で討論をすることを繰り返していきます。

ただし2年次では、テキスト分析の際の基本的な考え方を平易にまとめた入門書や、映画や小説を対象とする批評のための入門書を輪読して、フィクションの考察に不可欠な記号論的発想の基礎を学びます。分担して報告することで、特定の課題について考えをまとめ、それをプレゼンテーションすること、あるいは、その聴き方や討論の行い方の基本も身につけます。

3年次では、より専門的な文献の輪読を春学期に、そして、各自の興味にしたがってテーマを絞り、卒業論文の構想をたて、秋学期からはその準備としての研究発表を行い、討論することを一年半にわたって繰り返しながら、卒業論文をまとめていきます。

★これまでの卒論テーマの実例★

「村上春樹研究」／「アメリカ映画の中の日本人像」／「フランク・ザッパ研究」／
「『GHOST IN THE SHELL』におけるネットワークと存在論的課題」／
「川久保玲と COMME des GARÇON」／「『勸進帳』論」／「広告キャッチフレーズの研究」

3 教科書・参考文献

『24 フレームの映画学——映像表現を解体する』北村匡平、晃洋書房。

『増補 文学テキスト入門』前田愛、ちくま学芸文庫。

『記号論への招待』池上嘉彦、岩波新書。

参考書については、適宜教室で紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。筆記試験及び面接を行います。

5 その他

- ・上記以外の活動についてはメンバー全員で話し合って決めます。
- ・演習とは、ひとつの「場」を全員で創っていく共同作業です。そのための責任が一人一人にあることを自覚できない人は参加をお断りします。無断欠席厳禁。

畑中ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉



こんにちは。畑中ゼミです。
僕たちのゼミは、フィクションに関する研究をしています。フィクションと言っても、人によって、文学を研究していたり、音楽を研究していたり、映画を研究していたり、マンガを研究していたり、いろいろな研究テーマがあります。

ゼミの形式としては、各週で担当を決めてプレゼンを行い、「論理が正当なものであるか?」「その研究が、ほかの研究

をしている人にもわかる内容になっているか」などを検証しあうという形です。

ここで、「文学を研究している人と、音楽を研究している人が、プレゼンし合っても、フィールドが違うので、意味がないのではないか?」という疑問が浮かぶと思います。この問題を解決するために、2年次に「記号論」というものを勉強し、違うフィールドの人が話を聞いても、理解のきっかけとなる下地、共通理解というものを構築します。

私は、映画を研究していますが、マンガを研究している人のプレゼンから、新たな発見があったり、刺激を受けたりということが実際にありました。

時系列でまとめると、

2年次	3年次前半	3年次後半以降
下地作り	→ フィクションに関する論文とは どういうものか勉強	→ 各自のテーマで卒論に向けて 研究を開始

以上のような、流れです。

求める人材としては「経営学が嫌だから、経営学ではないゼミ」という方ではなく、「フィクションが研究したい。もしくは、興味がある」という方を募集します。

皆様にお会いできることを心から楽しみにしております。

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

日本企業のマーケティング・マネジメントに関する理論的・実証的研究

2 研究内容

日本企業は優れた技術を持つ一方で、マーケティング力に課題があると言われている。言い換えれば、日本企業の更なる飛躍のためには、マーケティング力を強化する必要がある。では、マーケティング力とは何か。そして、日本企業が抱えるマーケティング問題は何であるのか。これらを受講者全員で考える場が本演習である。

2年生では、マーケティングの現代的問題に関する学術論文を論読する。同時に研究テーマごとにグループを作り、3年生から本格的に取り組む研究の準備を始める。3年生では、各グループの研究テーマに従って、専門論文を読みながら、実証研究を実施する。方法論（量的調査におけるアンケート調査の作成方法や統計分析方法、質的調査におけるインタビューの方法やそのコーディング方法）なども学習する。その成果を学内外で発表する。4年生は、3年生時の研究をもとに、新たな研究課題に取り組み、卒業論文として成果を発表する。

3 参考文献

〈マーケティングについて〉

リチャード・ダベニー著・東方雅美訳（2011）『脱「コモディティ化」の競争戦略』中央経済社。

フィリップ・コトラー他・恩蔵直人監訳（2022）『コトラーのマーケティング 5.0』朝日新聞社。

原田将（2022）「日本企業におけるブランド価値経営の背景と課題 -ブランド価値の構成要素と利益」『経営論集』第69巻第4号、pp369-393。

〈方法論について〉

井上達彦（2014）『ブラックスワンの経営学』日経BP。

西内啓（2013）『統計学が最強の学問である』ダイヤモンド社。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。選考はエントリーシートおよび面接試験にて行う。

5 その他

- (1) 演習は週1回を基本とする。また、サブゼミは学生の自主性に任せる。さらに、年2回（夏休みと春休み）の合宿やコンパ、企業訪問、他大学ゼミナールとの交流なども実施する予定である。積極的に参加してもらいたい。
- (2) マーケティング理論の学習は輪読形式で行われる。輪読とは、担当者が担当論文について報告し、その議論を通じて共通理解を図る方法である。報告者は報告資料の作成を責任もって行わなければならない。また、報告者以外にも、当該論文の熟読、レポートの作成ならびに積極的な議論の参加が求められる。
- (3) グループ研究では自分たちで研究テーマを設定する。また、テーマに相応しい企業に調査に行く。調査のアポイントから質問票の作成まで全て自分たちで行う。つまり、主体性が求められる。
- (4) 演習のモットーは「よく学び、よく遊ぶ」である。そして、ゼミ活動の主人公は学生なので自分たちでゼミを運営してもらいたい。ゼミ活動を楽しみながら、多くのことを一緒に学びたいと考えている。



＼頼れるゼミの仲間たち／



＼勉強以外にも全力！！／



＼緊張感ある発表／



・原田ゼミとは

原田ゼミは日本企業のマーケティングを学びます。「Work hard, Play hard」をモットーに、ゼミ生主体で研究を行い、仲間と切磋琢磨しながら本気で成長できるゼミです。

・活動内容

2年次は論文プレゼンとディスカッションを中心に研究を深め、国内研修の準備も行います。3年次はゼミプレに全力で挑み、研究成果を発表します。これらの活動を通して課題発見力や論理的思考力を培い、未来のリーダーとなるための素養を身につけます。

スケジュール

<2年次>

8月 夏合宿 (3学年合同)
9月 授業開始
10月 ゼミ対抗スポーツ大会
3月 春合宿 (3学年合同)

<3年次>

4月 研究開始
7月 国内研修
10月 懸賞論文
ゼミ対抗スポーツ大会
11月 ゼミプレ

<4年次>

就職活動
卒論
後輩指導
追いコン



@harada_seminar



@haradaseminar_official

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

グローバル・マーケティング論，消費者行動論，ブランド戦略

2 研究内容

マーケティングは「何のために、誰に、いつ、何を、どこで、どのように提供するか」に関する活動です。この活動を通して、人々の満足度を高め、企業活動を効率化させ、社会をより良くするのがマーケティングの役割です。なぜ我々は商品を買ってしまうのか、そして企業側からすれば商品を消費者の手に取ってもらうためにはどのような工夫が必要なのか。古川ゼミではこのようなテーマをグローバルな観点から、消費者行動論やブランド戦略論を交えて研究します。

今や消費者は世界の情報を容易に入手し、自身で発信までできる時代です。そのような時代ではマーケティングの姿や消費者の行動も大きく変化します。まだ明らかになっていない新しい世の中の変化や現象を、皆さんの力で解明してもらいます。

グローバル・マーケティングを学ぶためには、広く世界を意識する必要があります。そこで古川ゼミ生は明治大学だけに留まらず、日本中、ひいては世界中の同年代を意識して、実際に交流や海外渡航しながら活動してもらいます（現在は東京大学、慶応義塾大学、学習院大学、立教大学等のゼミと学生が研究交流しています）。

【研究活動について】

グローバル・マーケティングの最前線について各種調査やデータ分析，論文サーベイから研究をします。学生が自分でテーマを選び、主体的に考え、学び、挑戦し、国内外での調査先選定や検証をしてもらいます（3年次：グループ研究，4年次：個人研究）。研究の成果は学内のゼミナールプレゼンテーション大会や懸賞論文，そして学外の「国際ビジネス研究インターカレッジ大会」等で発表し、学内外の学生と切磋琢磨して下さい。

3 参考文献

古川裕康（2021），『グローバル・マーケティング論』，文真堂。

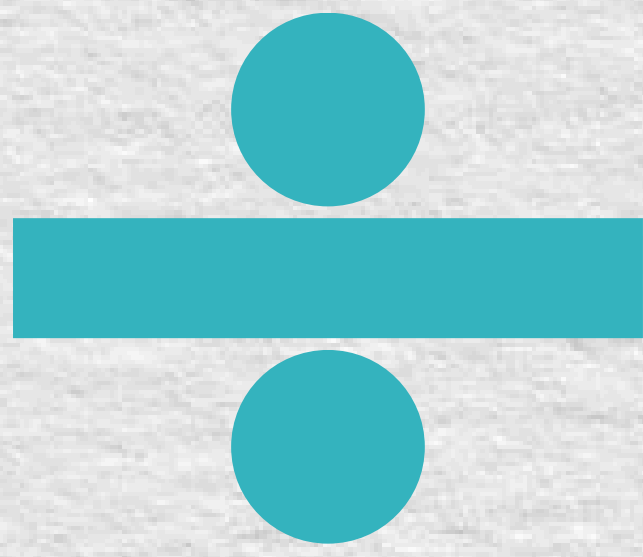
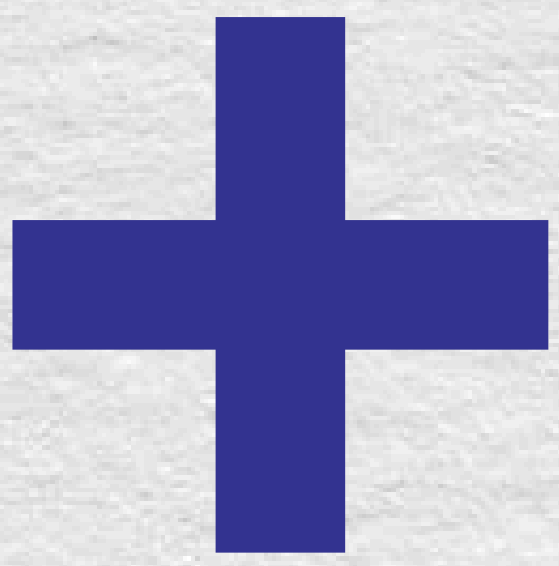
古川裕康（2015），『グローバル・ブランド・イメージ戦略』，白桃書房。

4 募集予定人員・選考試験

15名程度。選考はエントリーシートを基に面接形式で実施します。詳細が決まり次第，Webサイト上にて公開しますので確認してください。

5 その他

- 古川ゼミはゼミ生主体で運営するゼミです。皆さん自身がゼミを創っていくのです。失敗を恐れず一歩踏み出そうとする気持ちが大切です。想像する力（Imagination）と挑戦する力（Challenge）が創造の原動力です。アクティブに未来を切り拓いてください。
- 主な行事：ゼミ合宿（夏・春），工場・企業視察，納会（春・秋学期末），学内・学外の交流会，卒業旅行等。その他はゼミ生と相談しながら決めていきます。
- 原則として指導教員が担当する授業は全て履修することになります。
- ゼミは用意してきたものを Output しながら知識やスキルを習得する場です。従って授業時間以外に，必ず Input 等準備の時間が必要になります。
- これから留学を希望する学生，留学生，大学院進学を検討している方も歓迎します。
- 古川ゼミではゼミ生が自分達で考えてゼミ活動を実施します。ゼミの主体となるのは，他でもないあなたです。



挑戦できる 仲間はあるか?

グローバル・マーケティングを学べるのは、ここだけ。

Achievement

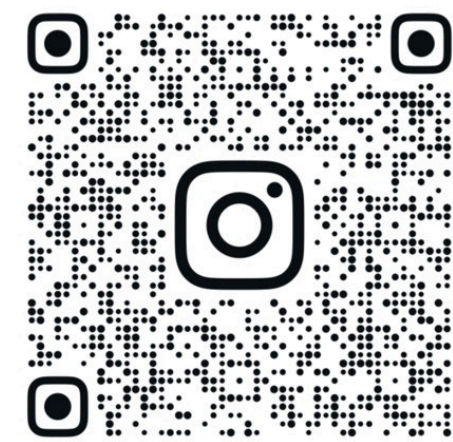


国際ビジネスインターカレッジ大会2025
総合準優勝



経営学部ゼミプレゼンテーション大会2025
ブロック優勝(3チーム)、準優勝(1チーム)

まずはゼミの日常はInstagramへ
募集要項・選考詳細はHPへ



Instagram



HP



1 研究テーマ

研究テーマは、持続可能な発展のための経済・社会の仕組みに関する研究、です。

2 研究内容

持続可能な発展は、sustainable development の訳語で、持続可能な開発、とされることもあります。この概念は、国連の環境と開発に関する世界委員会の 1987 年の報告書『Our Common Future』が「将来の世代が自らの必要を充足する能力を損なうことなく、今日の世代が必要を満たすこと」と定義し、広く知られるようになりました。将来を考えるのは地球環境問題を考えることであり、現在を考えるのは各国間および各国内等の格差や貧困の問題を考えること、などと大づかみに理解することもできます。1992 年のリオデジャネイロの地球サミットで世界の首脳によって、世界が進むべき道として採択され、以後も 10 年に一度の世界の首脳会合等でそのことが確認されています。

より具体的には、2015 年の国連サミットで採択された 2030 年を目標年とした「持続可能な開発目標」を見ると、環境問題や格差問題を含みつつ、この世界のあらゆる問題に取り組んでいこうということだとわかります。先進国の人であれ、発展途上国の人であれ、老人であれ、若者であれ、男であれ、女であれ、性的なマイノリティの人であれ、障がいのある人であれ、そうでない人であれ、どんな職業についている人であれ、・・・、どのような人であれ、一人一人の人間が一人残らず大切にされる世の中にしていこう、ということだとも言えます。

ゼミでは、こうした持続可能な発展（開発）に何らかの形で関連した事を学びまた研究していこうという訳です。2 年次では基本的文献を読みつつゼミの方向性について話し合い、3 年次ではグループ研究などを通じて研究の手法を学び、4 年次では卒論を作成します。よい卒論の作成がゼミ活動の目標です。担当教員は環境政策の経済学的研究が専門ですが、ゼミで何をどう研究するかを決めるのも、それを行うのもゼミ生です。

直近の先輩達は、「化粧品会社のSDGs」「空き家をいかした地域活性化」「テレビ局はなくなるか？」「理想的な食習慣、運動習慣」「声が奏でる和音と感情の関係」「持続可能な観光の実現」

「ディズニーの人生や社会への貢献」「成功する道の駅とは？」「幸せとは何だろうか？」「環境保全が進められる中で自動車産業の発展方向は？」「ヴィンテージ古着はなぜ売れるのか？」「脱プラスチックは企業から見て利益になるのか？」「将棋と思考」「神奈川県市区町村における環境施策の違いとその背景」「練馬区行政と区民の間での循環型社会の認識のギャップ」「AIイラストは芸術になり得るか？」「家事労働が広範にディーセントワークを実現するために何をすればよいか？」「SNSの進化は観光の発展にどのような影響を及ぼしているか？」といったテーマの卒論を書いています。先輩達によればこのゼミの良いところの一つは研究の自由があるところだということです。

3 参考文献

淡路剛久ら編 (2006) 『持続可能な発展』有斐閣
植田和弘 (1996) 『環境経済学』岩波書店

4 募集予定人員・選考試験

10 人程度。入室試験はエントリーシートと面接で選考します。

5 その他

色んなことに挑戦したいと思う人、自分の頭でよく考えたいと思う人、ゼミで友達を作りたいと思う人、等々、様々な人、を歓迎します。

matsuno seminar

研究テーマ

『SDGs に関する内容』

26期生は、
「住み続けられるまちづくりを」
をテーマに東京都檜原村の
村おこしを行っています！



年間予定

- 8月 顔合わせ
- 10月 経営学部スポーツ大会
- 12月 忘年会(有志)
- 1月 4年生卒論発表会
- 2月 ゼミ合宿

ゼミの特徴

- ・ 学生一人一人の意見が尊重される
- ・ 先生が優しい
- ・ 学業とプライベートの両立が可能
- ・ 学生主体で活動が進められる
- ・ 自然体でいられる環境
- ・ フィールドスタディによる実践的な学び
- ・ SDGs を具体的な活動を通して学ぶことができる

詳しい情報はInstagramまでお願いします！

@MATSUNO_SEMINAR

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

市場と組織の経済学

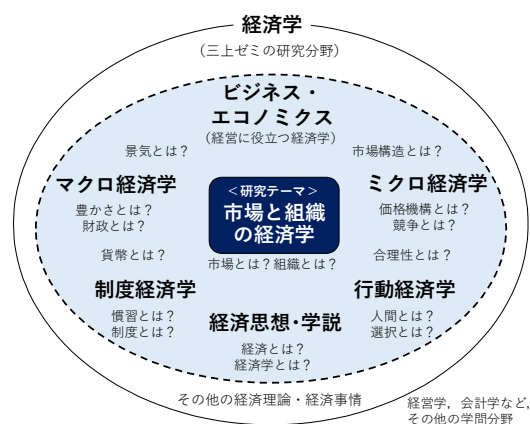
2 研究内容

「市場と組織の経済学」を共通のテーマとして全体で学びつつ、経済学の広大なフィールドから興味のあるテーマを見出して、グループや個人で研究していきます。

〈市場と組織の経済学とは？〉

私たちが生きる現代社会では、多くの経済活動が「市場」を基礎として調整されていますが、他方では企業や政府やNPOなどの「組織」が存在し、その経営に日々尽力している人々がいます。人々の「行動」は時に非合理的ですが、貨幣、会計、規則、法律、規範、慣習、ルールといった「制度」にも支えられ、取引が成立しているのです。

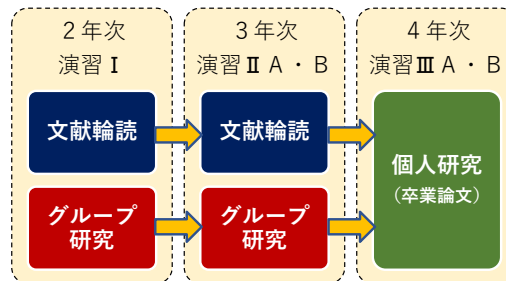
市場とは何か。組織とは何か。三上ゼミでは、そのような素朴な疑問から出発し、人間行動や市場経済の仕組み、経済組織の効率性やコーディネーションなどをじっくりと学んでいきます。



〈グループ・個人で行う研究とは？〉

経済学は非常にスケールが大きく幅広い学問です。その中から自分の興味のあるテーマを見つけて研究していきます。2年次と3年次はグループ研究を基本とし、4年次は卒業論文に向けて個人研究に取り組みます。ゼミでの研究を通して、将来にわたり必要な力（論理的な思考力・表現力、問題発見・解決力、組織行動力、そして経済を読み解く力）を身につけることを目標としています。

※ゼミ内のコラボレーションに Teams を活用します。



3 参考文献

- ・『[エッセンシャル版]行動経済学』(M・バデリー著、土方奈美訳、早川書房、2021)
- ・『Who Gets What—マッチメイキングとマーケットデザインの経済学』(A・E・ロス著、櫻井祐子訳、日本経済新聞出版社、2018)
- ・『市場を創る—バザールからネット取引まで』(J・マクミラン著、瀧澤弘和ほか訳、NTT 出版、2007)
- ・『組織の経済学』(P・ミルグロム、J・ロバーツ著、奥野正寛ほか訳、NTT 出版、1997)

4 募集予定人員・選考試験

経済学を専門に学びたい者、12名前後。エントリーシート(研究計画含む)と面接によって、(1)研究分野・テーマの適合性、(2)求めるゼミ像・ゼミ活動の適合性を基準に選考します。入室時点で経済学や組織活動が得意である必要はありませんが、入室後は経済学を学び経済関連のテーマを研究していくこと、ゼミの組織・活動に意欲的かつ継続的に参加していくことが求められます。演習ガイド、シラバス、ホームページ上の説明をよく読み、じっくりと検討してください。

5 その他

- ・ゼミは「個」の主体性と協調性が求められる場です。ゼミ生の主体的参加があって初めて成立する組織であり、互いが組織の構成員だという自覚と思いやりを持つことが必要です。
- ・授業時間外の活動についてはゼミ生の自主性を尊重していますが、ゼミ合宿に参加し、学内外のプレゼン・ディベート大会、懸賞論文などにも挑戦することを推奨しています。

2026年度ゼミ生募集

三上ゼミナール

三上ゼミでは、第15期生を募集しています
経営学部で”唯一”経済学を学べるゼミです
自分の興味関心を経済学を用いて広げてみませんか？
優しい三上先生と楽しく学びましょう！！



12名前後予定

ESと面接

【年間スケジュール】

6月	新ゼミ生歓迎会
8月	夏合宿
9月	OBOG会
10月	スポーツ大会
11月	ゼミプレ
12月	忘年会
2月	春合宿、OBOG会
3月	卒ゼミ生祝賀会



夏合宿



新ゼミ生歓迎会

三上ゼミでは何が学べる？

三上ゼミでは、文献輪読やグループ研究を通して経済学を学んでいます！グループ研究では、行動経済学を中心に「推し活市場の拡大による影響」「経済学×AI」「行動経済学を用いた転売への対策」など自分の興味のある研究をすることができます！

質問等Instagramでも
受け付けてます！
お気軽にどうぞ！



@MIKAMI_SEMINAR

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

ビジネス・システムの国際比較研究

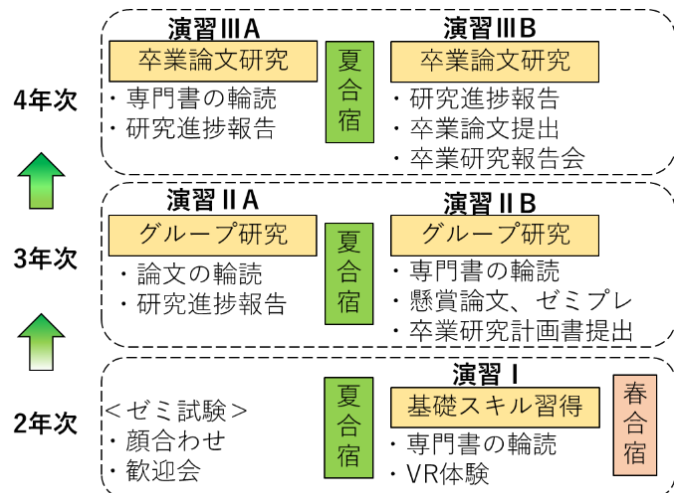
2 研究内容

本ゼミナールでは、「ビジネス・システムの国際比較」を研究テーマとして、歴史的視点から、様々な産業やビジネスの仕組み、その仕組みの変化を対象に研究しています。特定企業のビジネス・モデルや特定商品のサプライ・チェーンはもちろん、国全体の企業システムから、特定産業のビジネスの仕組みまで、各人が興味・関心のある研究対象を選び、研究します。そして、様々なビジネスに関わるシステムの分析や、制度を変化させる企業行動、経営戦略、イノベーション等の議論を通じて、**ビジネスを支える「仕組みづくり」**について理解を深め、現代社会を動かす企業の経営活動についての今後のあり方を考えていきます。

またゼミでの研究活動を通じて、

- (1) 自分で問いを設定して情報を検索する力、
- (2) 情報を考察して、自分の議論を組立てる力、
- (3) レポートとプレゼンで自分の考えを説得的に論じる力を養うことを目指しています。

具体的には、右記のように2年半のゼミを進めていく予定です（詳しい授業内容はシラバスを参照して下さい）。



ちなみに、教員自身の研究テーマは、アメリカ企業の戦略と成長、日本クリエイティブ産業企業（特にゲーム、アニメ、マンガ、音楽ビジネスなど）の研究になります。ただ、ゼミは「国際比較」や「企業間比較」を重視しているので、アメリカやクリエイティブ産業に興味がある学生はもちろんですが、国際比較、ビジネス・システム、ビジネス・モデルなどに興味ある学生も歓迎します。

3 参考文献

- M・クスマノほか著『プラットフォームビジネス』有斐閣、2020年。
 C・クリステンセン著『イノベーションのジレンマ 増補改訂版』翔泳社、2001。
 M・スタインバーグ著『なぜ日本は<メディアミックスする国>なのか』角川学芸出版、2015年。
 大東英祐ほか著『ビジネス・システムの進化』有斐閣、2007。（その他文献はシラバス参照）

4 募集予定人員・選考試験

8～12名程度を想定していますが、応募者数などを踏まえて多少前後します。エントリーシート、筆記試験（必修科目「経営学」の内容から出題）、面接によって選考します。

5 その他

期待されるゼミ生像：本演習では、課題の提出、グループ活動、ゼミ合宿など授業時間以外の活動に時間を割くことが必要となってきます。そうした活動に積極的かつ協調的な参加が求められるため、「ゼミできちんと学びたい」と思う皆さんのエントリーを待っています。



宮田ゼミ



どんなゼミ？

【テーマ】ビジネスシステムの国際比較
守備範囲は広く、自分の「好き」を自由にテーマ設定できます。
【活動】2年秋学期:輪読 3年次:グループ研究 4年次:卒論執筆
メンバー全員で交わす議論は常に白熱！主体性が求められる刺激的な環境で、仲間と乗り越えた先には間違いなく「圧倒的な成長」があります。

身につく能力

論理的思考力
表現・伝達力
対人関係構築力
プレゼン力



講師紹介

宮田憲一先生

専門分野：経営史・経営戦略論

ビカチュウを事例にした研究も！？



学生のことを誰よりも真剣に考え、
私たちが納得するまで何時間でも相談に乗ってくださる、
非常に学生想いの先生です。

年間スケジュール



春合宿(2年)

3月



春学期スタート

4月



ゼミ入室試験
顔合わせ(2年)

5月



春学期納会
歓迎会

7月

8月

9月

秋学期スタート



10月

検証論文提出(3年)
学部スポーツ大会

11月

ゼミプレ
合同ゼミ(3年)
OB・OG会
VR体験会(2年)

12月

卒業論文計画書提出(3年)



秋学期納会

2月

卒論報告会
追いコン



各種SNS



@miyatasemi_majj



@miyatasemi



↑ゼミ公認HP



1 研究テーマ

企業会計の歴史・理論・実務に関する研究

2 研究内容

中世イタリア社会において生み出された簿記システムは、世界各地へ伝播し、各地域の社会環境の特徴を反映しながら発達してきました。また、企業の経済活動および資金調達規模が拡大し、企業は利害関係者に対して会計報告を行うことが必要となりました。会計報告は、各地域の法律に取り込まれ、制度（会計制度）として確立するに至り、これを支える会計理論が研究されています。

本ゼミでは、会計の歴史的展開と現行の企業会計（理論と実務）に関する研究を行います。歴史的な考察を行うことで、現代会計の理解が深まります。また、我が国における企業の大多数が中小企業であり、その会計実務について理解しておくことは非常に重要です。

まず、2年次の演習Ⅰでは、文献の収集方法および発表方法などを説明したうえで、資格試験の問題や中小企業（個人事業者・中小法人）の会計実務に関する事例を取り上げて、グループワークを中心に検討を行います。資格試験の問題や取引事例を題材として、理論的な検討にとどまらず、歴史や実務上の留意点についても言及します。

次に、3年次の演習Ⅱでは、春学期にグループでの発表、秋学期に個人での発表を行います。前者については、グループに分かれて、提示されたテーマまたは各グループで選択したテーマについて報告を行います。後者については、4年次の卒業研究に向けて、各自で関心のあるテーマを選び、その内容について報告を行います。

そして、4年次の演習Ⅲでは、各自が設定した会計学に関する卒業研究を行います。卒業研究のテーマに関する報告を行い、教員からのアドバイス等をもとに、卒業研究のテーマに関する成果物（卒業論文またはこれに準ずる報告書等）を完成させます。

3 参考文献

授業の進行に応じて紹介しますが、会計史に関する主な参考文献は下記のとおりです。

片岡泰彦（1988）『イタリア簿記史論』森山書店

小島男佐夫（1987）『会計史入門』森山書店

中野常男・清水泰洋編著（2019）『近代会計史入門〔第2版〕』同文館出版

橋本武久（2008）『ネーデルラント簿記史論—Simon Stevin 簿記論研究—』同文館出版

百瀬房徳（1998）『貸借対照表法の生成史』森山書店

4 募集予定人員・選考試験

募集予定人員：8名程度

選考試験：エントリーシートの内容および面接

5 その他

- (1) 合宿などの課題活動の実施については、ゼミ生と相談して決定します。
- (2) サブゼミは特段設けず、報告の準備についてはゼミ生間でスケジュールを調整したうえで、オンライン等を活用して行っていただきます。
- (3) ゼミの開始時点で、日商簿記検定試験3級程度の知識（簿記論Ⅰ・Ⅱの内容）を有していることが望ましいです（資格取得の有無は問いません。）。
- (4) 授業内容の詳細は、シラバスも参照してください。



森田ゼミとは??

「簿記3級から、会計の世界を一步先へ！」

森田ゼミでは、簿記3級レベルの知識を土台に、会計の発展的な内容に挑戦します！授業内容は専門的ですが、日商簿記3級程度の知識があれば十分に取組めます。資格試験問題や実務事例を通して、理論や実務のポイントを学びます。簿記が苦手な人もwelcome！丁寧な指導で安心して学べます！

森田先生って??



会計史を専門とし、会計事務所勤務や資格予備校講師の経験を持つ森田先生。税理士・会計士・日商簿記などの資格についてもアドバイスがもらえます！落ち着いた雰囲気ながら、授業では雑談も交えてくれるので質問しやすいのが魅力。
ち・な・み・に趣味簿記、特技簿記。

ゼミの魅力は??

2022年に誕生した少人数制のゼミです。各学年8人程度で活動しており、少人数だからこそ授業を通してすぐに仲良くなれるのが魅力。新しいゼミのため、合宿や食事会などのイベントもゼミ生主体で企画できます。昨年はゼミ初の夏合宿やスポーツ大会にも参加！授業は真面目に、授業外は自由に楽しめるゼミです！



演習内容

2年次(演習I)	3年次(演習II)	4年次(演習III)
資格試験(ex.日商簿記や税理士試験) 実務の事例研究	グループ研究(企業分析) 卒論準備	会計学をテーマにした論文作成



@MORITASEMINAR_OFFICIAL

Instagramチェック



32. 森田(直)演習〔2年半タイプ〕

教授 森 田 直 美

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

多彩な観点から日本文化を研究する

2 研究内容

現在は日本のさまざまなコンテンツや食文化が世界的に注目され、インバウンド需要も急速に高まっています。よって、私たちが日本について幅広い知見を得ることは、趣味教養の範囲にとどまらず、充実した社会活動（ワーク・ライフを問わず）を行うための必須要素として、今後ますます重要性を増していくと考えられます。

本ゼミでは、企業の文化的活動や、各地の地域文化・伝統産業の意義、有益な継承・活用、将来に向けての課題について研究しています。フィールドスタディ（FS）やインタビューの機会を多く取り入れ、調査力やコミュニケーション力の向上を図ることも大きな目標です。

2～4年次のスケジュール概要

[2年生秋学期]

- チームビルディング
- 文献読解、ディスカッション
- 都内または近郊での FS（立川、横浜、墨田区などが候補）

[3年生春学期～夏休み]

- 企業ミュージアム FS
- 夏休みの FS 準備（訪問先とテーマの設定・事前学習）
- 夏休みの FS 実施

[3年生秋学期]

- 夏休みの FS 事後学習
- ゼミプレ参加

[4年生春学期～秋学期]

- 卒業論文執筆
- 後輩指導

卒論のテーマ選択について

教員の専門は日本の古典文学・伝統文化ですが、卒論は古代・現代にかかわらず、各ゼミ生が興味のある時代・ジャンルで取り組んでいます。「日本」に関わっていれば、テーマ選択の自由度は高いです。

3 参考文献・サイト

授業時に適宜紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度 エントリーシートと面接によって選考します。

5 その他

ゼミ生には以下の2点を求めます。

- (1) 特段の理由がない限り遅刻や欠席をせず、他のゼミ生と協力する姿勢をもつこと
- (2) 主体性をもってゼミに参加すること

学ぶ時間と楽しむ時間のメリハリをつけて、充実したゼミ活動を行いましょう！

森田直美ゼミナール

〈2年半タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

ゼミの雰囲気

「普段は和気あいあい♪ やる時はちゃんとやる！」がモットー。少人数のため、ゼミ生・先生ともに仲が良く、アットホームな雰囲気です。研究の一環で学外に出る機会が多く、仲間たちと楽しく学べます！



TOPPAN 株式会社での企業ミュージアム調査



夏休みの静岡市 FS

森田(直)ゼミって何するゼミ？

企業の文化的活動や、各地の地域文化・伝統産業について学び、それらを社会にどう活かせるのか、どうしたらより良い形で発展するのかを研究しています。

2025 年度の春学期には TOPPAN 株式会社の企業ミュージアムでフィールドスタディ (FS) を実施し、その社内外に対する機能や役割を学びました。夏休みの FS では、静岡市のプラモデル産業による地域活性化や、官民協働の伝統工芸振興を調査しました。(夏休み FS の行き先や調査テーマは、毎年ゼミ生の話し合いで決めています)

3 年生まではグループワークが中心ですが、4 年生で取り組む卒論のテーマは個人で決めることができ、温泉やアニメなどでも OK で自由度が高いです！

これまでの卒業論文テーマ例

- クラシックホテルにおける文化財の保存と活用
- 日本酒産業の経営的課題
- 熱海温泉の現状と将来
- 沼津市におけるアニメツーリズム
- 雛人形・雛祭り文化の継承



最後にひとこと

伝統から現代まで幅広く日本の文化や産業を学び、FS で実際に企業や地域を訪れたり、現場の人々と話をしたりする機会が多いです。「日本の文化をもっと知りたい」「旅行や手作りするのが好き」「多くの人と交流して視野を広げたい」という皆さん、ぜひ一緒にゼミを盛り上げましょう！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

本ゼミでは、「エビデンスに基づく管理会計研究」というテーマで演習を行います。

管理会計とは、様々な数値情報を企業や組織のマネジメントに活用するという目的で生まれたものであり、経営者に対し各種経営判断の裏付けとなるエビデンスを提供するという役割が期待されています。そのため、「企業経営や組織の運営における様々な意思決定において、どのようなエビデンスが有用であるのか」を探求することが1つの目的となります。

また、ゼミでの学習においても、特定の企業の強みや、特定の産業で成功する要因などを検討する際には、「自分はこう思う」という説明に終始するのではなく、こう思う根拠、つまりエビデンスを提示する必要があります。こうした「エビデンスにもとづいて論理的な説明を構成する能力の習得」も本ゼミの重要なテーマとなります。

2 研究内容

演習Ⅰの段階では、基礎的な知識を修養することを目的として、指定した文献の輪読やそれに基づくグループディスカッション、教材を用いたアクティブラーニングなどを行います。

演習Ⅱにおいては、演習Ⅰで身に着けた基礎的な知識をさらに深化させ、グループに分かれて研究発表、論文執筆を行います。この際の研究テーマは、メンバーで話し合い、自分たちの興味関心に基づいて主体的に決定することを想定しています。また、この際にはエビデンスの提示の方法として、基本的なデータの扱い方や実証研究の方法などについても学習します。

演習Ⅲにおいては、これまでに学習したことを踏まえて、大学での学びの集大成として、個人で卒業論文の執筆を行います。

3 参考文献

演習内で適宜指示します。

4 募集予定人員・選考試験

募集は10名程度を想定しています。基本的には対面形式による面接を実施しますが、状況によっては書類選考によって選考する場合があります。

5 その他

一人で学ぶと書いて大学です。ゼミで指示されたことを最低限でこなすのではなく、様々なことに関心を持ち、主体性をもって多くの学びに取り組んでください。

また、無断での欠席や遅刻等はしないでください。

Morimitsu Seminar

経営学部 森光ゼミナール

「データ」という武器を手に、
ビジネスの意思決定を科学せよ。

About us

森光ゼミのテーマは「エビデンスに基づく管理会計研究」です。ビジネスの現場では、勘や経験だけでなく「なぜそうするのか?」という根拠が求められます。本ゼミでは、企業経営の意思決定を支えるための数値データ活用法や、論理的な分析手法を探究します。

Achievements

👑 2025年度 経営学部ゼミ対抗プレゼン大会
Eブロック 第1位

新設ゼミとして、大会初出場で初優勝を果たしました。

🏠 関西学院大学とのインターゼミ実施

他大学との研究交流を通じて、学外の視点を取り入れ、研究の質をさらに高めています。

Schedule

2nd Year

- 新ゼミ生歓迎会
- アクティブラーニング
- データ分析ツールの習得
- ゼミ合宿

3rd Year

- グループ研究
- ゼミ対抗プレゼン大会 出場
- 他大学とのインターゼミ
- ゼミ合宿

Professor

森光 高大 准教授

Atmosphere

「和やか × 自由 × 挑戦」

ガチガチの勉強系に見えて、実はとても和やか。自分の興味があるテーマを自由に研究できます。ゼミ運営も学生主体で行うため、企画力やリーダーシップも自然と身につく環境です。

Check
it!!

Instagram



@MORIMITSUZEM2025



34. 山下(充)演習〔2年半タイプ〕

教授 山下 充

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

質的インタビュー調査に基づき変化する社会の中での企業活動を理解し分析する

2 研究の目的

本ゼミが最も重視していることは所属するゼミ生全員が大きく成長することです。ひとりひとりが学生として大きく成長することを実現するために**3つの特徴的なアプローチ**をとっています。【①経営社会学アプローチ】変化が激しい現代では、企業を取り巻く社会の変化を分析的に理解することは不可欠で、社会学的観点から現代の社会と企業の活動を結びつけて理解します。【②自分が選んだ対象に個人インタビュー】各人が自分の興味と関心をベースに、ディスカッションや教員との相談のもとに時間をかけて1つの業種、企業、ないしは職業を研究対象として選び、その企業や組織に対して自分でアポイントを取り、分析をおこないます。自分が選んだテーマなのでやる気を持続させ、最後までやり遂げる力が身につきます。【③協働学習】研究対象は個人単位ですが、毎回のグループディスカッションで徐々に研究を進めるので、同期全員が個々人の研究をより良いものにする役割を担います。ゼミ生の多様なテーマへの協力を通して自分の視野と関心を大きく広げることができます。

3 演習の進め方

【演習Ⅰ（2年秋学期）】先行研究・関連資料の収集方法、調査手法、レポート作成の基本的な方法を修得します。教員の指導を通して、調査対象、研究テーマを選びます。調査対象とする産業、職業は原則自由です。報告の頻度は学生一人あたり月に1～2回程度です。【演習Ⅱ（3年）】インタビュー調査を本格的に実施し（7・8月）、ゼミ全員の執筆による報告書を4年前半までに完成させます。【演習Ⅲ（4年）】卒論指導（2～3年とは異なったテーマ）が中心となります。卒論も基本的に自分の関心をもとにして、毎回ディスカッションをしながらテーマを決め、完成させます。報告課題の提出とゼミのコミュニケーションにはSlackを利用しています。

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。応募者はエントリーシートとレポートを応募時点で提出すること。レポートは以下の（1）と（2）の課題の両方をA4で合計1200字以上（分量の配分は自由）とする。

- （1）ゼミの志望理由
- （2）自分が調べてみたい職業・仕事（対象を選んだ理由と知りたい内容を含めること。）

5 その他

ゼミの調査先企業は約170社（対象者は約180名）を越えており（2026年現在）、コロナ期を除きゼミ生の全員が調査と報告書執筆を達成しています。業種もIT、広告、スポーツ、観光、カフェ、インテリア、食品、教育、流通、ファッション、マスメディア、地域振興等、多彩です。過去の全ての報告書（明治大学経営学部山下充ゼミナール編『職業の世界—インタビューで学ぶ「仕事」と「キャリア」』）が和泉図書館に所蔵されているので、応募者は必ず一読してください。調査は社会人の方々に協力して頂くので、年長者に対する敬意や謙虚さと学ぶ姿勢が不可欠です。他人に依存的な学生、サークル・アルバイト等を理由にゼミやゼミの活動に遅刻や欠席をする学生は、他のゼミ生にとっても良い影響を与えないので、除籍としますので慎重にゼミ選択をしてください。素直で人柄のよい学生とゼミで出会えることを、先輩のゼミ生共々楽しみにしています。自分を大きく成長させたいと考える人、新しいことを発見しそれを自分の力でまとめ上げたいと考える人は、ぜひ本ゼミを検討してください。ゼミ試等の詳細はゼミのWebやSNSなどで。 <https://yamashita-sociology-seminar.jimdofree.com>



About Mr. Yamashita

ユーモアあふれる社会学の授業で学生から高い人気を集める山下先生。幅広い知識をもとに、一人ひとりに寄り添った的確なアドバイスでゼミ生を導いてくれます。ゼミ生が企画したイベントにも全力で参加してくれるノリの良さや親しみやすさもポイント。きっとあなたも、明朗で優しい山下先生を好きになること間違いなし！

Event Schedule

- 9月 新歓・夏合宿 (3・4年)
- 10月 経営学部スポーツ大会・メンター会
- 11月 OBOG会
- 12月 クリスマスパティー
- 2月 卒論報告会
- 3月 ゼミ合宿・四送会



山下充ゼミ

About US

山下ゼミの魅力は、テーマ設定の自由度の高さです。自分の関心をもとに研究テーマを決め、企業へのインタビューを行いながら、社会と企業のつながりを深く探究します。少人数だからこそ、同期全員と自然に打ち解けられ、ゼミは終始和やかな空気です。先生や先輩との距離も近く、安心して学びを進められます。

Research Schedule

- 2年秋 他己紹介・研究テーマ決め
- ↓
- 3年春 企業決定・アポイント・インタビュー
- ↓
- 3年秋 インタビューまとめ
- ↓
- 4年 研究まとめ・卒論



Web/SNS

web



Instagram



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

「社会的な課題と自然体験活動・野外教育」

キャンプ等の自然体験活動はレジャーとしてだけではなく、地域の活性化に用いられったり、学校教育や社会教育の中に取り入れられたり、と社会的な課題と密接な関わりを持って実践されています。特に担当教員自身は、不登校や発達障がい、ひとり親家庭など、様々なニーズを抱える青少年を対象にCamp for everyone（社会の隅々までキャンプを届けよう）と実践・研究をしています。

2 研究内容・活動概要

【2年次（演習 I）】2年次には野外教育の基礎（実践と理論）を学びます。実践では主に、野外でのグループワーク、自然に触れ合う活動、野外生活スキル等について、体験を通して理解します。理論では、野外教育の歴史や背景にある理論、心理社会的な効果等について、テキストに基づいて学習します。



【3年次（演習 II）】3年次春学期は野外教育の実践力を高めることを目的とします。安全管理や対象者理解、キャンプカウンセリングの方法等を学習した上で、実際に自然体験活動を計画し、運営・指導を経験します。3年次秋学期は野外教育の探究力に主眼を置き、野外教育の研究手法についてテキストから理解すると共に、野外教育に関する研究論文を精読し、グループでのディスカッションを通して議論を深めます。

【4年次（演習 III）】卒業研究に取り組みます。ゼミ生各自が実践の中からテーマを設定し、適切な方法を用いて調査・分析等を実施した上で、卒業論文を執筆します。

卒業研究のテーマ例

- ・ 野外教育の効果やキャンプカウンセリングに関する研究
- ・ 野外関連の組織・団体（自然学校、キャンプ場など）に関する研究
- ・ アウトドアスポーツ（登山・カヌー・スキーなど）に関する研究
- ・ 多様なニーズへの自然体験活動（不登校・発達障がい・ひとり親家庭など）に関する研究

3 参考文献

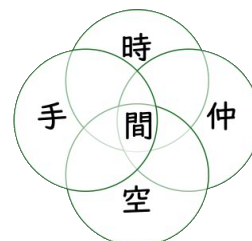
- ・ 星野敏男・金子和正監修「野外教育入門シリーズ第1巻～第5巻」杏林書院,2011～2014.
- ・ 野外教育学会編「野外教育学研究法」杏林書院,2018.

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。エントリーシートを参照しながら面接を実施します。

5 その他

- ・ ゼミ合宿を年2回（2泊～3泊程度）実施
 - ✓ 内容：キャンプや登山、スキー・スノーボード、野外関連団体への訪問など
 - ✓ 3年次のゼミ学生が計画を立てて内容を決定
- ・ ゼミ学生に期待する姿勢
 - ✓ 4つの間（時間・空間・仲間・手間）を大切にできる人
 - ✓ 野外関連の指導やボランティア等（主に土日や夏期休業中）に積極的に関わられる人



〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

研究内容：野外教育・自然体験活動
タイプ：2年半



吉松先生

吉松先生は、野外教育学、臨床心理学を専門に研究されています。授業内では、私たちに疑問に対して、いつもの確かなアドバイスをしてくれます！そして、とても優しく、何でも話を聞いてくれる笑顔が素敵な先生です！

Schedule

- 7月：2年生歓迎会
- 8月：夏合宿
- 10月：スポーツ大会
- 1月：卒論発表
- 2月：冬合宿・送別会

吉松 梓 ゼミナール

Contents

近年、アウトドアは身近な存在になっていますが、その裏側には地域活性化への期待や、家庭の経済状況による「子どもの自然体験格差」といった社会課題があります。吉松ゼミでは、野外教育・自然体験活動を通じて、こうした課題について考え、理解を深めていきます。特に、不登校・発達障がい・ひとり親家庭など、様々なニーズを抱える青少年への支援を野外教育の視点から学びます。論文やテキストによる学習に加え、キャンプや野外炊事の実習、ゼミ合宿や社会貢献活動の企画など、「座学×経験×実践」を重視している点が吉松ゼミの魅力です。実体験を通して、楽しさと学びの両立を実感できます。

Message

みんなが個性豊かで、とても仲良く活動しています。吉松ゼミで楽しく学びましょう！
体育会でも、体育会でない方でも大歓迎です！
ゼミ生一同、みなさんと活動できる日を楽しみにしています！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

現代会計基準における基礎概念

2 研究内容

わが国では近年、会計基準の大々的な改革が行われてきました。それは単に会計基準を改訂するにとどまらず、プライベートセクターとしての基準設定機関の設立や概念フレームワークの構築など、基準設定の基盤から変化してきているといえます。このような改革は会計基準の国際的収斂化を受けたものですが、その背景には企業観、業績観、利益観のダイナミックな変化があります。

会計基準の新設・改訂の内容を本当の意味で理解するためには会計基準における基礎概念を習得することが不可欠です。

本演習では、3年次は企業会計および会計基準における基礎概念を初歩的な論点から学習し、3年次秋学期の終わりに卒業論文のテーマを決定します。また、会計基準の論点だけではなく、「経営」という観点からの会計の意義や財務諸表分析についても学んでいきます。4年次では卒業論文の作成を通して、論理的思考とそのアウトプットの訓練を行うことを目標としています。

3 参考文献

演習の中で適宜指示します。

4 募集予定人員・選考試験

10名前後。入室試験時に本演習を希望する理由をA4用紙1枚にまとめて提出すること。入室試験は会計学の論述および面接。

5 その他

3年次の演習では、まず教員が指定した基本的な論点について各自がレジュメを作成し、報告会を行う形式をとります。4年次の演習では、各自が選択した卒業論文のテーマに沿ってレジュメを作成し、報告する形式をとります。また、本演習では、会計基準の基礎概念の習得と同時に、生涯付き合い合っていける仲間との出会いの場も提供したいと思っています。そのため、ゼミ合宿、懇親会、各種見学会などの催しに積極的に参加してください。「これから一生懸命勉強したい」「仲間とともに成長したい」という意欲のある学生を希望します。

浅野ゼミ

概要

〈研究テーマ：現代会計基準〉

企業会計および会計基準における基礎概念を初歩的な論点から体系的に学習します。マクロな視点からビジネス界を取り巻く会計基準の変遷・ミクロの視点から個別の財務諸表分析などを通して経営に対する理解を深めることを目指しています。

〈授業形態〉

3年次：各週発表担当者がテーマに沿ってプレゼンテーションを行い、ゼミ生と浅野先生での討論を通し理解を深めていきます。

4年次：卒業論文の作成に取り組みます。各自の卒論テーマに沿って1年間の論文作成を通して、論理的思考とアウトプットする力を養います。

〈こんな方にオススメ！〉

学科に偏りはありません！就活で金融・コンサル・広告業界などをを目指す人もいれば、公認会計士や税理士などの資格試験合格を目指す人、公務員を目指す人など様々な学生が在籍しています。サブゼミがないため、就活や資格勉強に融通が利きやすいのも魅力だと思います！

年間スケジュール

6月	入室試験（ES→面接）
9月	合宿（昨年は山中セミナーハウス、富士急ハイランドに行きました！）
10月	スポーツ大会
12月	合同ゼミ（昨年は日大商学部での実施でした！）
3月	追いコン

★ゼミ活動は3年次からですが、合宿やスポーツ大会、各学期末に行う納会などのイベントには2年次から参加可能です！

↓その他質問があればインスタ DM までお願いします！



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

様々な組織（営利組織・非営利組織）の活動に関する会計的考察

2 研究内容

営利組織とは企業・会社を指し、非営利組織とは学校、病院、福祉施設（介護、保育等）、公益法人（音楽・美術団体、奨学金などの助成財団等）、NPO 法人（貧困、災害・国際支援等）、さらには官庁・市役所などを指します。こういった組織体における「利益」とは何でしょうか。SDGs への対応が身近な問題となっている現代、複雑・多様化し様々な「社会的課題」が生じている中で、これらの組織体はその解決のためにどういった活動をしているのでしょうか。活動の裏側には必ず「お金」が動いています。当ゼミでは、「お金」の面から組織体の活動を分析し、活動の成果としての「利益」がどのように使われるか、使われるべきかということを考えていきます。

まず、皆さんにとって身近な存在である企業・会社の会計で、基礎知識を得たのち、実際の具体的な組織体の経営・会計に関する情報を入手（インプット）し、それを分析・発信（アウトプット）する力を養います。現代は、様々なメディアから多様な情報が発信されていますので、その中から正確な情報を識別して掴み取ることはとても重要です。ゼミでは、まず、そういった力を養った後、各自（グループ）で収集した情報を分析してまとめ、その成果を発表していきます。論理的な資料作りができ、人前で話すことが出来る、そういった社会で役立つ「総合的な力」を楽しく培うことを目指してほしいと思います。

また、財務会計は社会と密接に結びついている研究分野ですので、座学のみでなく、実社会とのつながりを意識したゼミ活動を行います。学んだことを「社会でためす」「社会から学ぶ」という意味で、調べた組織体を訪問しプレゼンを行います。これまで、関東はもとより北海道、関西、四国、沖縄など、学生の関心に応じた地域・企業を選択して研究してきました。2025年度は関心に応じて4つのグループを作り、食品輸出、空き家対策、観光振興、地域特産品振興などに取組み、この研究成果を学内プレゼン大会で報告し、入賞することも出来ました。この一連の活動では、研究・発表の練習はもとより、会社へのアポイントメントの取り方や、訪問時のマナーなども修得することが出来ます。

4年生のゼミでは、卒業論文を書きます。3年生での研究を踏まえて、各自が選択したテーマについて個別研究をして、報告会も行います（これまでの卒論テーマ領域の例：、統合報告書、国際会計、ふるさと納税、スポーツの経済効果など）。

3 参考文献

必要に応じて紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

14名くらい。自己推薦書と面接で行います。

5 その他

当ゼミでは、毎回各自必ず1回は発言することを求めます。また、「今日できることを明日に伸ばさない」意識を持った人に来ていただきたいと思います。ゼミ合宿、プレゼン大会、企業訪問などを行い、学ぶ時間と遊ぶ時間を皆で共有できる多様な機会を設けますので、積極的に参加して生涯にわたる仲間づくりをしましょう。

☆石津ゼミとは

石津ゼミは、3年次前半に財務会計の基礎について学び、それ以降は学んだことを活用して、具体的な企業・組織の経営・会計を調査・分析します。

他のゼミにない特徴としては、調べた企業・組織を直接訪問して自分たちの分析結果を成果発表することです。自分たちで調べた内容をプレゼンという形で表現することによって、プレゼン能力やパソコンスキル等を高めていくことができます。とても緊張しますが、この経験は就活での自己PRにもとても役立ちます。

また、授業以外にも合宿、スポーツ大会、ゼミプレ、その他イベント等、様々な活動にも取り組んでいて、ゼミ生同士とても仲が良いです（イベントについては自分たちで主体的に企画します。）



☆活動内容

普段の授業では、自分たちが調べてきた活動内容について個人やグループでまとめたりプレゼンを行います。ゼミ生は発表内容への質疑応答等を通じて課題への理解を深めていきます。理解が難しいところは先生がわかりやすく教えてくれるので会計知識に自信がなくても問題ありません。

3年生次後半になると、企業・組織訪問を行い、その成果を学内でのプレゼン大会で発表します。企業訪問のために自分たちで直接企業にアポを取り、積極的に調べていくことで主体性や協調性を身に付けることができます。4年次では各自でテーマを決め、卒業論文を書いています。

☆先生 & ゼミ生について

学科問わず皆で楽しく活動しています。

先生はとても優しく、知識も豊富で話が面白いです！

一緒に石津ゼミを盛り上げていきましょう！



【年間行事予定】

- 6月 新歓コンパ
- 夏休み 合宿
- 10月 スポーツ大会
企業訪問
- 11月 学内プレゼン大会
- 12月 Xmas パーティー
- 春休み 合宿

※状況によって一部行事が開催されないことがあります

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

雇用・労働などに関わる多面的な実証研究の方法の研究。

2 研究内容

【演習Ⅱ A・B (3年次)】

社会科学の実証研究に必要な基礎的な大学数学を中心に研究します。具体的には、データ分析の理論を理解するために必要不可欠な、各種数学理論の導出と実践利用法を研究します。

そのうえで、研究方法の種類、学習、データ・情報獲得の方法、統計分析に必要な数学的基礎の運用方法などを勉強します。そして、Rなどの無料統計分析ソフトウェアなどを実装し、テストデータで色々と遊んでみたいと思います。

【演習Ⅲ A・B (4年次)】

各種社会調査の無料データベース、各自が興味のある分野でのインタビューなどから得たデータ、あるいは各自が Google アンケートで得たデータなどを使い、様々な実証研究の手法を応用して何ができるか、何がわかるかを、楽しみながら試行錯誤していただきたいと思います。なお、3・4年時には、立教大学・中央大学のゼミと一緒に、雇用関係をテーマとした、合同ゼミを実施します。

希望者には、これまで養った実証研究の素養を用いながら、実際に卒論を構築していただきたいと思います。この過程で、もし希望があれば、ゼミ合宿などをやっても構いません。2024年夏には内房で実施し、3・4年全員で楽しく過ごしてきました。

3 参考文献（あくまで現在の実績です。将来的にはさらなる展開も考えています）

馬場敬之『キャンパス・ゼミ（微分積分・確率統計）』マセマ出版（3年時で教科書として使用）。

星野・田中・北川『Rによる実証分析』オーム社（3年時で教科書として使用）。

4 募集予定人員・選考試験

数名。実習形式でじっくりと確実に勉強するので、少人数になります。ご自身をアピールする所定のエントリーシートを漏れなく記入して提出してください。その際、できる範囲でご自身の経歴と興味のある分野（学業・仕事・趣味など）について説明してください。特殊技能などを書いても良いです。その後、個人面接を行って決めます。

5 その他

私の本来の研究テーマは、ドイツの人的資源管理・労使関係研究です。独語の通訳案内士資格も持っており、独企業での各種調査も継続的に実施してきましたので、ドイツに関するテーマは全般的に扱えます。ですが、経営学のゼミで優先的に学ぶべきことは、実証研究の基礎ではないかと考えています。ですので、同ゼミでは私の専門にこだわらず、広い応用可能性のある実証研究の方法を皆様と試行錯誤しながら研究したいと思います。経営学分野でどのような実証研究を行うべきかに興味のある方は大歓迎です。大学数学も実証研究の理解を深めてくれるので、演習を通じて、楽しみながら身に付けていければと思います。数学については、私も先輩方とともに勉強中なので、無理な課題は押し付けません。一緒に研究し、理解を深められればと思います。

ここ数年やってみて気づいたのですが、高校では理科系だった方も含めて、かつて数学や物理で思うような学習ができなかったが、これらの分野の勉学をじっくりと再挑戦してみたい方に特に向いている気がします。また、手前味噌で恐縮ですが、我がゼミの先輩方は、優しく、そして大変優秀です。

[石塚ゼミ 研究内容]

「雇用・労働などに関わる多面的な実証研究の方法の研究」



石塚先生ってどんな先生??

専門は雇用・労使関係論。

ドイツ語の通訳案内業免許を取得するなど語学にも
富んだ先生です！

一見怖そうに見えるかもしれないけど、とても優しくて
常にゼミ生の味方でいてくれる頼れる背中です！！

活動内容

初めは大学数学の基本から勉強しますが、学生が自分達で
教え合うスタイルをとっているのでプレッシャーもなく、
先生のサポートも手厚いため楽しく基礎を学習できます！
数学だけではなく、自由に好きなことが学べる環境です！
少人数制なのでゼミ生同士とても仲良くなれます！！



【実績例】 経営学部ゼミ対抗プレゼンテーション大会 ブロック3位★ など

ゼミの流れ

3年生

- ・統計分析に必要な基礎数学
- ・興味にあるテーマに沿った研究

4年生

- ・興味にあるテーマに沿った研究
- ・定性/定量データを用いた実証研究

合同ゼミについて

毎年、中央大学・立教大学の学生さんと
合同研究発表会を行なっています！



ゼミ生からのメッセージ

「数学??」ときいて苦手意識を持つかもしれませんが、ゼミ生のほとんどが
文系一筋の数学未経験でした！

先生や先輩方が優しく教えてくれるので安心してください

石塚先生はクセも強いけど仲良くなったら最高に面白い先生です！！

『ご入室お待ちしております』

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

日本企業の今日的問題点を多面的視点から分析する

2 研究内容

停滞する日本経済のなかで、企業はどのように行動すべきかについて、関連する文献を輪読していきます。

座学とゼミ合宿から構成されます。座学に関しては、基本的に1年間で4から5冊程度の書籍と数本の研究論文を読んで発表してもらいます。書籍については、分担を決めて一人ずつパワーポイントにまとめて担当部分を発表してもらいます。また、ゼミ合宿の際は、専門の論文をグループごとに発表してもらいます。

文献を読み進める中で、システム・シンキングや多変量解析といった、思考の整理方法やデータの分析方法を学んでいきます。

学部のプレゼンテーション大会や他大学との交流会ならびに学外の諸機関とのコラボレーション活動については、本来のゼミの時間とは別にサブゼミを設け、希望者を対象に行います。

3 参考文献

4・5冊程度の書籍。適宜指示。

4 募集予定人員・選考試験

12名程度

5 その他

今までは、学部プレゼンテーション大会や企業などとのコラボレーション活動に積極的に取り組んできましたが、学生のゼミに対する意識の変化や強制的なところがあるため、今後は希望者のみとします。あくまでも、座学によるディスカッションが中心です。毎年、ゼミ合宿を行っておりますが、希望する場合は実施し、参加は自由とします。

動機付けはしますが、やる気があるならばやるが、ない場合はやらないというゼミです。

また、企業のインターンシップなどでゼミを休むという人がいますが、無断で休まないことと、休むなどとは言いませんが、評価は低くなります。また、大学によって認められている欠席以外のもの、いわゆる私事による欠席（インターンシップやバイト、サークル活動）は4回まで認めます。それを超えた場合は、除ゼミとします。

ゼミは、卒業後の人生や豊かな学生生活につながるものであると考えていますので、単位取得や就職のための条件と考えている人には向いていませんので希望しないでください。

牛丸ゼミ 2026

牛丸ゼミとは…

- ・現代日本企業の問題点を研究するゼミです。
- ・勉強を通じて、システム・シンキングや多変量解析について学んでいきます。

年間スケジュール

- 2年生（授業自体はありません！）
- 5月 ゼミ試験
- 6月 合格発表
- 7月 顔合わせ・コンパ（自由参加）
- 10月 ゼミ合宿（もしくは3月、自由参加）
 - ▷セミナーハウスで2泊3日！
 - スポーツ大会（自由参加）
 - ▷2025年のサッカーは準優勝！
- 1月 新年会（自由参加）
- 3月 ゼミ合宿（もしくは10月、自由参加）



会社訪問も希望すれば行きます！

ゼミプレ優勝経験あります！



○ゼミ試

ESで選抜し、面接を行います。

○ゼミ合宿

ゼミ合宿は毎年10月もしくは3月に2泊3日で行います。2年生は最初のゼミ活動になります！プレゼン発表を行います！ただし、今後は希望者のみとなります。

○経営学部ゼミプレや企業とのコラボレーション活動など、かなり活躍をしています！！

○2年タイプではありますが、ゼミが始まる前から交流は多くできるので、すぐに仲良くなれます！！

○主体性のある人を希望します！

○興味を持ったら、ぜひ話を聞きに来てください！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

哲学

2 研究内容

本ゼミでは、学生が自発的にもった関心を尊重しながら、現代でも有意義な哲学的テーマを掘り下げることをめざします。古典を重視はしますが、教員も学生もたえず今の時代の問題と関係づけて考えることが大事だと思っています。

暫定的に、以下のような演習の進め方を計画しています。

演習Ⅱ（3年）

学生も興味深いと思えるテーマを設定し、それぞれのテーマについて四つ以上の重要文献を輪読するつもりです。暫定的なテーマは「幸福とは?」「自分とは?」「仕事とは?」（以上前期）、「コミュニティー・国家とは?」「合理的思考とは?」「歴史とは?」（以上後期）です。文献は西洋のものが中心になりますが、日本や中国のものなども考えています（例えば仕事についていえば、アリストテレス、マルクスなどの他、石田梅岩も面白いと思います）。学生からのテーマの提案や文献紹介も積極的に聞き入れます。

輪読は、①事前に特定のゼミの日で扱う文献が何ページから何ページまでで誰が担当だと決めておき、②その回には担当者がスライドかレジメをつかって文献について解説し、③次に教員が補足プレゼンをし、④さらに読んだテキストに関連した質問を書いたワークシートを配るので、それに沿って学生がリアクションペーパーを書いたりディスカッションをしたりする、という段取りを基本とします。②のあとや③のあとに自発的に質問をすることを歓迎します。

演習Ⅲ（4年）

卒論指導です。スライドを使用したプレゼンと、途中経過の原稿を使用したプレゼンの両方をやってもらうつもりです。プレゼンの後、教員や他の学生を交えた質疑応答をします。卒論テーマは「個人とは何か?」といった大きなテーマを掲げたものでも、「犯罪者をどの程度道徳的に責めることができるのか?」といった具体的な問題に切り込むものでも、「カントにおける直観の形式としての空間」といった有名な哲学者についての精緻な解釈を目指すものでもかまいません。教員は、学生の選んだテーマに沿った文献をpdfファイルでアップロードしたり、テーマに関連したディスカッショントピックを作ったりします。

最終的な提出物の質を担保するため、夏休み前に途中経過原稿を送ってもらい、それについて教員がコメントバックすることが望ましいと考えています。

以上の演習で、(1) プレゼン能力と文章作成能力が鍛えられ、(2) 的を射た質問をしたりそれに応えたりする力やグループディスカッションに参加しそれをリードする力も鍛えられ、(3) 自分なりの人間観や世界観を練り上げることができます。

3 参考文献

ゼミで使用する文献は、ゼミの中で適宜指示します。

4 募集予定人員・選考試験

10名前後。エントリーシート、ZOOM面接を適宜用い選考させていただきます。

枝村ゼミ

ゼミ活動

➤ 3年生

古今東西の哲学者の輪読と関連するテーマの議論。話し合いが中心であり、学生同士は楽しく意見交換しています！

➤ 4年生

卒論に関連のあるテーマを発表し、それについての意見交換。



ゼミの雰囲気

授業中は積極的にゼミ生が発言し、話し合いが活発です。定期的に飲み会等を通して他学年とも交流が多くあります！！就職の相談やアドバイスも先輩から聞けるチャンスが多いです！



先生の紹介

先生は西洋哲学を専門としていますが、それ以外の知識も豊富で幅の広い議論ができます。また学生の自主性を重んじてくれるため、議論に自信がない人も大歓迎です！！



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

中小企業・ベンチャービジネスの成長戦略

2 研究内容

日本企業の 99.7%を占める中小企業の成長発展なくして日本経済の成長はなしえないといっても過言ではありません。それゆえ中小企業の成長発展に向けての研究は意義あるものといえます。ただし、中小企業の存在は異質多元的であり、一括りに論じることはできません。

ゼミでは、研究目的を明確にしたうえで、業種、業態、規模、立地など一定の基準で研究対象を定め、研究目的達成に向けての活動を進めていきます。

その際、全員で一つのテーマに取り組むのか、いくつかのテーマを設定してグループに分かれて研究に取り組むのか、そもそもどのようなテーマを設定するのかなどについては、基本的にゼミ生が自主的に決めて進めています。

2025年度は4チームに分かれて、「伝統的工芸品産業の復興」「地方温泉街の振興」「労働と幸福度の相関」「日本製品の海外販路開拓」をテーマに研究をしました。4チームともに中小企業研究において重要な位置を占める問題に取り組みました。そして、経営学部プレゼンテーション大会に参加し、2チームが入賞しました。ヒアリング調査をはじめ、現地に足を運んでの研究は意義のあるものであったと思います。

また、中小企業の実際の経営をみるために工場見学に出かけています。見学先は、地場産業の活性化、地域振興ということで注目されているイベントの一つである「燕三条工場の祭典」です。

「燕三条工場の祭典」は、2013年から新潟県三条市と燕市で毎年10月に開催されているイベントで、「モノづくり企業」を中心に両市で100社ほどの企業によるオープンファクトリーであって、中小企業経営の在り方に様々な示唆を与えてくれます。それを見学することは、ゼミでの研究活動においても意味のあるものとなっています。

3 参考文献

岡田編著『中小企業のIT経営論』同友館。

岡田編著『ケースで学ぶまちづくり』ぎょうせい。

等々、必要に応じて随時紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

12名程度を想定していますが、意欲があつて積極的なゼミ活動を目指す人に集まってもらいたいので、特に人数にこだわりはありません。

選考方法は、例年、面接とグループディスカッションをおこなっています。

5 その他

特になし。

岡田ゼミって？



興味のある
ことを選んで
自由に研究
できる

朗らかな
雰囲気

どのくらい
ハードワーク
するかは自分
たち次第

中小企業に
関して深く
研究できる
唯一のゼミ

ゼミ以外の
活動とも両
立できる

年間スケジュール



4月ゼミ活動スタート

11月のプレゼンテーション大会
に向け、テーマを決めて研究を
始めます。



10月ゼミ合宿 in 新潟

燕三条で開かれている
工場の祭典に足を運び、
現地の企業見学をします！



11月ゼミ対抗

プレゼンテーション大会
各チームの研究内容を、大会
で発表します！

以上がざっくりとした岡田ゼミの紹介になります。それぞれがチームに分かれて、中小企業関連のテーマを決め、研究を進めるというスタイルで活動しています！ちなみに私たちが指導してくださる岡田先生はとても知識・経験共に豊富で、実は大学活動以外にも、地域活性化のためのコンサルや、霞が関の行政機関などでの意見交流なども行っています！岡田先生含め、生徒も非常に朗らかな雰囲気で、でもやるときは本気で取り組む素敵なゼミですので、是非皆さんの応募をゼミ生一同お待ちしております！



Instagram も♡

okadaseminar2025

42. 清水演習〔2年タイプ〕

教授 清水 一之

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

「EU と日本企業の比較研究（新技術の採用とイノベーション、Web3 業界の展開；ブロックチェーン技術）」

2 研究内容

大学生活では、授業を受けながら「自分は何が好きなのか」「将来どのような仕事をしたいのか」を少しずつ考えていくこととなります。しかし現代社会は変化が速く、将来を簡単に予測することはできません。そのため大学では、知識を覚えるだけでなく、変化に対応できる力を身につけることが大切になります。

清水ゼミでは、皆さんにとって身近な「アルバイト（ドイツ語：Arbeit）」を出発点に、「働くとは何か」「企業は社会とどのように関わっているのか」を考えながら、ヨーロッパ（EU）の経営を学びます。特にドイツでは、環境への配慮や持続可能性を重視する企業経営が根付いています。本ゼミでは、ドイツ商工会議所との連携や、EU 企業と日本企業の比較を通じて、経営の考え方や仕組みの違いを実践的に理解していきます。

ゼミでは学生主体の活動を重視します。チームでのディスカッション、レポート作成、工場見学や企業訪問、他大学（海外を含む）との交流や共同発表などを行い、自ら調べ、考え、発表する力を身につけます。単に話を聞くだけでなく、自ら行動することで学ぶことを大切にしています。

また、3年次からはフィールドスタディに参加できます。国内プログラム（FSC）では日本企業を訪問し、企業の社会的責任や持続可能な経営、新しい技術の活用について学び、他大学との共同研究・発表を行います。その経験を踏まえ、海外プログラム（FSD）では主に EU・ドイツの企業や大学を訪問し、国際比較を行います。訪問先との連絡や日程調整も学生自身で行い、主体的に学びを深めます。

清水ゼミは、知識の習得にとどまらず、体験を通して「考える力」と「行動する力」を身につけるゼミです。ヨーロッパの経営や社会に関心がある方、将来のキャリアを広い視野で考えたい方の参加を歓迎します。

3 参考文献

- ・Kazuyuki Shimizu, ESG Investment, German Industrie 4.0, and Blockchain, Springer, April 2026
- ・Horst Steinmann, Georg Schreyogg, Jochen Koch, 清水一之（監訳）『ドイツのマネジメント学—概念 - 機能 - 事例研究』, SBI Access, 2019 年
- ・風間信隆（編集）『よくわかるコーポレート・ガバナンス』, ミネルヴァ書房, 2019 年
- ・高橋俊夫監修『EU 企業論—体制・戦略・社会制—』中央経済社, 2008 年

4 募集予定人数・選考試験

ゼミ入室試験期間中に面接試験等を通じて 15~20 名程度選抜する。

5 その他（履修上の注意点）

ゼミでは、レジュメ作成や事前準備に取り組みながら、「自分は何に興味を持ったのか」「なぜそう考えたのか」を言葉にしていきます。個人またはチームで調査を進め、EU や日本企業について調べる中で、自分なりの視点を少しずつ育てていきましょう。

こうした積み重ねは、学内発表や他ゼミとの討論の場で、自分の考えを伝える力につながります。そのため、日頃からニュースや企業の動向に目を向け、「気になる」「面白い」と感じたことを大切にしてください。

関心を持って参加するほど、学びは深まります。自ら問いを立て、試し、共有する経験を通して、主体的に学ぶ力と新しい発想を生み出す力を身につけていきましょう。

清水ゼミナール

〈2年タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

《清水ゼミとは》

清水ゼミナールはヨーロッパ各国のマネジメントを中心に研究しつつ、EUのマネジメントにも視野を広げて研究することがテーマです。加えて、受講生は工場見学などの「フィールドスタディ」にも参加し、日本のマネジメントの現場も合わせて体験しています。清水先生はヨーロッパへの旅行や研究の経験が豊富であり、フィールドスタディでも頼れる優しい先生です！



《ゼミ生の関心のあるテーマ》

- ・日本企業と西欧企業の経営思想の違い
- ・イノベーションを生み出す組織構造
- ・労使関係や雇用制度の違いが与える影響
- ・ESG、サステナビリティ経営
- ・西欧企業から日本が学べる点、その限界

《ゼミ生の目指すこと》

- ・異なる経営方法を理解し、自分なりの意見をもてるようになる
- ・英語で自分の意見を論理的に説明できるようになる
- ・データや事例を根拠に議論できる力を養う

《年間スケジュール》



- 6月 ゼミ試験
- 7月 フィールドスタディ C
タレントチャレンジ
- 8月 夏合宿
- 10月 スポーツ大会



- 11月 ゼミプレ・フィールドスタディ D
- 12月 忘年会
- 1月 OB・OG会
- 3月 春合宿

少しでも興味を持たれた方は

ぜひガイダンスにお越しください！ゼミ生一同、心よりお待ちしております❤️

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

経営数学、オペレーションズ・リサーチ

2 研究内容

社会や産業の世界で生じる複雑な事象は、そのままでは把握や議論が難しい場合が多くあります。一方で、こうした事象を数理モデルとして表現したり、抽象的な構造として捉え直したりすることで、本質的な課題や有益な示唆が得られることがあります。

高澤ゼミでは、身の回りの社会現象や経営課題について、数理モデル的な視点や抽象的に捉える視点から考える力を身につけることを目標とします。ここでいう抽象化とは、単に数式を使うことではなく、複雑な現象の中から重要な要素や関係性を抜き出し、整理し、説明可能な形にすることを指します。

そのための基礎的な訓練として、3年次には数学書を1年かけて輪読します。内容そのものを暗記することが目的ではなく、抽象的な概念を理解し、それを自分の言葉でわかりやすく、論理的に説明する力を養うことを重視します。輪読はグループに分かれて行い、週ごとに担当箇所の発表を行います。

また、研究活動や多くの仕事をする上では、コンピュータを使いこなす能力が不可欠です。そのため本ゼミでは、タッチタイピングやOfficeソフト（Word、PowerPointなど）の基本的な操作スキルの向上も目標とします。発表資料はこれらのソフトを用いて作成し、内容だけでなく、読み手に伝わる資料の作り方についても学びます。

4年次には、学年ごとにテーマや使用書籍を設定し、輪読や研究活動を行います。3年次に培った抽象化力、説明力、基礎的な作業スキルを活かしながら、より主体的に問題設定や分析に取り組むことを目指します。

3 参考文献

1. 『論理と集合から始める数学の基礎』 嘉田勝（日本評論社）
2. 『証明の読み方・考え方』 Daniel Solow（著）、西村康一（翻訳）、服部久美子（翻訳）（共立出版）

4 募集予定人員・選考試験

募集人員：最大10名程度。

選考試験：希望人数が多い場合は筆記試験等を予定。

5 その他

少人数のため、受講生の様子/要望に応じて演習内容を一部変更する可能性があります。

高澤ゼミナール

〈2年タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

高澤ゼミの方針

私たちの方針は「**基礎の徹底**」です！

どれだけ高度な技術や知識を身につけても、基礎能力(文章力、論理力、構造力)が不完全では、評価されません。確かな基礎力があってこそ、真の実力が発揮されるのです。

そこで、私たちは、講義でのディスカッションや発表を通じて、論理的思考力を養います。

活動内容

活動内容としては、毎講、教科書の輪読を行います。週ごとに担当者が、教科書の該当ページについての理解を深め、資料作り、発表を行います。また、4年次には PowerPoint や Word といったオフィス系の技術を習得します。

また、希望者は経営学部主催のゼミ対抗プレゼン大会に参加することも可能です。高澤ゼミ第二期生は「学生とゼミナールのより安定的なマッチングアルゴリズムの開発」という研究テーマで発表しました。(以下、プレゼン時の写真)

ゼミ以外の時間は自由度が高いため、自らの挑戦に充てることができます。

高澤ゼミに多い人物像

- ◇ 主体性をもって積極的に議論に参加できる人
- ◇ 物事を深く考えることを好む人
- ◇ 自分で課題・やる事を見つけ、取り組める人



その他情報

- 創設年度 : 2023年度
ゼミメンバー数 : 新4年生:6名 新3年生:約11人(予定)
研究テーマ : 自由(卒論無し)
合宿・イベント等 : 基本無し(希望者が集まれば明大祭に出店も可、2025年度出店歴有り)

高澤陽太郎の経歴



東京工業大学工学部を卒業後、同大学工学院で経営工学を専攻。専門は社会システム工学(オペレーションズ・リサーチ、数理最適化、組合せ最適化)。「経営数学 A・B」「数学 A・B」講義の教鞭を執る。学生時代にはベンチャー企業でデータサイエンティストとしての実務経験を積む。

44. 野田演習〔2年タイプ〕

教授 野田 寛 達

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

現代中国の社会・文化・ことばなど自身の興味に合わせて様々なテーマを選んで調査を行います。特に関東圏では身の回りに注意を向けるだけで中国を感じる事象で溢れていますので、テーマ選びに苦勞することはないでしょう。必要であればテーマに関してアドバイスもしますが、特定のテーマを強要することはありません。日本企業には中国関連のビジネスを展開しているところも多いため、知識を深めておくことは重要です。

2 内容

日本と中国は古来より密接な関係を持ち、特に近年では中国の国際社会での存在感の増大により、この国を知ることの重要性はより高まっています。一方で、本学部では中国に関して多角的に学ぶ機会が限られています。本演習では現代中国を対象として、政治、文化、習慣、言語等様々な問題について多様な視点から学習・研究を行います。これにより現代中国への理解を深め、ニュースから得られる知識の丸呑みを脱却し、思考する人材の育成を目指します。さらに中国語の理解・運用能力の養成もはかります。現代中国に関する様々な事象を紹介し、関連資料を参照しつつ理解を深めます。各自が設定したテーマに基づいて調査・研究を行い、その成果をプレゼン発表し、ゼミ受講生の積極的な討論を経て卒業論文を作成していきます。以下がこれまで作成された卒論テーマの一例です。

日中の生活習慣の違いとその理由の分析

ゴミを巡る中国の環境問題についての一考察

東京ディズニーランドと上海ディズニーランドの比較分析

東京の街中の中国語表記の現状と課題の分析

中国の政治と言論の自由に関して

日本酪農業の中国市場参入に関する分析 など

〈到達目標〉

中国について多様性のある知識を獲得し、理解を深め、自身で研究テーマを定め、調査・分析能力を身につけ、問題解決への思考力を強化し、研究の過程・結論をプレゼンテーションで表現でき、卒業論文を作成することをめざします。語学面ではできれば、辞書を引きながら新聞を読めるところまで到達できればと考えていますが、進度は履修者のレベルに合わせてます。

3 参考文献

家近亮子など著 2016年『5分野から読み解く現代中国（新版）』晃洋書房。

若林正丈など編 2020年『台湾研究入門』東京大学出版会

知足章宏 2015年『中国環境汚染の政治経済学』昭和堂。

荒川清秀著 2018年『中国語を歩く-辞書と街角の考現学<パート3>』東方書店

野嶋剛 2020年『香港とは何か』ちくま新書。

4 募集予定人員・選考試験

1学年約10名まで（全体の人数のバランスで決定）。

5 その他

希望者はできれば中国語初級以上を履修済みであることが望ましいですが、中国語初心者には別途学習の機会を設けるなどの配慮も行います。一次資料に触れ、生の情報を得るために中国語がある程度できた方が良いでしょう。中国人や世界中にいる華人と交流できるツールを持つことは皆さんの人生を豊かなものにするでしょう。

野田ゼミナール



野田ゼミについて

野田ゼミは中国について、文化、社会問題、政治、ことばなど様々なトピックを題材にみんなで学んでいく教養ゼミです！全学年一緒に学びを進めるので、すぐにみんな仲良くなれますよ。学生の興味に合わせて好きなトピックを選んで学びを進めることもできます。普段のゼミは先生の現代中国に関する紹介や教養溢れるお話、中国語の学習、学生の発表、実地調査などを行なっています。ゼミの活動を通して、大切な隣国中国に関して、大いに知識を深めて、これまで気づけなかった日本との深い関係も知ることができ、皆さんの今後の人生にも大きな影響を与えることになるでしょう！企業の方は中国関連の話にはとても興味があるので、就活でも話すネタがたくさんできていいですよ！中国語が苦手でも初歩から学べますので、大丈夫です！



ゼミの雰囲気は？

ポブカットの似合う、中国大好き野田先生の醸し出す和やかな雰囲気が心地よいゼミです。学会や帰省の後には必ずお菓子を買って来てくれます！会食では先生おすすめの穴場の本格中華を食べに行ったりもします。ゼミ以外ではグルメやスポーツ、アニメなどの話に花が咲きますよ～。小規模なので打ち解けた雰囲気で、なんでも話せますよ～。



行事活動

中国人の集まる地域への実地調査、朝食ミーティング、食事会など等。学生からの提案で決まることもしばしばです。みんなのアイデアでゼミ活動を盛り上げています。



野田ゼミに向いている人

中国のことに興味のある人や学んでみたい人、中国のことと中国語の勉強を両立したい人、これから中国のことを知りたい人等少しでも中国に関心がある人は誰でも大歓迎です。リラックスした雰囲気で学びを深めたい人におすすめです。



〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

想像力を通じた科学と芸術の融合に関する哲学的研究

2 研究内容

新奇な事実の発見、新しいスタイルの創造、新規事業の創出。これらは、それぞれ科学、芸術、ビジネスの最前線において行われていることです。それらを実現するためには、専門領域を逸脱し、定石を外れた一手を打つ必要があります。なぜなら、自分の専門領域内の知識をいくら集めて整理しても、それらは既知のものでしかなく、新しいものを創造したことにならないからです。それではと勇んで未知の領域に踏み込むも、何もわからず「？」で頭が埋め尽くされてしまいます。そんな答えも問いも、プロットも演出もない真っ白な舞台において、意外にも基礎的な教養が重要な役割を演じます。

新領域を切り開こうとする際、まず自分の専門領域における公理を再検討することに迫られます。当たり前を受け入れてしまっている常識や前提を再検討するという懐疑は、哲学の初歩です。哲学的思考を身につけると、これまで隙間なく合理的に構築されているかのように思えた世界のいたるところに空白や矛盾があるのが見えてきます。そうした世界の裂け目をのぞき込もうとするとき、従来の知識やルールは通用しないので、合理的な思考能力よりも、鋭敏な感性や大胆な想像力が重要だと気がつきます。

ちょっとした言葉の機微や感情の揺れに、あるいは概念の曖昧さや理論の不整合に、イノベーションの種が隠されており、それらをどれだけ繊細に感じ取り、豊かな表現へともたすことができるかが創造性の核心となります。本ゼミでは、そうした前概念的・前理論的な領域での暗中模索を経験しながら、哲学、科学、芸術を統合的に学び、何かを創造することを目指します。そのため、以下の項目を重点的に学びます。

- 1) 色彩や形態、ことば、音に「出会い直し」、そこから制作行為を実践します。
- 2) 自分が作りたいもののイメージを深掘りし、相手に伝えるコミュニケーション論を学ぶ。
- 3) 思想や美学の潮流を理解し、現代がどのような時代でどこへ向かっているのかを理解する。
- 4) 科学の方法論と構造を知り、先端のシステム論を学ぶ。

自分で深く掘り下げ、自分で感じ取り、自分で形作ることが本ゼミの要であり、そのような自分で勝ち取った教養こそが、新領域での自由な創造を可能にします。

3 参考文献

河本英夫『哲学の練習問題』講談社学術文庫、2018年

A. F. チャルマーズ『改訂新版 科学論の展開』高田紀代志、佐野正博訳、恒星社厚生閣、2013年

畑一成『ゲーテ ポイエーシス的自然学の想像力』学芸みらい社、2020年

原研哉『デザインのデザイン』岩波書店、2003年

4 募集予定人員・選考試験

8名程度。エントリーシートと面接。

5 その他

- 何かを制作することがゼミ生に求められます。
- テーマや活動の形態に関して大きな裁量が与えられるので、「自律」して取り組むことが必須の条件となります。
- 現在のところ、芸術やデザインを希望するゼミ生が多いため、それに関連した授業が多くなっています。
- 希望に応じて、美術館での実見や各種イベントも実施したいと思います。

Hata Seminar


The water in the glass is not just a substance —
it exists, yet refuses to hold a single shape.
In that shifting form, we find the nature of thought itself.

What we face here is not “answers,” but the act of continuing to think.
Philosophy deepens our questions.
Art expands our senses.
And thought opens the door to the unknown.

Where these intersect, professors and students,
students with one another, and even the self within the self,
stand face to face like mirrors.
From a single drop, new spectrums of color emerge —
and with them, new values and perspectives.

Hata Seminar is a space built on dialogue.
Here, voices overlap, knowledge resonates,
and the quiet layers of thought begin to color the future.

This is a place where thinking transforms into form,
and the way we see the world is gently renewed.
— Hata Seminar



In Hata Seminar, students begin their exploration from what genuinely interests them —
from art, literature, and music to film, fashion, and entertainment culture.

If there is even one thing you truly care about,
it is already enough to begin thinking and questioning.
With a slight shift in perspective, the everyday world reveals new shades of meaning.

— Through thought, toward creation yet unseen.
Take your first step at Hata Seminar.

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

経営学を使って人間を理解する

2 研究内容

- 1年を通じて、**幸せな人生とは何か**について、さまざまな角度から学びを深め、それぞれの論点を理解できるようにします。そのために、「働くということ」「病気・貧困・失業など、逆境をどう乗り越えるか」などを一緒に追究してゆきます。
- また、経営学がこれらにどのような貢献ができるか、どのような関わりがあるかということも考えてゆきます。これまでに学んだ経営学の知識をテキストの中の学習に終わらせず、実社会といかにつながっているか、体感してほしいと思っています。
- 共通していることは、医療や経営学の学習を通して、人間を学ぶということです。病気になったり、失業したり、障害を負ったり— 人生にはアクシデントがつきものです。それでも**幸せな人生を追い求めるにはどうすればいいのでしょうか？**ゼミでの2年を終える頃には、より深く人間というものについて考えられる人になっているはずです。
- 毎回の授業では全員が必ず自分の意見を述べるように促します。一つのテーマについてディスカッションできる機会というのは、卒業すると案外ないものです。「なぜだろう？」という素朴な疑問を大切に、自分の想いや考えを、たくさん話してください。
- 2025年度の3年生は、「**能力主義って何だろう？**」というテーマで活動をしてきました。春学期には能力主義に関する文献を読み、グループごとに演劇の手法で表現してもらいました。秋学期には、課題図書ごとに班を分けて、研究を行いました。いずれも、自由にクリエイティビティを発揮すること、「なぜそうなるのか？」という新しい疑問をどんどん見つけてゆくことを大切に指導しています。
- 2026年度は「**孤独と孤立**」をテーマにする予定であり、このテーマに相応しい外部講師をこれまでより多くお招きし、一緒に議論したいと考えています。
- これまでも毎年必ず、**外部講師を招いた特別講義**を催し、視野を広げるようにしています。2025年度は地域社会を支える若手の行政の方、他大学の人事労務管理の教員をお招きして、「働くということ」について一緒に考える授業を行いました。
- 4年生は各自の興味関心を絞り込み、**卒業論文**を執筆していきます。
- 2024年度は13名、2025年度は11名が入室しています。一人ひとりの個性を大切にしたいので、年に1回は必ず**個人面談**を行い、就職活動や日常の悩みを話せるように努めています。ピクニックや飲み会、合宿など、レクリエーションも実施しています。
- 入室する学生は、利他的なタイプの人が多く、雰囲気は柔らかいと思います。

3 参考文献

- アダム・グラント (2014) 『GIVE & TAKE 「与える人」こそ成功する時代』三笠書房
- トーマス・ジョイナー (2024) 『男ななぜ孤独死するのか 男たちの成功の代償』晶文社
- シェルドン・ソロモンら (2017) 『なぜ保守化し、感情的な選択をしてしまうのか：人間の心の芯に巣くう虫』インターシフト

4 募集予定人員・選考試験

10名程度。面接と小論文の提出を求めます。

5 その他

3・4年次で早川の「医療マネジメント論」「福祉マネジメント論」のいずれかを履修すること。

4年次では卒業論文の執筆が必須となります。

経営学と人間

早川ゼミナールは、「人間」を軸に、経営学に関わる労働、福祉、医療の観点から学習を進めています。私たち人間と密接に関わる「働き方」や「生き方」について学ぶことができるゼミナールです。授業ではグループワークを通して議論や制作活動を行うことが多く、各々が主体性を持って活動していることが特徴です！

これまでの活動内容

春学期は、「能力主義とは何か」をテーマに、「現代で求められる能力って何？」「能力主義ってフェアなの？」など、徹底的に議論しました。そして2チームに分かれて『東大生はなぜコンサルを目指すのか』『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』の劇を作り、合宿で発表しました。

秋学期は、医療・福祉・経営に関するそれぞれの課題図書をテーマに、3つの班に別れてグループ研究をしました。また、早川ゼミ伝統の、社会人へのインタビューから現実の労働についても学ぶプレゼンテーション「働く大人のアーカイブ」も行いました。

また、学期ごとにゲスト講師をお招きし、春学期は、ゼネラリストの働き方を学ぶために地方自治体で働く方のお話を伺い、秋学期は、「働くってそもそもどういうこと？」という哲学的なテーマで、他大学の先生に講義をしていただきました。

ここが魅力！

✔ グループワークで仲が深まる！

早川ゼミナールの1番の特徴はグループワークです。活動ごとにグループ分けをし、少人数で学習を進めていくので、各々が自分の意見を持つことができる環境があります。そして、グループワークに取り組むことで仲が深まり、雑談飛び交う楽しいゼミが完成していきます！（授業中はみんな真面目です）

✔ 社会との接点

「人間」は社会や組織を構成する最小単位です。「人間」を軸に私たちが生きる世界の労働、福祉、医療についてアプローチをすることで、将来を考えるきっかけにもなります。また、実際に社会で活躍されている方に講義をしていただく貴重な機会もあり、社会との接点を持てるゼミナールです！

**温かくゼミ生に寄り添ってくださる早川先生のもと、楽しく学べるゼミナールです！
是非ご検討ください！皆さまのご応募お待ちしております。**

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

バイオサーキュラービジネスの現場調査とデータ駆動型価値評価

2 研究内容

本ゼミナールは、バイオサーキュラービジネスを研究対象とする。森林、農業、水産、海水資源などの自然環境やバイオマス資源を基盤とし、水・物質・エネルギーの循環利用を前提に設計されたビジネスを総称して「バイオサーキュラービジネス」と呼ぶ。気候変動、資源制約、食料安全保障、地域再生、技術革新といった要因を整理し、なぜ今こうした産業が拡大するのかを因果構造として明らかにする。さらに、現場で得られる定性データと定量データを統合的に分析し、価値創造の構造と持続性・成長性を支えるメカニズムを可視化する。ここで「データ駆動型価値評価」とは、会計データや生産・環境データ等にもとづいて、バイオサーキュラービジネスの経済性と社会的インパクトを多面的に検討することである。

アプローチとしては、これまでゼミで重視してきたデータサイエンスを継承しつつ、フィールドワークを通じた現場観察を組み合わせる。その際、事前の文献レビューと観察計画、エスノグラフィーの考え方を取り入れた現地記録、事後のデータ整理・仮説更新というサイクルを徹底する。

3年次春学期は、バイオサーキュラービジネスの概念・歴史・制度、ビジネスモデルの型、現場観察法とインタビュー技法、会計データの取扱いと可視化の初歩を学ぶ。3年次秋学期は、ケースや論文の輪読と並行して、グループを編成し、国内の施設や工場、地域の関連事業所等への訪問調査を順次行う。センサー情報やオープンデータ等も取り込み、ひとつひとつの事業の採算性と社会的インパクトを併せて評価する。4年次は各自の卒業研究として、現地調査・データ分析・理論枠組みを統合した論文を執筆し、最終発表を行う。

3 参考文献

参考文献等については初回のイントロダクションの際に具体的に説明する。

4 募集予定人員・選考試験

募集予定人員は12名程度である。選考はエントリーシートおよび面接試験によって行う。

5 その他

本ゼミナールは週1回の開講を基本とする。フィールドワークの企画・立案と実施を重視するため、調査に際しては交通費や宿泊費が発生する場合がある。学外コンペティションやピッチイベントへの参加も推奨する。成績評価は、貢献度、現地調査の準備と記録の質、中間・最終報告、研究論文を総合的に勘案して行う。

「大学での充実した学び」とは、単に大学生活をなんとなく過ごすことではない。現場で学び、仮説を立て、手を動かして確かめ、仲間と問いを深める過程そのものにこそ宿ると考える。本ゼミナールは、自然を尊び、現場に足を運んで学び、他者に対するリスペクトを大切に学生を歓迎する。とりわけ、自ら課題を見出して行動する主体性と、現場から学び

取るセンス，そして優しさと胆力を兼ね備えた学生を求める。

平屋ゼミナール

〈2年タイプ〉

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

今年度より開講のため、学生からの原稿はありません。

48. 真継演習〔2年タイプ〕

専任講師 真 継 左和子

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

地域研究、応用言語学（英語教育）

2 研究内容

専門とアメリカ留学（約8年住んでいました）の経験を生かし、1年目は地域研究（アメリカとその他各国）を通して世界の様々な文化、経済、社会問題等を学びます。それにより日本（留学生の場合は自分の出身国）を客観的に見られるように演習を進めていく予定です。

2年目は日本（出身国）の英語教育と関連する問題について学びます。共通語としての英語の在り方（World Englishes, Native speaker norms など）、大学入試改革、TOEICをはじめ英語資格試験が大学英語教育や社会に与える影響、これからの日本（出身国）の英語教育はどうあるべきか等を一緒に考えていきたいと思えます。また、2年目は英語の文献も読み、クラスで分析・討論していきます。

それと同時に受講生の英語を伸ばすことも目的としています。アカデミックプレゼンテーション、エッセイ、ディスカッションの指導も2年間を通して行います。

学生主体の演習なので、具体的な研究（発表）内容は受講生それぞれの興味や関心に沿って選択してもらいます。映画やドキュメンタリーなども適宜使い、フィールドトリップ（2025年度は東京ジャーミィ・ディヤナト トルコ文化センター、新宿三角広場にて開催の Global Festaに行きました）、ゲストレクチャーやインタビュー等も予定しています。また、本演習は外国人留学生を受け入れているため、25年度は3ヶ国の出身学生が集いました（24年度は4カ国）。

3 参考文献

適宜授業で紹介します。

4 募集予定人員・選考試験

8名程度。自己紹介と志望動機を英語（指定部分）と日本語でレポートを作成し、提出。

5 その他

授業は主に英語で行う予定です。高い英語力は必須ではありませんが、2年目は英語の文献を読むので一定レベルの英語力は必要です。学生主体のゼミなので、積極的に授業に参加し、丁寧に授業準備ができる学生を求めます。プレゼンテーションやエッセイは英語のみです。

世界の文化と英語に興味があり、かつ日本（出身国）の英語教育について学びたい学生を募集します。留学生も歓迎します。



真継ゼミ 真継 左和子



📍 真継ゼミとは？

アメリカを含む世界各国の地域特性・社会問題について英語で発表、議論を行います。3年次に文化・地域特性について研究を行い、4年次には3年次に習った内容を踏まえて、世界各国と各自の出身国の英語教育について研究を行うことができます。



ポイント

- ・少人数でアットホーム！
- ・異文化に触れる機会もたくさん！
- ・英語力も大幅アップ！
- ・先生がとにかく優しい！

〈このページは演習担当教員による演習の案内です。〉

1 研究テーマ

企業活動をめぐる社会・経済システム

2 研究内容

企業活動は社会や経済、政治、地域といった外的な環境と密接なつながりのなかに存在しています。そこには当然に持続可能な経済成長といった課題や一人ひとりの働きがいや生活といった問題も含んでいます。経済のグローバル化、AI や IoT などの科学技術の進展は企業や働く一人ひとりをこれまで以上に結び付けることを競争力の要とするようになるなかで、どうやって働く一人ひとりが働きがいや生活の糧を得るのかがこれまで以上に大きな課題となっています。

人事労務管理を探求することは、個別企業の経営だけでなく、複数の企業がつくるネットワークや企業が存在する地域社会やグローバルなレベルで、働きがいや女性、若年、高齢、介護、子育て、地域コミュニティ、政治・経済システム、労働者の権利、持続可能な経営といった課題と密接に関係しています。本ゼミは、先行研究の知見に頼りながら、参加する学生のみなさんの興味関心に基づいて、いっしょに考えていきます。

企業に採用されるためにはどのような能力が必要なのか、就職活動や企業でどのように働けばよいのか、自分で起業するときにはどのようにすればよいのか、働くとはどんなことなのかといったことについて考える種をたくさん育てていきましょう。

3 参考文献

(1) Ken Yamazaki, 『*Skills and the Future of Work, Strategies for inclusive growth in Asia and the Pacific*』, International Labour Organization(ILO), Akiko Sakamoto, Jonny Sung, eds. pp.1-471, Ken Yamazaki, **Managing business restructuring, employment adjustment and implications for skills in Japan** pp.43-62. 2018

(2) 共著『価値創発(EVP)時代の人的資源管理—Industry4.0の新しい働き方・働かせ方』(ミネルヴァ書房, 2018年)

(3) 共著『JILPT 第3期プロジェクト研究シリーズ④日本的雇用システムのゆくえ』(労働政策研究・研修機構, 2017年)

(4) 単著『働くことを問い直す』(岩波書店, 2014年)

(5) 共著『フレキシブル人事の失敗』(旬報社, 2012年)

(6) 共著『仕事と暮らしを取りもどす—社会正義のアメリカ』(岩波書店, 2012年)

(7) 単著『デトロイトウェイの破綻—日米自動車産業の明暗』(旬報社, 2010年)

4 募集予定人員・選考試験

10人程度、選考は小論文。面接も行う可能性あり。

5 その他

ゼミへの参加を重視します。きちんと活動に参加する意欲のある人を募集します。

〈このページは演習所属の学生によるゼミナール活動の紹介です〉

山崎ゼミ

.....

~2年生秋学期~

3月-入ゼミ

- ・卒業論文報告会
- ・懇親会

.....

~3年生春学期~

4月-体制作り

- ・ゼミナビ準備

5月・6月-ゼミナビ

- ・ゼミ試対応
- ・懇親会

8月-ゼミフシ準備

- ・ゼミフシテーマ決め
- ・懇親会

9月-ゼミ合宿

- ・ゼミフシ中間報告

.....

~3年生秋学期~

10月-スポーツ大会

- ・ゼミフシ模擬発表会

11月-ゼミフシ

- ・懇親会

12月・1月-卒業論文準備

- ・論文テーマ決め

.....

~4年生~

卒業論文研究・執筆

.....

※通常授業では、課題図書を基にしたブレインストーミングやグループワークを通して「人事労務管理論」についての知識を深めていきます！

山崎ゼミに興味のある方は、
ゼミ公式インスタをチェック
してみてください(´▽`)/

@YAMAZAKIZEMI, MEIJI

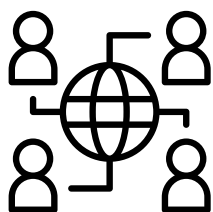


ゼミを、つなぐ。 学生の挑戦を、動かす。

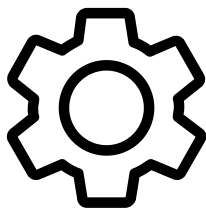
経営学部ゼミナール協議会

経営学部ゼミナール協議会は、
学部内のゼミを横断し、学生の学びをより良くするために
イベントの企画・運営を行う学生団体です。

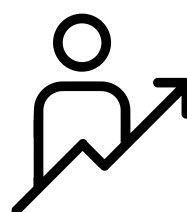
得られること



学部を動かす
ゼミ大会の企画運営
教員・事務室との調整



本気の組織運営
委員会・局体制
意見を形にする経験



将来につながる成長
企画力・調整力
就活で語れる経験

こんな人に

- ✓ゼミや学部をもっと良くしたい
- ✓何かに本気で取り組みたい
- ✓組織を立て直す経験をしたい
- ✓ゼミ外の仲間がほしい

公式Instagram



@K.ZEMIKYO

入会・ご質問はDMまで

ゼミ協は今、変化の時です。
学部や学生を支える側として、一緒にこの組織をつくり直しませんか。